

第8章



土木部内各課室・地方公所 2年目の記録

1. 土木総務課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	2日	<p><u>新規採用・自治法派遣職員辞令伝達式 実施</u></p> <p>土木部には、新任職員 34 名が配属された。また、復興・復旧事業の即戦力として期待される 28 都道県 104 名の自治法派遣職員が土木部に配属された。</p>
	10～	<p><u>「第 1 回社会資本再生復興会議」 開催</u></p>
	12日	<p>平成 24 年度土木部各課室の、目標、運営方針、重点懸案事項を土木部長、次長へ報告し、今後の取り組み等について意見交換を行った。</p>
	13日	<p><u>「第 1 回土木部課室長・公所長会議」及び「第 1 回災害に強いまちづくり宮城モデル構築」推進委員会 開催</u></p> <p>土木部各課室、地方公所の長が一堂に会し、各々目標と運営方針を共有し、復旧・復興等の課題を整理した。また、震災教訓を活かした災害に強いまちづくりを実現するために、部内各課室が横断的な連携を図り、被災市町や部内課室等の取組み状況及び懸案事項等について、相互に問題意識を共有化し、速やかに事業を進めるため、当委員会を設置した。</p>
5月	1日	<p><u>任期付職員辞令伝達式 実施</u></p> <p>県は、震災以降の職員不足を補うため任期付き職員を募集し、土木部には 20 名の技術職員が配属された。</p>
	7日	<p><u>第 1 回 県業務・採用試験説明会実施要領 対応</u></p> <p>大学卒業程度試験の受験予定者及び大学、高等学校等の就職・進路指導担当者に対して、職員採用試験及び土木部の業務内容について説明し、土木部は震災以降、業務量増加に伴い職員不足を招いている旨を伝えた。</p>
	10日	<p><u>3 県土木部長会議 出席</u></p> <p>岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議に出席し、3 県が抱える課題等について議論した。</p>
	30日	<p><u>宮城県 土木部復興だより創刊号 発行</u></p> <p>宮城県土木部の復旧・復興状況を、県民をはじめとする全国の方々へ発信するため、宮城県土木部復興だよりの定期発行が決定した。</p>
6月	15日	<p><u>平成 24 年度 第 2 回「災害に強いまちづくり宮城モデル構築」推進委員会 開催</u></p> <p>復興まちづくり関連事業の進捗状況、東日本大震災復興交付金及び各協議事項について説明後、意見交換を行った。</p>



▲自治法派遣職員辞令伝達式



▲宮城県土木部復興だより創刊号

	19日	<p><u>政府要望 実施</u></p> <p>知事を筆頭に、東日本大震災からの復旧・復興事業を加速度的に進捗させるため、更なる財政支援及び税制上の特例や各種の規制緩和など、長期にわたる支援予算措置を求める要望を行った。</p>
7月	20日	<p><u>被災3県土木部長による政府要望 実施</u></p> <p>国土交通省各局長に対し、平成25年度政府予算編成等に向けて、東日本大震災に関する要望活動を3県土木部長連名で要望活動を行った。</p>
	24日	<p><u>地方ブロック土木部長会議 出席</u></p> <p>東北6県と北海道、政令指定都市の土木部長、国交省（主催）、東北地方整備局の関係者が会し、それぞれ抱える課題や、震災の教訓を生かした取組み等について議論した。</p>
	27日	<p><u>「第2回土木部課室長・公所長会議」及び第3回「災害に強いまちづくり宮城モデル構築」推進委員会 開催</u></p> <p>土木部各課室、地方公所の長が一堂に会し、復旧・復興等の課題を整理した。また、復興まちづくり事業に関する調整事項、協議設計の実施保留解除について説明後、意見交換を行った。</p>
8月	8日	<p><u>東北6県、仙台市、東経連による政府要望 実施</u></p> <p>民主党本部、復興庁、国土交通省に対し、平成25年度以降の政府予算編成などにむけて東日本大震災からの復興と東北地方全体の発展に向けた公共事業費の確保を求める要望活動を東北六県、仙台市及び東経連連名で行った。</p>
	13日	<p><u>第2回 県業務・採用試験説明会実施要領 対応</u></p> <p>短期大学卒業程度、高等学校卒業程度の受験予定者に対して、職員採用試験及び土木部の業務内容について説明し、土木部は震災以降、業務量増加に伴い職員不足を招いている旨を伝えた。</p>
	28日 ～ 9月14日	<p><u>自治法派遣職員派遣元都道府県に対する継続要請 実施</u></p> <p>平成25年度以降の自治法派遣職員確保に向けて、土木部及び農林水産部の幹部職員が各都道府県に直接訪問し、派遣への御礼と継続要請を行った。さらに、東日本大震災からの復旧・復興の取り組み状況や今年度自治法派遣職員による事業成果の報告を行った。</p>
	27～ 29日	<p><u>第2回「社会資本再生復興会議」 開催</u></p> <p>部内各課室の目標及び運営方針、部の重点事項・懸案事項、各課室の重点事項・懸案事項の進捗状況及び平成25年度予算編成に向けた対応について部長、次長あてに報告し、意見交換した。</p>



▲地方ブロック土木部長等会議



▲要望実施状況（三浦県副知事ら）



<p>9月</p>	<p>10日</p>	<p><u>震災復興に伴う盛土材連絡調整会議 開催</u></p> <p>東日本大震災に伴う復旧・復興事業において、大量の盛土材が必要であることから、連絡調整会議を設置し盛土材を安定供給するために関係者間の調整を開始した。</p>	 <p>▲調整会議の様子</p>
	<p>13日</p>	<p><u>3県土木部長会議 出席</u></p> <p>岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議に出席し、3県が抱える課題について議論した。</p>	
<p>10月</p>	<p>17日</p>	<p><u>政府要望 実施</u></p> <p>村井知事を筆頭に、東日本大震災からの復旧・復興事業を加速度的に進捗させるため、更なる財政支援及び税制上の特例や各種の規制緩和など、長期にわたる支援予算措置を求める要望を行った。</p>	
	<p>22日</p>	<p><u>平成24年度国土と交通に関する図画コンクール表彰式 開催</u></p> <p>県の小学生を対象に、国土と交通に関するもの(まちなみや土木建築物、乗り物など)を題材として募集した図画コンクールの表彰式を行った。今年度は、県内71校から194点の応募があり、その中から宮城県知事賞など5名の入賞者を表彰した。</p>	 <p>▲入賞者の皆様</p>
<p>11月</p>	<p>1日</p>	<p><u>新規採用職員辞令伝達式 開催</u></p> <p>県は、来年度新規採用予定職員のうち、期日を前倒し採用する職員28人に辞令を交付した。そのうち12人が土木部に配属され、辞令伝達式を行った。</p>	 <p>▲辞令伝達式での橋本土木部長挨拶</p>
	<p>2日</p>	<p><u>岩手県・宮城県合同要望 実施</u></p> <p>村井知事を筆頭に、東日本大震災からの復旧・復興事業を加速度的に進捗させるため、住宅再建支援の特別交付税の予算化、公共土木施設や被災企業の継続的な復旧に必要なそれら事業の繰越手続きの規制緩和などを求める要望を行った。</p>	
	<p>9日</p>	<p><u>「第3回土木部課室長・公所長会議」及び「第4回社会資本再生復興会議」開催</u></p> <p>土木部各課室、地方公所の長が一堂に会し、復旧工事の進捗状況など工事の円滑な推進に向けた議題について情報共有し、意見交換を行った。</p>	

	20日	<p><u>被災3県と仙台市の土木部長等による国への要望 実施</u></p> <p>財務省，国土交通省，復興庁に対し，東日本大震災に関する要望活動を3県及び仙台市の土木部長等連名で要望活動を行った。</p>
12月	21日	<p><u>「第6回社会資本再生復興会議」 開催</u></p> <p>平成24年度2月補正予算及び繰越を含む平成25年度以降の事業進行管理について，情報共有し，意見交換を行った。</p>
1月	5日	<p><u>太田国交大臣 来庁</u></p> <p>平成24年12月に国土交通省大臣に就任した太田大臣は，就任後初めて来庁した。</p>
	10日	<p><u>政府要望 実施</u></p> <p>村井知事を筆頭に，東日本大震災からの復旧・復興事業を加速度的に進捗させるため，「5年間で19兆円」となっている復興予算フレームの見直しも含め，各種の規制緩和など，長期にわたる支援予算措置を求める要望を行った。</p>
	31日	<p><u>～住宅・社会資本再生～東北復興フォーラム in 宮城 開催</u></p> <p>県庁2階講堂にて，平成24年度宮城県土木部技術研究発表会「東日本大震災特別発表会」と合わせて開催した。</p> <p>本フォーラムでは，東北地方整備局長 徳山 日出男氏，南三陸町長 佐藤 仁氏，東北大学名誉教授 首藤 伸夫氏，(財)国土技術研究センター理事長 大石 久和氏より講演をいただいた。復旧・復興を進める上での課題や今後の防災対策に活かすための情報を共有し，社会資本整備の意義を再確認した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲村井知事挨拶</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲徳山氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲佐藤氏</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲首藤氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲大石氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲同時開催のパネル展の様子</p> </div> </div>
2月	5日	<p><u>3県土木部長会議 開催</u></p> <p>岩手県・宮城県・福島県土木部長等連絡調整会議を宮城県庁で開催し，被災3県が抱える課題等について議論した。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

	8日	<p><u>「第4回土木部課室長・公所長会議」開催</u></p> <p>土木部各課室，地方公所の長が一堂に会し，土木部の最重点項目である「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」についての推進方針や復旧復興に向けた事業管理計画などについて情報を共有した。また，土木部各課室・地方公所が年度始めに掲げた目標等に対する平成24年度の成果と今後の方針について共有した。</p>
3月	11日	<p><u>東日本大震災2周年南三陸町追悼式参加</u></p>

2. 事業管理課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	1日	<p><u>発注者支援業務（工事監督業務）の積算基準及び共通仕様書 制定</u></p> <p>復旧・復興工事等の迅速かつ円滑な執行を図るため、発注者支援業務（工事監督支援業務）の積算基準及び共通仕様を制定し、部内各機関に通知した。</p>
	6日	<p><u>「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」部内説明会 開催</u></p> <p>平成24年4月1日に施行した「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」の周知徹底を図るため、部内各機関の担当者を対象として契約課と合同で説明会を開催した。</p>
	9日	<p><u>第1回復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会（幹事会） 出席</u></p> <p>新たな入札・契約方式の導入に関する検討について、復興庁、国土交通省、農林水産省、被災3県、仙台市等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	16日	<p><u>出前講座「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」 開催</u></p> <p>宮城県建設業協会から依頼があり、平成24年4月1日に施行した「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」の説明会を出前講座として東松島市で開催した。</p>
	20日	<p><u>第1回建設資材対策東北地方連絡会 出席</u></p> <p>復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、東北地方整備局、被災3県、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	20日	<p><u>鋼矢板（仮設）資材対策連絡会議 出席</u></p> <p>復旧・復興工事で顕著化してきた鋼矢板（仮設）不足の対策について、東北地方整備局、被災3県、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	25日	<p><u>新任技術職員研修（前期） 開催（～27日まで）</u></p> <p>東日本大震災の復旧・復興の即戦力となるべく新任技術職員研修（前期）を開催し、宮城県震災復興計画及び宮城県社会資本再生・復興計画等の講義を中心とした土木部研修を開催した。</p>
	25日	<p><u>「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」全体説明会 開催</u></p> <p>平成24年4月1日に施行した「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」の周知徹底を図るため、全部局の担当職員を対象として契約課と合同で説明会を開催した。</p>




▲新任技術職員研修の現場研修状況

5月	8日	<p><u>「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」説明会（北部・登米）開催</u></p> <p>平成24年4月1日に施行した「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」の周知を図るため、北部及び登米合同庁舎で建設業者を対象として契約課と合同で説明会を開催した。</p>
	11日	<p><u>「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」説明会（県庁）開催</u></p> <p>平成24年4月1日に施行した「東日本大震災に伴う県発注工事等の特例措置」の周知を図るため、県庁で建設業者を対象として契約課と合同で説明会を開催した。</p>
	17日	<p><u>任期付職員研修 開催（～18日まで）</u></p> <p>東日本大震災の復旧・復興の即戦力となる任期付職員に対して研修を開催し、宮城県震災復興計画及び宮城県社会資本再生・復興計画等の講義を中心にした土木部研修を開催した。</p>
	23日	<p><u>第1回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会 開催</u></p> <p>復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、東北地方整備局、東北農政局、東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	24日	<p><u>復興JV（復旧・復興建設工事共同企業体）の運用 通知</u></p> <p>復興JV構成員の配置技術者、兼務対象とする工事、兼務できる工事の条件等の運用を定め、関係部局に通知した。</p>
	28日	<p><u>第四次県工事事務事故防止対策推進計画及び平成24年度事故防止対策事業計画 決定</u></p> <p>県工事事務事故防止対策委員会（委員長：三浦副知事）を開催し、復旧・復興工事等における安全管理についての基本方針、目標、県として取り組む事故防止対策を決定した。</p>
6月	15日	<p><u>第3回復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会 出席</u></p> <p>復興まちづくり事業推進のための新たな発注方式、予定価格等の適切な算定、技術者及び技能者の確保、資材の確保に関する対策について、復興庁、国土交通省、農林水産省、被災3県、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	29日	<p><u>施工箇所が点在する工事の間接費の積算について 通知</u></p> <p>点在する工事箇所間の距離が100mを超える工事は、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費を算出できることを通知した。</p>



▲第1回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会の開催状況

7月	1日	<p><u>施工箇所が点在する工事の間接費の積算について 通知</u></p> <p>施工箇所が点在する工事については、建設機械を複数箇所に運搬する費用や複数箇所の交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられるため、点在する工事箇所間の距離が100mを超える工事については、工事箇所ごとに共通仮設費、現場管理費を算出できるものとするを通知した。</p>
	5日	<p><u>第582回建設技術講習会「災害に強い安全な国土づくり」 開催</u></p> <p>今回の講習会は、災害時の初動体制、津波防災対策、被害軽減のための防災・危機管理体制のあり方などを学び、今後の防災・減災対策に活かすことを目的に開催された。</p> <p>県と宮城県建設技術協会は、開催県事務局として参加し、会場においては復旧・復興パネル展を開催し、被災地の被害状況や復旧・復興へ向けた取り組みを紹介し情報を共有した。</p>
		
	<p>▲建設技術講習会での知事挨拶の様子</p>	
	12日	<p><u>被災建築物解体撤去工事（仙台市発注）の立ち入りに係る事前調査</u></p> <p>建設業法に係る立入調査の事前調査として、被災建築物解体撤去工事（仙台市発注）を受注している（社）仙台建設業協会から受注の仕組み、工事の進捗状況、今後の見込み、問題点の聞き取り調査を実施した。</p>
	18日	<p><u>被災建築物解体撤去工事（仙台市発注）の立ち入りに係る事前調査</u></p> <p>建設業法に係る立入調査の事前調査として、被災建築物解体撤去工事（仙台市発注）を受注している宮城県解体工事業協同組合から受注の仕組み、工事の進捗状況、今後の見込み、問題点の聞き取り調査を実施した。</p>
	23日	<p><u>第2回建設資材対策東北地方連絡会 出席</u></p> <p>復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、東北地方整備局、被災3県、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	26日	<p><u>アスファルト舗装工事における下請負制限の一部緩和 通知</u></p> <p>復旧・復興工事等のアスファルト舗装工事で入札不調が増加していることから、請負代金額の5割未満の部分について下請負による施工を認めることを通知した。</p>
31日	<p><u>第2回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会 開催</u></p> <p>復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、東北地方整備局、東北地方整備局、東北農政局、東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>	
		
<p>▲第2回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会の開催状況</p>		

8月	8日	<p><u>解体工事業を対象とした建設業法遵守に係る講習会 開催</u></p> <p>被災建築物解体工事に従事する解体工業業を対象とした建設業法遵守に係る講習会に講師を派遣し、建設業法遵守の徹底を図った。</p>
8月	20日	<p><u>工事請負契約締結後における単価適用年月日変更の運用について 通知</u></p> <p>特定の資材価格が短期間に高騰し、積算時の設計単価と工事請負契約時の設計単価に差異が生じていることから、工事請負契約締結後に単価適用年月日を工事請負契約時に変更して設計単価とすることを通知した。</p>
	23日	<p><u>東日本大震災に伴う復興工事の執行限度額の拡大について 通知</u></p> <p>東日本大震災に伴う復旧工事は1件3億円未満の工事の施行が事務所に委任されていたが、平成24年9月1日以降は復興工事についても委任されることを通知した。</p>
9月	5日	<p><u>東日本大震災復旧・復興安全総決起大会 出席</u></p> <p>東日本大震災の復旧・復興工事等における労働災害防止を祈願するため、社団法人宮城県建設業協会が主催する建設業安全祈願祭に出席した。</p>
	7日	<p><u>自治法派遣職員研修 開催</u></p> <p>東日本大震災の復旧・復興を支援していただいている自治法派遣の職員に対して、本県における復旧・復興事業の現状や課題等を習得していただき円滑な業務遂行を図る目的として、土木部研修を開催した。</p>
		 <p>▲自治法派遣職員研修の様子</p>
10月	1日	<p><u>遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更について 通知</u></p> <p>受注者が不足する建設資材を遠隔地から調達する状況が発生していることから、受注者が建設資材を安定的に確保するため、遠隔地から建設資材を調達せざるを得ない場合に、それに要する購入費及び輸送費を設計変更することを通知した。</p>
	15日	<p><u>第3回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会 開催</u></p> <p>復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、東北地方整備局、東北地方整備局、東北農政局、東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
	23日	<p><u>第4回復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会 出席</u></p> <p>復興まちづくり事業推進のための新たな発注方式、予定価格等の適切な算定、技術者及び技能者の確保、資材の確保に関する対策について、復興庁、国土交通省、農林水産省、被災3県、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>

	23日	<p><u>建設業団体との意見交換会 開催（全7回：～11月2日まで）</u></p> <p>膨大な復旧・復興事業等の円滑な施工確保を図るため、宮城県建設業協会各支部会員、非会員、市町村との意見交換を実施した。</p>
11月	12日	<p><u>被災地以外からの労務者確保に要する間接費の設計変更について 通知</u></p> <p>復旧・復興事業が本格化に伴い、今後、労務者がひっ迫し地域外からの労務者確保が更に必要になる場合が想定されることから、契約締結後、労務者確保の方策に変更があった場合に必要となる費用について、設計変更することを通知した。</p>
	15日	<p><u>第1回みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会 出席</u></p> <p>東日本大震災の復旧・復興工事が本格化する中、建設現場での労働災害増加が懸念されているので、建設事業者・労働者、関係業界団体、発注者、関係行政機関が一体となって、労働安全衛生活動への取り組みことによって労働災害防止を図る協議会へ出席した。</p>
	16日	<p><u>地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定 締結</u></p> <p>宮城県と国土交通省国土地理院は、地理空間情報の相互活用で連携・強化を図るとともに、災害対応で迅速かつ効果的な防災・減災に向けての協力が強化されること、県民の利便性の向上および安全・安心な地域社会づくりに寄与する目的で、本協定を締結した。</p> <p>この締結は、全国の都道府県では12番目、東北6県では初めての取り組みである。</p>
		
		<p>▲協定締結式の様子</p>
12月	17日	<p><u>会計実地検査（～20日まで）</u></p> <p>会計検査院第3局国土交通検査第1課（国土交通統括検査室）及び会計検査院第4局農林水産検査第2, 3課において、東日本大震災の復旧・復興事業に係る入札不調について、会計実地検査を実施した。</p>
	19日	<p><u>東北地質調査業協会との意見交換 出席</u></p> <p>膨大な復旧・復興事業等の円滑な施工確保を図るため、東北地質調査業協会との意見交換を実施した。</p>
平成 25年 1月	8日	<p><u>土木部職員意見交換会 開催（全8回：～29日まで）</u></p> <p>膨大な復旧・復興事業等の円滑な事業執行に向けて事務改善を図っていくため、部内各地方機関の技術職員を対象として意見交換を実施した。</p>
		
		<p>▲土木部職員意見交換会の様子</p>

	<p>11日</p> <p>25日</p> <p>31日</p>	<p><u>建設業新年安全祈願祭 出席</u> 東日本大震災の復旧・復興工事等における労働災害防止を祈願するため、社団法人宮城県建設業協会が主催する建設業安全祈願祭に出席した。</p> <p><u>第4回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会 開催</u> 復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、東北地方整備局、東北地方整備局、東北農政局、東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p> <p><u>～住宅・社会資本再生～東北復興フォーラム in 宮城 開催</u> 東日本大震災の発生から2年を経過するにあたり、宮城県及び東北地方の住宅・社会資本の復興状況を県内外に伝えること目的として開催した。 この東北復興フォーラム in 宮城では、第一部を宮城県土木部技術研究発表会、第二部を講演として全二部構成で実施した。</p>  <p>▲復興フォーラム開会挨拶する村井知事</p>
<p>2月</p>	<p>12日</p> <p>19日</p>	<p><u>社団法人宮城県建設業協会との意見交換会 出席</u> 膨大な復旧・復興事業等の円滑な施工確保を図るため、社団法人宮城県建設業協会との意見交換を実施した。</p> <p><u>第5回復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会 出席</u> 復興まちづくり事業推進のための新たな発注方式、予定価格等の適切な算定、技術者及び技能者の確保、資材の確保に関する対策について、復興庁、国土交通省、農林水産省、被災3県、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図った。</p>
<p>3月</p>	<p>26日</p>	<p><u>第2回みやぎ復旧・復興工事ゼロ災運動推進協議会 出席</u> 東日本大震災の復旧・復興工事が本格化する中、建設現場での労働災害増加が懸念されているので、建設事業者・労働者、関係業界団体、発注者、関係行政機関が一体となって、労働安全衛生活動への取り組むことによって労働災害防止を図る協議会へ出席した。</p>

3. 用地課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	2日	<p><u>不動産鑑定評価の情報提供</u></p> <p>県の災害復旧・復興事業用地を取得するため、一括発注した不動産鑑定評価の結果について、被災市町に対して情報提供を行った。（評価地点：津波被災15市町内136地点）</p>
	18日	<p><u>「土地価格情報連絡会議」開催</u>（東北地区用地対策連絡会宮城県支部）</p> <p>各起業者（国、県、被災市町等）が実施した不動産鑑定評価の結果や今後の計画など、被災地における土地情報等について意見交換等を行うとともに、不動産鑑定一括評価を行った鑑定士から評価額等の解説や震災補正率の考え方に関する説明を受けた。（81名参加）</p>
5月	8日 ～ 11日	<p><u>「用地講座」開催</u></p> <p>被災市町を支援する観点から、県の新任用地職員を対象として実施している用地講座（研修）の受講対象者を市町村職員に拡大し実施した。</p> <p>〈市町村職員の参加状況〉</p> <p>被災市町含め21市町 60名参加</p>
	16日 ～ 30日	<p><u>「被災市町に対する用地補償に関する相談会」開催</u></p> <p>希望した8市町が抱える諸課題について、助言・指導を行った。（東部・気仙沼土木事務所管内は、現地にて実施）</p>
	6月	<p><u>第1回用地業務ヒアリング</u>（5月22日～）</p> <p>用地取得業務の円滑な推進を図るため、各土木事務所における事務処理及び進行管理の状況を把握するとともに、災害復旧・復興事業の諸課題の早期解決に向けて、現地指導等を行った。</p>
7月	25日 ～ 27日	<p><u>用地・技術合同出前講座</u> 開催</p> <p>用地課と河川課等が一体となって、仙台・東部・気仙沼の各土木事務所に出向き、事務所の用地・技術職員とともに、河川・海岸事業の具体的な事業箇所について、用地・技術両面における諸課題の検討を行った。同時に、多数相続地等任意取得が困難な土地を計画的に取得できるよう、事業認定から土地収用に至るスケジュール等の説明を行い、土地収用制度の早期着手と効果的活用を促した。（沿岸3土木事務所にて実施、64名参加）</p>

8月	22日	<p><u>第2回宮城県復旧・復興に係る土地境界・権利等の問題に関する連絡会における要望</u></p> <p>法務省（仙台法務局）、国土交通省（東北地方整備局）、復興庁（宮城復興局）で構成する宮城県復旧・復興に係る土地境界・権利等の問題に関する連絡会の第2回会議に出席を求められ、災害復旧・復興事業の用地取得における諸課題等について説明するとともに、「所在者不明土地に係る境界確定権限及び事業用地の譲渡又は使用等に関する権限等を被災市町に付与する特例措置」について要望した。</p>
	24日	<p><u>第1回用地補償実務研修 開催</u></p> <p>土地収用制度の効果的活用を実践するため、東北地方整備局及び宮城県収用委員会事務局職員を講師として、用地職員及び技術職員を対象に「事業認定」及び「収用裁決申請」に関する研修を開催した。（用地職員18名、技術職員21名、計39名参加）</p>
9月	24日	<p><u>土木部内事業進行管理委員会に「用地部会」を設置</u></p> <p>復旧・復興事業用地の取得促進と諸課題の早期解決を図るため、新たに本庁及び沿岸3土木事務所内の事業進行管理委員会に用地・技術・管理の三部門の職員で構成する専門部会（用地部会）を設置した。</p>
11月	14日 ～	<p><u>第2回用地業務ヒアリング（～1月10日）</u></p> <p>用地取得業務の円滑な推進を図るため、各土木事務所における事務処理及び進行管理の状況を把握するとともに、災害復旧・復興事業の諸課題の早期解決に向けて、現地指導等を行った。</p>
	22日	<p><u>用地部会 開催</u></p> <p>用地隘路図の作成、事業認定申請箇所の選定等について、事務所用地部会へ通知した。</p>
	30日	<p><u>用地担当班長・副班長研修 開催</u></p> <p>用地補償業務に携わる監督職員に必要な知識等の修得を図るため、東北地方整備局職員を講師として、「用地取得事務とマネジメント」についての研修を開催した。（17名参加）</p>
1月	25日	<p><u>政府要望等に関する国土交通省との意見交換 実施</u></p> <p>要望している「所有者不明土地の特別措置」「土地収用法に規定する事業認定手続の簡素化等」について、要望の趣旨等を説明し、意見交換を行うとともに、改めて要望実現に向けた検討を依頼した。</p> <p><u>第2回用地補償実務研修 開催</u></p> <p>中堅職員のレベルアップを図るため、物件補償成果品のチェックなどの実務的な研修を行うとともに、課題検討として相続や共有地などの用地隘路の対応についても検討を行った。（14名参加）</p>

	<p>6日</p> <p>14日</p> <p>15日</p> <p>18日</p>	<p><u>用地部会 開催</u> 用地隘路図を活用し、事業箇所毎の工事施工等について早期に検討することとした。</p> <p><u>地元選出国會議員説明会</u> 政府要望している「所有者不明土地の特別措置」「土地収用法に規定する事業認定手続の簡素化等」について、要望の趣旨等を説明した。</p> <p><u>国土交通省との事業認定に関する打合せ</u> 事業認定手続きについて、河川・海岸のモデル事業を選定し、申請手続きの標準化を図り、増加する申請案件の迅速化や環境調査の簡略化などについて意見交換を行った。</p> <p><u>「土地価格情報連絡会議」開催（東北地区用地対策連絡会宮城県支部）</u> 各起業者（国，県，被災市町等）を対象に「地価の現状及び再鑑定時期の判断等について」と題して不動産鑑定士の講演を実施した。また，各起業者の不動産鑑定評価の実施状況や被災地における土地評価の方法について情報交換等を行った。（64名参加）</p>
<p>3月</p>	<p>8日</p>	<p><u>土地収用手続きに関する特別研修会 開催</u> 災害復旧・復興事業に係る土地収用制度の活用への対応能力の向上を図るため，国土交通省職員を講師として，土地収用手続（事業認定・収用裁決申請）の具体的実務と適期申請に向けた対応等に関する研修を実施した。（78名参加）</p>

4. 道路課

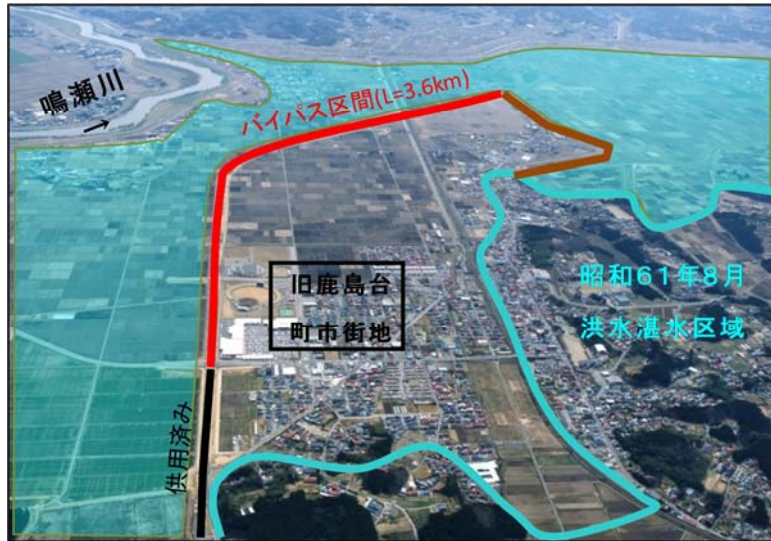
月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	6日	<p><u>三陸沿岸道路 仙塩道路4車線化着工式</u></p> <p>多賀城IC新設と併せて、渋滞緩和と広域的経済活動支援や災害時の救援活動支援を図るため、H24年度3次補正予算で事業化決定した。</p>
		 <p>▲三陸沿岸道路 仙塩道路4車線化着工</p>
5月	22日	<p><u>第1回 復興道路連絡調整会議</u></p> <p>測量・調査設計、埋蔵文化財文化財調査、用地取得状況等、事業進捗状況を確認し、具体的な内容について検討した。</p>
		 <p>▲第1回 復興道路連絡調整会議</p>
	31日	<p><u>国道113号館矢間バイパス全線開通</u></p> <p>市街地交通の混雑解消及び、物流・観光や広域連携及び防災道路ネットワーク形成推進への寄与が期待される。</p>
		 <p>▲国道113号館矢間バイパス全線開通</p>
6月	19日	<p><u>「東日本大震災に対処するための予算措置等を求める要望書」提出（政府要望）</u></p> <p>復興に向けた広域道路ネットワーク網の整備促進及び国直轄災害復旧事業に係る直轄事業負担金の免除／高速道路のサービスエリア等の防災機能強化や新たな施設整備／高速道路の無料化 について要望した。</p>
	28日	<p><u>第1回 山王遺跡発掘調査連絡調整会議</u></p> <p>確認事項、問題点の共有、今後の方針について検討した。</p>

7月	12日	<p><u>仙台松島道路4車線化</u></p> <p>利府中 IC～松島海岸 IC 間の4車線での本線供用が始まり、震災で甚大な被害を受けた三陸沿岸地域への重要な物流基盤である仙台松島道路の利便性が向上し、これからの被災地の早期復興に向け、大きな弾みとなることが期待される。</p>	 <p>▲仙台松島道路4車線化</p>
	12日	<p><u>第2回 県道大島浪板線大島架橋設計検討委員会</u></p> <p>災害に強く、耐久性に優れ、維持管理性の高い橋梁の整備を目指して開催し、広く優れた識見を有する方々からの助言・指導をいただいている。</p>	 <p>▲大島架橋設計検討委員会</p>
	30日	<p><u>「未来のまちづくり・みちづくりフォーラム」(～8月1日)</u></p> <p>ハイスクールサミット in 東北を開催し、東北6県をはじめ全国24都道府県41校から参加した84名の高校生が、「安心して暮らせるまちづくり・みちづくり」「大震災の伝承と備え」等、4テーマに分かれて、活発な議論を交わした。</p>	 <p>▲ハイスクールサミット in 東北開催</p>
8月	2日	<p><u>第2回 山王遺跡発掘調査連絡調整会議</u></p> <p>調査方針・調査行程・設計の進捗等について報告し、課題について確認・協議を実施した。</p>	
	8日	<p><u>春日パーキングエリア完成式</u></p> <p>県内の常磐自動車道から三陸縦貫自動車道において、初めての本格的なパーキングが完成し、特別名勝松島や国府多賀城など観光地への拠点機能も期待される。</p>	
	28日	<p><u>第12回 東日本大震災に伴う埋蔵文化財保護に関する会議</u></p> <p>(仮)多賀城 IC 付近埋蔵文化財調査工程及び工事工程打ち合わせを実施した。</p>	
9月	8日	<p><u>石巻北 IC・県道石巻北インター線着工式</u></p> <p>県道石巻北インター線は、国が三陸縦貫自動車道に新たに設置する石巻北 IC へのアクセス道路であるとともに、国道45号や国道398号石巻バイパスと結ぶ重要な路線であり、整備することにより、「石巻赤十字病院」とのアクセス強化や、石巻圏域の交通・物流の強化、さらには、大規模災害時における避難路や支援路等として非常に重要な役割を果たすことが期待される。</p>	 <p>▲石巻北 IC・県道石巻北インター線着工式</p>

11月	3日	<p><u>三陸縦貫自動車道「歌津～本吉」即年着工</u></p> <p>三陸縦貫自動車道新規事業化区間において、初めて工事着手した「歌津～本吉」間は、地元の協力と関係機関連携、官民連携などの結果、新規事業化から1年を待たずして工事着手（即年着工）することとなった。</p> <p>▲三陸縦貫自動車道「歌津～本吉」起工式</p> 
12月	1日	<p><u>仙台東部道路「仙台港 IC」 開通式</u></p> <p>三陸縦貫自動車道仙台東部道路「仙台港 IC」は、東北唯一の国際拠点港湾である「仙台塩釜港（仙台港区）」と高速道路ネットワークを直結し、東北各都市等への一層のアクセス性向上が図られた。</p> <p>▲仙台東部道路「仙台港 IC」開通式</p> 
1月	23日	<p><u>「大島架橋」事業着工式</u></p> <p>住民の日常生活の利便性向上はもとより、緊急医療等の安心安全の確保、観光振興に寄与する架橋事業が、平成30年度完成を目標に、「復興のシンボル」として開始した。</p> <p>▲大島架橋事業着工式</p> 
3月	3日	<p><u>登米志津川道路「志津川トンネル」貫通式</u></p> <p>平成23年11月の着工式から1年4ヶ月という驚異的なスピードでの貫通は、三陸道全線の早期全線開通と、沿岸部のみならず東北全体の復興への大きな弾みとなる。</p> <p>▲志津川トンネル貫通式</p>  <p>13日 <u>国道4号 築館バイパス部分開通式</u></p> <p>一部供用済み区間と合わせて、今回の国道398号までの延長1.3km区間の開通により、交通の分散と渋滞緩和、事故の減少が期待される。引き続き、全線供用に向けて事業を継続中。</p> <p>20日 <u>国道108号 古川東バイパス部分開通式</u></p> <p>今回の国道398号までの延長1.3km区間の開通と供用済み区間の連携により、交通の分散と渋滞緩和、事故の減少が期待されます。引き続き、計画区間の全線供用に向けて事業を進めます。</p>

23日 吉田川二線堤、国道346号 鹿島台バイパス供用開始

「水害に強いまちづくり事業」の一環として、大崎市鹿島台地区において、国土交通省と宮城県が共同で進めてきた3.6km区間の整備が完了し、水害に対する安全性の向上と鹿島台中心市街地の慢性的な渋滞解消が期待される。



▲国道346号鹿島台バイパス供用開始区間

5. 河川課

年	月	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
5月	9日	<p><u>第一回三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等検討懇談会</u></p> <p>河川・海岸施設の復旧にあたり、「南三陸地域・石巻地区」の現場に即した環境等への配慮事項に関して委員の方々から技術的な指導や助言を受けることを目的として懇談会を開催した。</p>
		 <p>▲第一回三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等懇談会</p>
	17日	<p><u>東日本大震災による津波被災の復旧方法・予定等についてHPに公表</u></p> <p>各河川・海岸の復旧方法の具体的な位置や堤防高さ、復旧スケジュール、完成後のイメージ図等を紹介した。</p>
		 <p>▲河川課ホームページ（5月17日公表）</p>
6月	7日	<p><u>菖蒲田海岸災害復旧工事着工式</u></p> <p>県と七ヶ浜町の共催で、宮城県副知事、渡邊七ヶ浜町長及び来賓の方々の参加のもと、菖蒲田海岸災害復旧工事着工式を執り行った。工事概要（復旧箇所：宮城郡七ヶ浜町菖蒲田浜地先、復旧延長：L＝1,691m、堤防高さ：T.P.6.8m、復旧期間：平成24年度から平成27年度まで、復旧費：2,952百万円）</p>
		 <p>▲菖蒲田海岸災害復旧工事着工式（鉄入れ）</p>
7月	5日	<p><u>みやぎ出前講座</u></p> <p>ダイダン株式会社より「みやぎ出前講座」の依頼があり、「宮城県沿岸地域における海岸堤防高さと津波防御」と題して、講演を行った。</p>
		 <p>▲みやぎ出前講座</p>

	<p>11日</p>	<p><u>第二回三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等検討懇談会</u> 5月に開催した三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等懇談会の第二回を開催した。</p>		<p>▲第二回三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等懇談会</p>
	<p>31日</p>	<p><u>気仙沼市（大谷地区）津波シミュレーションに係る地元説明会</u> 気仙沼市（大谷地区）要望により,津波シミュレーションについて詳細な説明を行った。</p>		
<p>8月</p>	<p>8日</p>	<p><u>防潮堤を勉強する会 講演（河川課長）</u> 気仙沼市で行われた第一回防潮堤を勉強する会にて,防潮堤建設計画の基本的な流れとルールの説明を行った。</p>		
	<p>31日</p>	<p><u>戸倉海岸災害復旧工事着工式</u> 県と南三陸町の共催で,宮城県副知事,南三陸町長及び来賓の方々の参加のもと,戸倉海岸災害復旧工事の着工式を執り行った。工事概要（復旧箇所：本吉郡南三陸町戸倉字長須賀地内,復旧延長：L＝619.2m,堤防高さ：T.P. 8.7m,復旧期間：平成24年度から平成27年度まで,復旧費：1,421百万円）</p>		<p>▲戸倉海岸災害復旧工事着工式（録入れ）</p>
<p>9月</p>	<p>13日</p>	<p><u>河川・海岸構造物の災害復旧に関する技術基準説明会</u> 各土木事務所・関係各課・各コンサルタントを対象に,河川・海岸の災害復旧の技術基準及び実施保留解除資料の作成方法について説明会を開催した。</p>		<p>▲河川・海岸構造物の災害復旧に関する技術基準説明会の開催</p>

10月	12日	<p><u>第三回三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等検討懇談会</u></p> <p>5月と7月に開催した三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等検討会の第三回を開催した。</p>	 <p>▲第三回三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等懇談会</p>
10月	17日	<p><u>定川河川災害復旧工事着工式</u></p> <p>県, 東松島市及び石巻市の共催で, 宮城県副知事, 阿部東松島市長, 亀山石巻市長及び来賓の方々の参加のもと, 定川河川災害復旧工事の着工式を執り行った。工事概要(復旧箇所: 東松島市大曲地内, 復旧全延長: L=6, 284m, 内L1津波高さ(T.P4.5m)による復旧 L=2, 376m, 内沈下分嵩上復旧 L=3, 908m, 復旧期間: 平成24年度から平成27年度まで, 復旧費: 約150億円)</p>	 <p>▲定川河川災害復旧工事着工式(鉄入れ)</p>
11月	16日	<p><u>迫川河川改修80周年記念イベント</u></p> <p>迫川河川改修事業着手80年を迎え, 洪水や治水対策の歴史, 流域の豊かな自然環境が有する魅力, 今後の河川管理のあり方等について地域の方々と共有するとともに, 川を通じた人々の絆や地域のつながりを再考し, 未来に向けて新たな歴史を刻んでいくために, 記念イベントを開催した。</p> <p>イベントに先立ち, 長沼ダムにおいて, 桜(ソメイヨシノ)の苗木5本の記念植樹を行った。</p> <p>また, 日本河川協会理事の青山俊樹氏, 及び宮城県土木部長の橋本潔からの基調講演の他, ラジオパーソナリティ/プロデューサーの板橋恵子氏, 元迫川水系総合開発期成同盟会会長の菅原郁夫氏, 迫川沿岸土地改良区理事長の上野智通氏, NPO 法人蕪栗ぬまっこくらぶ副理事長の戸島潤氏を迎え, 迫川についてのパネルディスカッションが行われた。</p> <p>また, 地域伝統芸能「とよま囃子」が披露され, 会場は賑やかな太鼓の音に包まれた。</p>	 <p>▲迫川河川改修80周年記念イベント</p>

2月

4日

平成24年度知水講座，第2回貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会

「貞山運河再生・復興ビジョン」の策定に向けて，学識者等による2回目の検討座談会を，平成24年11月5日の一回目に続いて一般公開により開催した。

また，検討座談会に先立ち貞山運河に詳しい学識者等3名による基調講演を実施し，100名を超える方々に聴講いただき，貞山運河への関心の高さを実感した。

「貞山運河再生・復興ビジョン」は検討座談会等での意見を踏まえ，また，パブリックコメントを経て，平成24年度中の作成を予定している。



※貞山運河再生・復興ビジョン・・・東日本大震災において甚大な被害を受けた沿岸地域の復旧・復興に際して，津波減災効果の可能性のある歴史的な土木遺産「貞山運河」を基軸として，各種の復興関連事業を一つのランドデザインに沿って連携・展開し，安全・安心でより魅力的な沿岸地域の形成を図るために，策定を進めているもの。

6. 防災砂防課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）																																																																																																				
4月	25日 ～	<p><u>復旧・復興パネル展</u></p> <p>公共土木施設の復旧について、「復旧・復興パネル展」を開催し、広く情報発信するとともに、風化が懸念されている被災経験を呼び起こし防災意識の啓発を図るため、パネル展を行った。また、各地で開催されるイベント等にも、パネルの貸し出しを行っている。</p>																																																																																																				
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">パネル展 開催一覧表</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">道の駅でのパネル展示状況</div> </div>																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催名称</th> <th>開催期間</th> <th>開催場所</th> <th>関係団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仙塩浄化センター下水処理開始式</td> <td>H24.4.25</td> <td>仙塩浄化センター</td> <td>中南部下水道事務所</td> </tr> <tr> <td>H24津波防災パネル展</td> <td>H24.5.1～5.17</td> <td>県庁ロビー2階</td> <td>防災砂防課</td> </tr> <tr> <td>中国民間航空局への情報提供及び全国販売促進会議</td> <td>H24.5.8 H24.5.28～5.30</td> <td>県内一円</td> <td>観光課</td> </tr> <tr> <td>H24栗原市総合防災訓練</td> <td>H24.6.17</td> <td>一泊中央公園</td> <td>栗原市</td> </tr> <tr> <td>道の駅パネル展示</td> <td>H24.6.22～6.29</td> <td>道の駅 三本木</td> <td>北部土木事務所</td> </tr> <tr> <td>道の駅パネル展示</td> <td>H24.7.2～7.31</td> <td>道の駅 岩出山</td> <td>北部土木事務所</td> </tr> <tr> <td>第582回全建設技術講習会</td> <td>H24.7.4～7.5</td> <td>太白区文化センター</td> <td>(社)全国建設技術協会</td> </tr> <tr> <td>ソラへさっと臨空復興フェスタ</td> <td>H24.7.28～7.29</td> <td>美田園駅前特設会場</td> <td>空港臨空地域課</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災パネル展</td> <td>H24.8.3～16</td> <td>イオンタウン佐沼 専門店モール</td> <td>登米地域事務所</td> </tr> <tr> <td>春日PA常設展示</td> <td>H24.8.8～</td> <td>仙台松島道路春日PA</td> <td>防災砂防課・宮城県道路公社</td> </tr> <tr> <td>東北3県復興計画報告・講演会</td> <td>H24.8.30</td> <td>ホテルメトロポリタン仙台</td> <td>建設センター</td> </tr> <tr> <td>ぱりあふりーフェスティバル</td> <td>H24.9.8～9</td> <td>AER 仙台市情報産業プラザ</td> <td>障害福祉課</td> </tr> <tr> <td>記憶をつなぐ 一津波災害と文化遺産ー</td> <td>H24.9.27～11.27 H25.1.30～3.15</td> <td>国立民族学博物館 国文学研究資料館</td> <td>国立民族学博物館 国文学研究資料館</td> </tr> <tr> <td>E E東北' 12</td> <td>H24.10.24～25</td> <td>夢メッセみやぎ</td> <td>事業管理課</td> </tr> <tr> <td>地震・津波防災フェア</td> <td>H24.10.28～10.31</td> <td>イオンモール名取</td> <td>イオンモール名取</td> </tr> <tr> <td>復旧・復興パネル展</td> <td>H24.10.22～</td> <td>県政広報展示室（県庁18階）</td> <td>防災砂防課</td> </tr> <tr> <td>宮城県・気仙沼市合同津波総合防災訓練</td> <td>H24.11.3</td> <td>気仙沼市立階上小学校</td> <td>防災砂防課</td> </tr> <tr> <td>復興なとり産直市</td> <td>H24.11.23</td> <td>埼玉県越谷市レイクタウン</td> <td>イオンモール名取</td> </tr> <tr> <td>第8回フットボールカンファレンス</td> <td>H25.1.12～13</td> <td>イズミティ21</td> <td>(社)宮城県サッカー協会</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災社会資本再生復興パネル展</td> <td>H25.1.18～2.1</td> <td>県庁ロビー1階,2階</td> <td>防災砂防課</td> </tr> <tr> <td>防災気象講演会</td> <td>H25.2.2</td> <td>仙台市太白区文化センター</td> <td>仙台管区気象台・危機対策課</td> </tr> <tr> <td>仙台国際貿易港首都圏セミナー</td> <td>H25.2.6</td> <td>ホテル椿山荘東京（東京都）</td> <td>港湾課</td> </tr> <tr> <td>東北連携復興フォーラム</td> <td>H25.2.6</td> <td>政策研究大学院大学（東京都）</td> <td>震災復興推進課</td> </tr> <tr> <td>復興庁ロビー 復旧復興パネル展</td> <td>H25.2.18～22</td> <td>復興庁入庁ビル（東京都）</td> <td>防災砂防課</td> </tr> </tbody> </table>			開催名称	開催期間	開催場所	関係団体	仙塩浄化センター下水処理開始式	H24.4.25	仙塩浄化センター	中南部下水道事務所	H24津波防災パネル展	H24.5.1～5.17	県庁ロビー2階	防災砂防課	中国民間航空局への情報提供及び全国販売促進会議	H24.5.8 H24.5.28～5.30	県内一円	観光課	H24栗原市総合防災訓練	H24.6.17	一泊中央公園	栗原市	道の駅パネル展示	H24.6.22～6.29	道の駅 三本木	北部土木事務所	道の駅パネル展示	H24.7.2～7.31	道の駅 岩出山	北部土木事務所	第582回全建設技術講習会	H24.7.4～7.5	太白区文化センター	(社)全国建設技術協会	ソラへさっと臨空復興フェスタ	H24.7.28～7.29	美田園駅前特設会場	空港臨空地域課	東日本大震災パネル展	H24.8.3～16	イオンタウン佐沼 専門店モール	登米地域事務所	春日PA常設展示	H24.8.8～	仙台松島道路春日PA	防災砂防課・宮城県道路公社	東北3県復興計画報告・講演会	H24.8.30	ホテルメトロポリタン仙台	建設センター	ぱりあふりーフェスティバル	H24.9.8～9	AER 仙台市情報産業プラザ	障害福祉課	記憶をつなぐ 一津波災害と文化遺産ー	H24.9.27～11.27 H25.1.30～3.15	国立民族学博物館 国文学研究資料館	国立民族学博物館 国文学研究資料館	E E東北' 12	H24.10.24～25	夢メッセみやぎ	事業管理課	地震・津波防災フェア	H24.10.28～10.31	イオンモール名取	イオンモール名取	復旧・復興パネル展	H24.10.22～	県政広報展示室（県庁18階）	防災砂防課	宮城県・気仙沼市合同津波総合防災訓練	H24.11.3	気仙沼市立階上小学校	防災砂防課	復興なとり産直市	H24.11.23	埼玉県越谷市レイクタウン	イオンモール名取	第8回フットボールカンファレンス	H25.1.12～13	イズミティ21	(社)宮城県サッカー協会	東日本大震災社会資本再生復興パネル展	H25.1.18～2.1	県庁ロビー1階,2階	防災砂防課	防災気象講演会	H25.2.2	仙台市太白区文化センター	仙台管区気象台・危機対策課	仙台国際貿易港首都圏セミナー	H25.2.6	ホテル椿山荘東京（東京都）	港湾課	東北連携復興フォーラム	H25.2.6	政策研究大学院大学（東京都）	震災復興推進課	復興庁ロビー 復旧復興パネル展	H25.2.18～22	復興庁入庁ビル（東京都）	防災砂防課
開催名称	開催期間	開催場所	関係団体																																																																																																			
仙塩浄化センター下水処理開始式	H24.4.25	仙塩浄化センター	中南部下水道事務所																																																																																																			
H24津波防災パネル展	H24.5.1～5.17	県庁ロビー2階	防災砂防課																																																																																																			
中国民間航空局への情報提供及び全国販売促進会議	H24.5.8 H24.5.28～5.30	県内一円	観光課																																																																																																			
H24栗原市総合防災訓練	H24.6.17	一泊中央公園	栗原市																																																																																																			
道の駅パネル展示	H24.6.22～6.29	道の駅 三本木	北部土木事務所																																																																																																			
道の駅パネル展示	H24.7.2～7.31	道の駅 岩出山	北部土木事務所																																																																																																			
第582回全建設技術講習会	H24.7.4～7.5	太白区文化センター	(社)全国建設技術協会																																																																																																			
ソラへさっと臨空復興フェスタ	H24.7.28～7.29	美田園駅前特設会場	空港臨空地域課																																																																																																			
東日本大震災パネル展	H24.8.3～16	イオンタウン佐沼 専門店モール	登米地域事務所																																																																																																			
春日PA常設展示	H24.8.8～	仙台松島道路春日PA	防災砂防課・宮城県道路公社																																																																																																			
東北3県復興計画報告・講演会	H24.8.30	ホテルメトロポリタン仙台	建設センター																																																																																																			
ぱりあふりーフェスティバル	H24.9.8～9	AER 仙台市情報産業プラザ	障害福祉課																																																																																																			
記憶をつなぐ 一津波災害と文化遺産ー	H24.9.27～11.27 H25.1.30～3.15	国立民族学博物館 国文学研究資料館	国立民族学博物館 国文学研究資料館																																																																																																			
E E東北' 12	H24.10.24～25	夢メッセみやぎ	事業管理課																																																																																																			
地震・津波防災フェア	H24.10.28～10.31	イオンモール名取	イオンモール名取																																																																																																			
復旧・復興パネル展	H24.10.22～	県政広報展示室（県庁18階）	防災砂防課																																																																																																			
宮城県・気仙沼市合同津波総合防災訓練	H24.11.3	気仙沼市立階上小学校	防災砂防課																																																																																																			
復興なとり産直市	H24.11.23	埼玉県越谷市レイクタウン	イオンモール名取																																																																																																			
第8回フットボールカンファレンス	H25.1.12～13	イズミティ21	(社)宮城県サッカー協会																																																																																																			
東日本大震災社会資本再生復興パネル展	H25.1.18～2.1	県庁ロビー1階,2階	防災砂防課																																																																																																			
防災気象講演会	H25.2.2	仙台市太白区文化センター	仙台管区気象台・危機対策課																																																																																																			
仙台国際貿易港首都圏セミナー	H25.2.6	ホテル椿山荘東京（東京都）	港湾課																																																																																																			
東北連携復興フォーラム	H25.2.6	政策研究大学院大学（東京都）	震災復興推進課																																																																																																			
復興庁ロビー 復旧復興パネル展	H25.2.18～22	復興庁入庁ビル（東京都）	防災砂防課																																																																																																			
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>県庁 18 階広報展示室での展示状況</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>春日パーキングエリアでの展示状況</p> </div> </div>																																																																																																				

5月

9日 凍上災にかかる現地講習会 開催

今年の冬は、西高東低の冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受け、極端な低温状況が続いた。

このため、県内各地の道路で舗装面にひび割れ、不陸などの凍上被害（凍上災）が発生した。

被災箇所の早期復旧に向け、すみやかな災害申請が行えるよう、県及び市町村担当者を対象とした凍上災に係る講習会を開催した。



被災状況



現地講習会状況



現地講習会状況

24日 「平成24年度 宮城県砂防研修会」開催

市町村長を対象とし、「近年の土砂災害とこれからの対策」、「大規模な土砂災害に対する市町村としての課題」について講義を行った。



▲宮城県砂防研修会

26日 津波防災シンポジウム

県では昭和35年のチリ地震津波が襲った5月を津波防災月間と定め、毎年様々な取り組みを実施してきている。今年度は、東日本大震災の教訓を踏まえ、津波による犠牲者を無くすためには、過去の歴史津波について学び、また今回の津波で経験したことを記憶に留め、今後の防災対策に役立てるとともに、後世に確実に伝えていくことが非常に重要との、テーマを設定し、平成24年5月26日（土）、県庁講堂で開催した。

過去の津波や今回の津波現象、被害状況を分析した成果を千葉工業大学の後藤上席研究員、東北大学の越村教授に講演いただき、シンポジウムの聴講により個人の防災意識の向上と、聴講により得られたものを家庭や地域、職場などで共有することにより、地域防災力の向上を図るとともに史実として残していくことの重要性を認識していただいた。参加者は250名余りとなり、関心の高さが伺えた。



津波防災シンポジウム開催状況

6月 1日～ 6月の土砂災害防止月間に併せて、土砂災害から被害を軽減するための各種取り組みを実施し
14日 た

1日～ H23 土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール入賞作
30日 品展示

土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうため、次代を担う小・中学生を対象に開催したコンクールの入賞作品を展示した。

平成23年度は、県内の小・中学校の作品から、国土交通大臣賞（最優秀賞）や事務次官賞（優秀賞）を受賞している。



11日 土砂災害危険箇所等の点検パトロール

県や市町村職員に加え、宮城県砂防ボランティア協会の協力により、東日本大震災に伴い建設された仮設住宅や災害時要援護者施設などに隣接している危険箇所など、約150箇所の点検パトロールを行った。

土砂災害防止に関する講習会

市町村職員を対象に土砂災害に対する警戒避難体制整備等の講習会を開催した。



▲土砂災害危険箇所等の点検パトロール

12日 総合防災訓練

東日本大震災の経験を踏まえ、今後も起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」（6月12日）に合わせ総合防災訓練を実施した。土木部では、災害対策本部の訓練（全庁訓練）と平行し、本庁と地方機関が連携し、一昨年から運用開始しているBCP計画の検証を行う訓練内容とした。



土木部災害対策本部開催状況



衛星携帯電話による現地との連絡訓練状況



県災害対策本部開催状況

7月 9日～

災害査定

今年は、「2月及び3月の低温による災害」、「平成24年4月30日から5月5日にかけての豪雨による災害」、「平成24年6月14日から28日にかけての梅雨前線豪雨」、「台風4号」及び「台風17号」による災害が発生した。これを受け、7月9日を皮切りに11月末までに6次までにわたる災害査定を実施し、県で144件2,924,104千円、市町村で331件4,279,253千円、合計475件7,203,357千円の査定決定がされた。



概況説明の様子



現地査定の様子

気象名	県		市町村		合計	
	件数	決定工事費	件数	決定工事費	件数	決定工事費
2月低温	35	629,101	221	3,365,448	256	3,994,549
3月低温	7	179,698	30	526,298	37	705,996
4月30日から5月5日の豪雨	67	1,385,471	56	234,817	123	1,620,288
台風4号	30	620,657	21	137,640	51	758,297
台風17号	5	109,177	3	15,050	8	124,227
総計	144	2,924,104	331	4,279,253	475	7,203,357

金額(千円)

10月 30日
～
31日

公共土木施設災害復旧事業実務研修会

公共土木施設災害復旧事業の制度について、基礎的な知識の習得を図り、本業務の適性・円滑化を図るため、市町村及び県の災害実務担当者のうち、初心者を対象として、現地被災調査から査定設計書作成を含む災害査定までの一連の基礎的な実務を実践する研修会を行った。

今年度は、国土交通省東北地方整備局から佐藤震災対策調整官をお招きし、査定官の立場から災害復旧事業について、また、橋本土木部長からは東日本大震災からの復旧・復興についての講話があった。

47名の受講生からは、「参考になった」との意見が多く寄せられ、また模擬査定の研修内容では、「朱入れまで研修したい」との積極的な意見もいただいた。



佐藤震災対策調整官 講話



橋本土木部長 講話



グループ演習




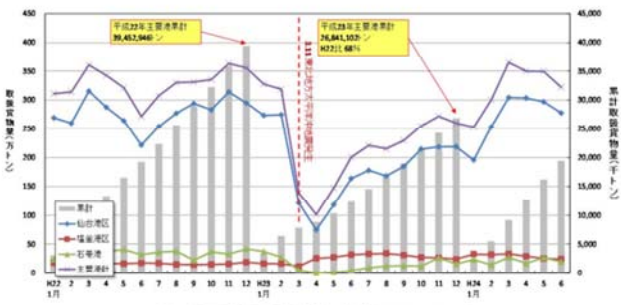


現地調査研修

<p>11月</p>	<p>15日 ～ 16日</p>	<p><u>宮城県土木部防災訓練担当者養成講座</u></p> <p>高い確率で発生が想定されている宮城県沖地震などの自然災害に備えて、正しい防災知識を持ち、各職場における配備・訓練の計画を立案もしくは補助し、職場における防災担当者となる職員の育成を目的として、県土木部の技術職員や市町村の職員などを対象に平成17年度から実施している。</p> <p>今年度は災害発生時に効率的な行動を迅速に図れるように防災模擬演習にテーマを絞り、企画立案、訓練の実施、評価改善が適切に実施できる人材を育成することを目的とした内容とした。</p> <p>模擬演習では、実際の災害対策本部さながらの緊迫感、臨場感がある中での演習が行われ、受講者も熱心に対応した。</p>	 <p>模擬訓練の様子</p>  <p>模擬記者会見</p>
<p>12月</p>	<p>14日</p>	<p>東日本大震災により被災した石巻市鹿妻地区で進めていた鹿妻災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業が完成した。引き続き被災前後の箇所についても対策を進める予定。</p>	
<p>1月</p>	<p>23日</p>	<p>復旧工事中の緑ヶ丘三丁目地すべり施設災害復旧工事箇所で、地元から要望されていた被災宅地対策については、県との協議の結果、造成宅地滑動崩落緊急対策事業を活用して実施することを、仙台市が表明した。</p>	<p>復旧工事が進む 緑ヶ丘三丁目 (地すべり抑止杭打設状況)</p> 

7. 港湾課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）	
3月	30日	<p><u>外貿定期コンテナ航路（韓国航路）再開</u></p> <p>仙台塩釜港と釜山港をダイレクトに結ぶ航路であり、釜山港経由で世界各国と輸出入が可能。</p>	 <p>▲韓国航路再開</p>
4月	28日	<p><u>高砂コンテナターミナルガントリークレーン3号機の供用再開</u></p> <p>3号機の稼働により、ガントリークレーン4基全て復旧した。</p>	 <p>▲3号機（奥）</p>
5月	17日	<p><u>外貿定期コンテナ航路（中国／韓国航路）増便</u></p> <p>外貿コンテナ航路は、これで4航路・週4便運航となった。（震災前は5航路・週5便）</p>	 <p>▲中国／韓国航路再開式典</p>
6月	1日	<p><u>宮城県港湾復興大会開催</u></p> <p>本県港湾の早期復旧・復興を図るため、港湾関係団体等約400名が一堂に集い、大会決議を採択した。</p>	 <p>▲大会の様子</p>
	4日	<p><u>石巻港岸壁の災害復旧工事着工式開催</u></p> <p>本格的な災害復旧工事の着手にあたり、大手埠頭において着工式を執り行った。</p>	 <p>▲石巻港着工式</p>

6月	21日	石巻港の復旧方法・復旧予定をホームページで公表	 <p>▲港湾施設復旧計画（南防波堤）</p>
7月	13日	松島港，女川港，荻浜港の復旧方法・復旧予定ホームページで公表	 <p>▲松島港</p>
8月	7日	仙台塩釜港，石巻港，松島港の統合一体化について，国土交通大臣への同意協議書を提出 運輸審議会へ諮問される見込みとなった。	
	16日	金華山港・雄勝港及び表浜港の復旧方法・復旧予定ホームページで公表	
	28日	仙台塩釜港の復旧方法・復旧予定ホームページで公表	
		 <p>▲港湾施設復旧計画（防波堤）【金華山港】</p>	 <p>▲港湾施設復旧計画（中央公園前護岸）【仙台塩釜港】</p>
9月	18日	気仙沼港・御崎港の復旧方法・復旧予定ホームページで公表	 <p>▲港湾施設復旧計画（-4.5m岸壁外）【気仙沼港】</p>
9月	30日	平成24年上半期の県内主要港湾取扱貨物量の集計結果（速報値）をホームページで公表 本県の港湾取扱貨物量は、昨年の東日本大震災による港湾機能の一時停止や利用企業の被災などにより、平成23年全体では、平成22年比70%弱まで減少したが、今回平成24年上半期の主要港湾の取扱貨物量を集計した結果、一部の港湾では平成22年の取扱貨物量の実績を超えた。	 <p>図1. 主要港湾取扱貨物量の推移(H22.1～H24.6)</p>

○平成24年上半期の県内主要港湾取扱貨物量の動向

1 主要各港の取扱貨物量

表1. 貨物量全体 (フレートトン)

港名	平成24年 上半期累計	平成23年 上半期累計	平成22年 上半期累計	H22比(%)
仙台塩釜港	18,089,863	11,565,839	17,262,643	104.8%
仙台港区	16,299,811	10,251,985	16,159,688	100.9%
塩釜港区	1,790,052	1,313,854	1,102,955	162.3%
石巻港	1,309,988	772,576	1,949,748	67.2%

- ・仙台塩釜港の取扱貨物量は、平成22年に比べて100%を超え回復している。
- ・石巻港は、平成22年に比べて70%弱となっている。

10月	17日	<p><u>女川湾口防波堤災害復旧工事着工式開催</u></p> <p>女川町の復興まちづくりに寄与する湾口防波堤の災害復旧工事に当たり、石浜地区において着工式を執り行った。</p>	
10月	17日	<p><u>仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化</u></p> <p>宮城のみならず東北の早期復旧・復興と産業競争力を高め、産業・経済、雇用、暮らしを守り発展させるため、三港を統合し新たな国際拠点港湾「仙台塩釜港」がスタートした。</p>	
11月	6日	<p><u>仙台塩釜港・塩釜港区災害復旧工事推進式開催</u></p> <p>塩釜港区は、震災直後の懸命な啓開作業等により9日目には石油タンカーを受け入れ、燃料危機脱出に重要な役割を果たした。本格的な災害復旧工事が順次着手される中、貞山ふ頭において推進式を執り行った。</p>	
	8日	<p><u>客船「飛鳥II」が震災後初めて仙台塩釜港・仙台港区に寄港</u></p> <p>日本最大の客船が中野ふ頭1号岸壁に接岸、船内見学ツアーのほか、岸壁において県産品の販売や県内観光PR、出港セレモニー等が行われた。</p>	

▲湾口防波堤着工式

▲三港統合一体化

▲塩釜港区推進式

▲飛鳥II寄港

14日 気仙沼港災害復旧工事着工式開催

気仙沼港は、震災直後の懸命な啓命作業等により緊急物資を積載した船が3月下旬に入港、その後は被災地への資材の物資供給の拠点として、また、震災廃棄物の陸揚げ等に利用されている。本格的な災害復旧工事の着手にあたり、朝日ふ頭において着工式を執り行った。



▲気仙沼港着工式

12月 27日 仙台塩釜港管理・運営協議会発足

新たな仙台塩釜港が、東北のゲートウェイとして地域の復旧、復興、発展を力強く支えていけるよう、港湾の管理・運営等に関する諸課題について、地元市町と連携し、県と地域が一体となって仙台塩釜港の更なる発展に向け取り組んで行くため、仙台塩釜港管理・運営協議会を設置した。



▲仙台塩釜港管理・運営協議会

2月 4日 平成24年仙台港区・塩釜港区・石巻港区取扱貨物量（速報）をホームページで公表

平成24年の港湾取扱貨物量は、仙台港区は震災前の平成22年比8%増の3,587万トン、塩釜港区は同56%増の327万トン、石巻港区は同32%減の276万トンの実績となった。



▲仙台港区



▲塩釜港区





▲石巻港区

4日 みやぎ45フィートコンテナ物流特区地域協議会開催

45フィートコンテナの利用促進を図るため、県と市の関係機関、港湾運送事業者、経済団体が参集した協議会を開催し、その中で、県の新たな施策として、45フィートコンテナ輸送車両購入支援事業を提示し、平成25年度の実施に向けた意見交換を行った。

<p>2月</p>	<p>6日</p>	<p><u>仙台国際貿易港首都圏セミナー開催</u></p> <p>都内において、荷主企業や船会社等約500名に対し仙台塩釜港の震災からの復旧・復興状況等をアピールし、県内港湾の利用促進を図った。</p>	 <p>▲首都圏セミナー</p>
	<p>28日</p>	<p><u>港湾災害復旧工事</u></p> <p>平成25年2月末現在の着手率は63%（箇所ベース）。今後、本格復旧の一層の進捗を図る。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲石巻港区 雲雀野1号荷捌地</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲塩釜港区 貞山埠頭</p> </div> </div>
<p>3月</p>	<p>21日</p>	<p><u>国際拠点港湾 新「仙台塩釜港」発足記念シンポジウム開催（予定）</u></p> <p>三港統合により新たな段階を迎える国際拠点港湾仙台塩釜港について、行政、産業界、観光等様々な視点から講演いただき、宮城の港湾の将来展望について関係者の理解を深める。</p>	

8. 空港臨空地域課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	29日	<p><u>仙台空港臨空公園の開園</u></p> <p>震災の影響により1年遅れでの開園となった。約1ヘクタールの園内に遊具広場や芝生広場を配置し、また展望スペースからは迫力ある飛行機の離着陸が間近に観察できる。幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう工夫しており、連日家族連れや飛行機マニアの方々に賑わっている。</p>
		 <p>▲仙台空港臨空公園</p>
5月	2日	<p><u>仙台ーバンコク線のチャーター便が4年ぶりに運航</u></p> <p>タイからの観光客34人に対して伊達武将隊らと歓迎の出迎えを実施した。</p>
		 <p>▲仙台ーバンコク線チャーター便到着のお出迎え</p>
	21日	<p><u>仙台ーソウル線のデイリー運航再開</u></p> <p>平成23年9月に週3往復で再開されたソウル線がデイリー化（震災前の状況に復活）され、運航再開記念セミナーが盛大に開催された。</p>
		 <p>▲仙台ーソウル線毎日運航再開記念セミナー</p>
	29日	<p><u>第2回仙台空港等活性化検討会開催</u></p> <p>1 民間研究会からの報告（①仙台空港活性化研究会 ②国際物流拠点化研究会 ③仙台空港周辺開発研究会）</p> <p>2 「みやぎ国際ビジネス・観光拠点化構想（案）」の報告（県） 他</p>
6月	7日	<p><u>台湾産マンゴーが震災後、初空輸</u></p> <p>約2トンの輸入マンゴーは、仙台エアカーゴターミナル内で通関及び植物防疫検査を受けた後、県内外のスーパーに輸送され、翌日から販売された。</p>
		 <p>▲台湾産マンゴー到着</p>

<p>6月</p>	<p>9日</p>	<p><u>ひまわりプロジェクト開催</u> 「なとりりんくうタウン」内の美田園第2仮設住宅地に、首都圏の一般家庭や学校などから届いたひまわりの苗が植えられた。</p>	 <p>▲植え付けに集まったボランティア</p>
	<p>14日</p>	<p><u>名取市地域公共交通連携協議会総会開催</u> 仙台空港アクセス鉄道の利用促進に向けた年間活動計画が承認された。</p>	
<p>7月</p>	<p>6～ 9日</p>	<p><u>仙台空港就航地キャンペーン実施</u> 仙台七夕祭り開催を前に、仙台空港との就航地（大阪、名古屋）を訪問して、仙台空港を利用した観光をPRした。</p>	 <p>▲名古屋市副市長を表敬訪問</p>
	<p>10～ 14日</p>	<p><u>韓国人モニターツアー開始（仙台・宮城東アジア観光情報発信事業）</u> 韓国人モニターツアー（7/10～14）実施した。 参加者：6人 ツアー先：青葉城，秋保，松島，栗駒山，平泉</p>	
	<p>28～ 29日</p>	<p><u>仙台空港・アクセス鉄道復興イベント</u> <u>「ソラヘサツとりんくう 復興 フェスタ」開催</u> 仙台空港アクセス鉄道沿線（仙台空港駅，美田園駅前広場，イオンモール名取）を会場に，沿岸市町復興市，就航地グルメ屋台，観光パネル展などの復興支援イベントを開催した。 来場者数：延べ17,042人</p>	 <p>▲仙台空港会場の様子</p>
	<p>30日</p>	<p><u>「仙台－長春線」再開</u> 「仙台－長春線」（週2便）の再開により，定期便は，震災前の国内8路線，国外6路線全て復活した。 記念式典の後，長春からの搭乗者119人に対して歓迎の出迎えを実施した。</p>	 <p>▲中国南方航空仙台便再開記念式典</p>

8月

5

中国プレスツアー実施（仙台・宮城東アジア観情報発信事業）

～8日

参加者：8人

ツアー先：蔵王，松島，平泉，日本酒醸造工場，
アウトレットモール等

7日

長春龍嘉（りゅうか）国際空港と仙台空港との
友好協定締結

長春市内のホテルで，吉林省民航機場集团公司社
長と仙台空港ビル㈱伊藤社長との間で友好協定が締
結された。合わせて，村井知事が同支社長に対し就
航再開御礼と長春線の増便を要望した。



▲友好協定締結の様子

中国南方航空吉林支社に対するトップセールス

宮城県・吉林省友好交流25周年記念行事出席
に合わせ，村井知事が同支社長に対し就航再開御
礼と長春線の増便を要望した。



▲トップセールスの様子

9～

台湾一般モニターツアー実施（仙台・宮城東アジア観光情報発信事業）

12日

参加者：17人

ツアー先：蔵王，平泉，小原，鳴子，鬼首，ウイスキー工場

19日

ラッピング電車 お絵かきトレインの運行

「トレインお絵かきコンクール」が開催され，受賞
作品の図柄によるラッピング電車が運行された。



▲お絵かきトレインの運行

24日

「なとりりんくうタウン土地区画整理事業」完了

「名取市下増田臨空土地区画整理組合」に対し，
決算報告の承認書を交付した。これをもって名取市
関下・下増田地区の2つの区画整理事業が完了した。

なとりりんくうタウンは，平成16年1月の事業
認可からわずか8年半で，185ヘクタール，人口
約5千9百人（H24.8末現在）へと成長し，更
なる成熟化が期待されている。



▲なとりりんくうタウン

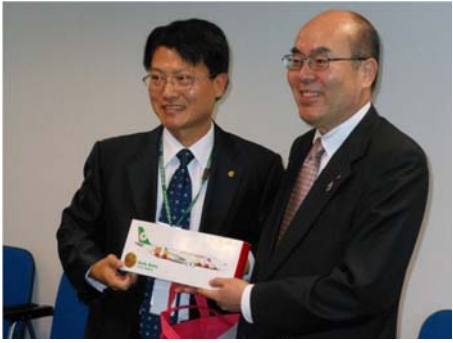

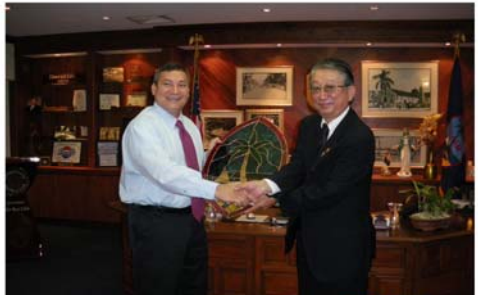
9月	3日	<p><u>第3回仙台空港等活性化検討会開催</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 (仮称) 仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針(案)について(県) 2 空港経営改革の動向について(国) 3 仙台空港及び周辺地域の将来像(素案)について(県) 4 民間研究会からの報告(仙台空港周辺開発研究会, 国際物流拠点化研究会) <p>10日 <u>仙台空港ビル(株) 防災功労者内閣総理大臣表彰</u> 仙台空港ビル株式会社 of 東日本大震災における防災活動の功績に対して, 平成24年防災功労者内閣総理大臣表彰状が授与された。</p> <p>23日 <u>パラカップ SENDAI in SENDAI AIRPORT の開催</u> 名取, 宮城の復興を伝え, 観光振興につなげることを目的として, 市民ランナーによるチャリティーランニングイベントが開催され, 生憎の雨の中, 千人を超えるランナーが貞山堀周辺を中心とした周回コースを駆け抜けた。</p>
10月	5日	<p><u>エアアジアCEOの知事表敬</u> 東アジアで最大のLCCであるエアアジアCEOトニーフェルナンデス氏が知事を表敬した。</p> <p>13～ 14日 <u>「ソラ行け旅フェスタ」開催</u> 仙台市一番町商店街を会場に, 仙台空港からの各就航地の観光ブース出展や民族芸能ショー等の航空旅客需要喚起のイベントを開催した。 来場者数: 延べ42,000人</p> <p>15日 <u>「仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針」策定</u> 仙台空港の民間運営委託並びに空港及び空港関連事業の経営一体化に当たり, 空港運営権者への期待, 国への要望及び県の取組等, 県の基本的な考え方をまとめた基本方針を策定した。</p> <p>24日 <u>「仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針」提出</u> 知事より羽田国土交通大臣に手交した。</p>



▲ソラ行け旅フェスタ



▲国土交通大臣に手交

10月	26日	<p><u>エバー航空へのトップセールス</u></p> <p>台北で開催された北海道・東北観光物産展出席に合わせ、若生副知事がエバー航空本社を訪問し、葉副社長に対し就航再開御礼と増便を要望した。</p>	 <p>▲トップセールス</p>
11月	19日	<p><u>グアム国際空港と仙台空港との姉妹空港友好協定締結</u></p> <p>グアム国際空港内で、グアム国際空港長と仙台空港ビル(株)伊藤社長との間で友好協定が締結された。</p> <p><u>グアム準州政府知事訪問</u></p> <p>三浦副知事がグアム準州政府のカルボ知事を訪問し、震災時の支援に対する御礼を述べた。</p>	 <p>▲姉妹空港友好協定締結式</p>  <p>▲グアム準州政府知事訪問</p>
	28日	<p><u>杉ヶ袋南地区緩衝緑地災害復旧工事に着工</u></p> <p>東日本大震災により流出した杉ヶ袋南地区緩衝緑地の施設復旧に着工した。 工事期間：平成24年11月28日から平成25年3月22日まで</p>	
12月	25日	<p><u>仙台エアカーゴターミナル新貨物棟起工式</u></p> <p>東日本大震災で被災した国際貨物棟、燻蒸設備の再建工事の起工式が開催された。</p>	
1月	16日	<p><u>ハワイアン航空へのトップセールス</u></p> <p>仙台商工会議所において、三浦副知事が仙台空港国際化利用促進協議会の鎌田会長とともに、同社のGタニグチ副社長に対し「仙台～ホノルル線」の就航実現を要望した。</p>	
	25日	<p><u>アジアナ航空へのトップセールス</u></p> <p>宮城県ソウル事務所20周年記念懇談会出席に合わせ若生副知事がアジアナ航空本社を訪問し、金常務に対しデイリー運航再開の御礼と増便を要望した。</p>	

<p>2月</p>	<p>12日</p>	<p><u>第4回仙台空港等活性化検討会開催</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針について（県） 2 仙台空港及び周辺地域の将来像（案）について（榊野村総合研究所） 3 ロンドン近郊空港視察について（県） 4 空港経営改革の動向について（国土交通省） 5 仙台空港旅客数・貨物取扱量倍増実現宣言 6 （仮称）仙台空港 600 万人・5 万トンの実現サポーター会議について <p><u>「素敵☆マダムのソラ旅フェスタ」, 「ソラ旅ガールズフェスタ」開催</u></p> <p>空の旅に関心が高く、口コミによる広がり期待できる女性を対象に、旅トークショーやファッションショー、就航地の観光ブース出展など航空旅客需要喚起のイベントを開催した。</p> <p>参加者数（マダム）：202人 （ガールズ）：293人</p>	 <p>▲仙台空港等活性化検討会</p>  <p>▲素敵☆マダムのソラ旅フェスタ</p> <p>18日 <u>ピーチアビエーションCEOの知事表敬</u></p> <p>仙台空港初のLCCであるピーチアビエーション井上CEOが、4月12日から新規就航する「大阪（関西）線」の報告のため、知事を表敬した。</p> <p>21日 <u>「杜の都 伊達なC a f e」開催</u></p> <p>機材の大型化が望まれる仙台～福岡線の利用促進のため、福岡市内で、仙台空港を利用した観光PR及び同路線便数が増えることで利便性が向上することをPRした。</p> <p>参加者数：157人</p>  <p>▲杜の都 伊達なC a f e</p>
<p>3月</p>	<p>1日</p>	<p><u>仙台・宮城DCのラッピング電車の運行開始</u></p> <p>仙台・宮城DCのキャッチコピーや宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」の図柄をラッピングした仙台空港アクセス鉄道車両の運行が開始された。（6月30日まで運行）</p>	 <p>▲ラッピング電車の運行</p>

9. 都市計画課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	1日	<p><u>加瀬沼公園の再開園</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 一部復旧エリアを除く公園の再開
	8日	<p><u>仙石線多賀城地区高架切換記念式典開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 多賀城地区連続立体交差事業により4箇所の踏切が解消
	19日	<p><u>第3回石巻市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 桃浦地区など計11地区の防災集団移転促進事業の協議
5月	22日	<p><u>第1回気仙沼市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 大沢地区など計5地区の防災集団移転促進事業の協議 <p><u>第1回東松島市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 野蒜北部丘陵地区土地区画整理事業の協議
	25日	<p><u>震災復興祈念公園構想検討会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 県と沿岸被災15市町との検討会が発足



7月	2日	<p><u>第1回仙台市復興整備協議会</u></p>	
	3日	<p>・田子西地区など計14地区の防災集団移転促進事業の協議</p> <p><u>第1回亙理町復興整備協議会</u></p> <p>・荒浜中野地区など計6地区の防災集団移転促進事業の協議</p> <p><u>第1回南三陸町復興整備協議会</u></p> <p>・藤浜地区など計3地区の防災集団移転促進事業の協議</p>	
	11日	<p><u>「被災市街地復興まちづくり勉強会」開催</u></p> <p>被災市街地復興土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業等における実務上の留意点の説明や県内市町の先進事例などを紹介した。</p> <p>(参集範囲：国交省，沿岸14市町，UR都市機構，委託業者等)</p>	
20日	20日	<p><u>石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業</u> 事業認可書交付式 開催</p> <p>石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業が県内で初めて事業認可され，事業認可書が交付された。</p> <p style="text-align: center;">事業認可書交付式の様子 (県土木部長から石巻市長へ認可書が交付された)</p>	
30日	30日	<p><u>第5回石巻市復興整備協議会</u></p> <p>・新渡波地区被災市街地復興土地区画整理事業などの協議</p> <p><u>第2回東松島市復興整備協議会</u></p> <p>・東矢本駅北地区被災市街地復興土地区画整理事業などの協議</p> <p><u>第2回南三陸町復興整備協議会</u></p> <p>・志津川東地区津波復興拠点整備事業及び災害公営住宅事業の協議</p>	

8月	5日	<p>岩沼市防災集団移転促進事業玉浦西地区造成工事着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起工式が行われ工事に着手 	
	20日	<p>第6回石巻市復興整備協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月浦地区など計4地区の防災集団移転促進事業の協議 <p>第3回南三陸町復興整備協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田の浦地区など計8地区の防災集団移転促進事業の協議 	
	27日	<p>加瀬沼公園の災害復旧工事完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部未供用であったエリアの完了 	 

8月	5日	<p>岩沼市防災集団移転促進事業玉浦西地区造成工事着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起工式が行われ工事に着手 	
----	----	---	---

20日

第6回石巻市復興整備協議会

・月浦地区など計4地区の防災集団移転促進事業の協議

第3回南三陸町復興整備協議会

・田の浦地区など計8地区の防災集団移転促進事業の協議



27日

加瀬沼公園の災害復旧工事完了

・一部未供用であったエリアの完了



9月

6日

第159回宮城県都市計画審議会

・気仙沼市，女川町，南三陸町の都市計画道路の変更

10日

女川町荒立，陸上競技場跡地被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可書交付式 開催

女川町荒立地区及び陸上競技場跡地地区被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可され，事業認可書が交付された。

事業認可書交付式の様子
(県土木部長から女川町副町長へ認可書が交付された)



10日

第3回気仙沼市復興整備協議会

・鹿折地区，南気仙沼地区の被災市街地復興土地区画整理事業などの協議

第4回南三陸町復興整備協議会

・志津川地区被災市街地復興土地区画整理事業などの協議

25日

東松島市野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業認可

野蒜丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可された。



	29日	<p><u>女川町被災市街地復興土地区画整理事業着手</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・着工式が行われ事業に着手。 	
10月	25日	<p><u>第1回塩竈市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦戸地区計2地区の防災集団移転促進事業及び災害公営住宅整備事業の協議 <p><u>第1回七ヶ浜町復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・菖蒲田浜地区など計3地区の防災集団移転事業及び災害公営住宅事業などの協議 	
	31日	<p><u>土木部指定管理者選定委員会開催</u></p>	
		<p>震災により閉園していた「仙台港多賀城地区緩衝緑地」の災害復旧工事が年度内に概成することから、新たな指定管理者を募集し「株東北ダイケン」が指定管理者の候補者として選定された。 (11月定例議会で決定)</p>	
	31日	<p><u>土木部指定管理者選定委員会開催</u></p>	
		<p>震災により閉園していた「仙台港多賀城地区緩衝緑地」の災害復旧工事が年度内に概成することから、新たな指定管理者を募集し「株東北ダイケン」が指定管理者の候補者として選定された。 (11議会で決定)</p>	
11月	4日	<p><u>石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業起工式開催</u></p> <p>石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業の起工式が開催された。</p>	
	19日	<p><u>第8回石巻市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新渡波西地区被災市街地復興土地区画整理事業の協議 	
	20日	<p><u>第4回気仙沼市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤岩港地区水産加工団地津波復興拠点整備事業などの協議 <p><u>第2回山元町復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新山下駅周辺地区、新坂元駅周辺地区津波復興拠点整備事業などの協議 	
	27日	<p><u>宮城県総合運動公園災害復旧工事完了</u></p> <p>震災及びH23.9台風15号により大きな被害を受け、災害復旧工事を進めていた同公園の工事が完了し、再び子供達の歓声が戻った。</p>	

	28日	<p><u>東松島市東矢本駅北地区被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可書交付式 開催</u></p> <p>東矢本駅北地区被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可され、事業認可書が交付された。</p>	
12月	26日	<p><u>「被災市街地復興まちづくり勉強会」開催</u></p> <p>被災市街地復興土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業、街路事業、都市公園事業における事業認可へ向けた留意事項等の説明や県内市町の先進事例などを紹介した。</p> <p>(参集範囲：国交省，復興庁，沿岸14市町，UR都市機構，委託業者等)</p>	 
1月	10日	<p><u>第161回宮城県都市計画審議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市，東松島市の都市計画道路の変更 	
	21日	<p><u>第1回利府町復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅整備事業の協議 	
	29日	<p><u>岩沼海浜緑地着工式</u></p> <p>県内の都市公園のうち、津波災害により壊滅的な被害を受けた公園の災害復旧工事第1号として岩沼海浜緑地の工事に着手。</p> <p>震災後、ガレキの仮置き場として利用されていたが、ガレキの撤去が完了し、本格的な復旧復興工事が始まることから、早期の復旧復興を祈念して着工式を開催。</p>	

2月	13日	<p><u>第9回石巻市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新蛇田南地区，あけぼの北地区，新門脇地区，湊東地区の被災市街地復興土地区画整理事業などの協議 	
	15日	<p><u>女川町宮ヶ崎被災市街地復興土地区画整理事業事業認可</u></p> <p>宮ヶ崎被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可された。</p>	
	16日	<p><u>石巻市南浜公園第3回ワークショップ開催</u></p> <p>国内最大の被災地となった石巻市に国営の震災復興祈念公園を要望しており、石巻市主催で、市民を対象にワークショップが開催された。</p> <p>(1回目12月16日、2回目1月27日)</p>	
	28日	<p><u>女川町（中心部）被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可</u></p> <p>女川町（中心部）被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可された。</p>	
	3月	19日	<p><u>第163回宮城県都市計画審議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・互理都市計画，山元都市計画の都市高速鉄道の決定
21日		<p><u>第10回石巻市復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下釜第一地区，湊北地区の被災市街地復興土地区画整理事業などの協議 	
21日		<p><u>第4回互理町復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市高速鉄道 東日本旅客鉄道株式会社常磐線の協議 	
21日		<p><u>第3回山元町復興整備協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市高速鉄道 東日本旅客鉄道株式会社常磐線の協議 	
28日		<p><u>気仙沼市鹿折地区被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可</u></p> <p><u>気仙沼市南気仙沼地区被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可</u></p>	

石巻市渡波西地区被災市街地復興土地区画整理事業 事業認可

上記 3 地区の被災市街地復興土地区画整理事業が事業認可された。

気仙沼市赤岩港地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業 事業認可

南三陸町志津川東地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業 事業認可

女川町女川浜地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業 事業認可

山元町新山下駅周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業 事業認可

山元町新坂元駅周辺地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業 事業認可



上記 5 地区の一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業が事業認可された。

10. 復興まちづくり推進室

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	5日 6日	<p><u>復興まちづくり事業に係る市町担当者連絡会議開催</u></p> <p>新年度から新たに復興まちづくり事業に携わる市町職員を対象として、県から、復興まちづくりに関連する事業や県の支援体制について説明が行われ、事業推進上の課題について解決に向けた意見交換が行われた。また、年度当初ということもあり、冒頭には、全国の自治体から各市町へ派遣された応援職員の紹介が行われた。</p>
		 <p>▲応援職員の紹介</p>
4月	24日	<p><u>第1回「災害に強いまちづくり宮城モデル」構築推進連絡調整会議開催</u></p> <p>沿岸被災地域における災害に強いまちづくりの実現に向けて、県及び被災市町が相互に問題意識を共有し、復興を進めていくことを目的に、県の取り組み状況を説明するとともに市町の課題や懸案について、県及び市町が相互に情報を共有できるよう「災害に強いまちづくり宮城モデル」構築推進連絡調整会議を開催した。関係市町からは、災害公営住宅及び復興住宅の整備についての支援の強化、津波防災地域づくり法による津波浸水想定、災害復旧事業のスケジュール等について要望や質問があり、議論がなされた。</p>
		 <p>▲県の取組状況説明と質疑応答</p>
4月	27日	<p><u>「復興まちづくり通信」創刊</u></p> <p>本年度から本格化する復興まちづくり事業の円滑な実施に向け、予算確保に向けた関係機関との調整、許認可事務の円滑化の推進、事業推進体制整備の支援等について、県の取り組みや各市町の先進事例について紹介する「復興まちづくり通信」が創刊された。</p> <p>以降、おおむね2か月おきに発行し、ホームページや各種会議での配布等により情報発信している。</p>
		   <p>▲「復興まちづくり通信」創刊号</p>

7月	19日	<p><u>津波避難に関する勉強会開催</u></p> <p>「災害に強いまちづくり」の実現に向け津波避難計画などのソフト面整備の充実を図るため、市町及び県職員を対象に勉強会を開催した。避難計画策定の事例紹介や津波避難タワーの見学会もあり、活発な意見交換が行われた。</p>	 <p style="text-align: right;">▲津波避難タワー見学会</p>
8月	5日	<p><u>岩沼市防災集団移転促進事業玉浦西地区造成工事 始動</u></p> <p>岩沼市玉浦西地区の造成工事の安全祈願祭・起工式が行われた。今回の津波被災地でいち早く集団移転に向けた「復興への槌音」が響き渡った。</p>	 <p style="text-align: right;">▲起工式での鉄入れの様子</p>
	8日	<p><u>復興まちづくりを推進するための多様な発注方式に係る勉強会開催</u></p> <p>復興まちづくり関連事業におけるマンパワー不足を効率的・効果的な事業執行によりカバーし、事業が円滑に行われるよう、市町職員を対象に復興まちづくりを推進するための多様な発注方式に係る勉強会を開催した。</p> <p>勉強会では、効果的な方法の一つである、CM方式※を活用した新たな発注方法や、土地区画整理事業における民間事業者包括委託方式ガイドライン、市町における先進事例が、国土交通省、(財)区画整理促進機構、市町担当者により紹介され、活発な意見交換が行われた。</p> <p>※CM（コンストラクション・マネジメント）方式とは</p> <p>発注者の補助者・代行者であるCMR（コンストラクション・マネージャー）が、技術的な中立性を保ちつつ発注者の側に立って設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、コスト管理などの各種マネジメント業務の全部又は一部を行うもの</p>	 <p style="text-align: right;">▲勉強会の様子</p>

<p>9月</p> <p>29日</p>	<p>女川町復興まちづくり 着工式</p>	<p>土地区画整理事業では津波被災地で初めての工事着工となり、安住財務大臣や平野復興大臣ほか多数の来賓を迎え盛大に着工式が行われた。</p>  <p>▲着工式での鉄入れの様子</p>
<p>10月</p> <p>25日</p>	<p>東松島市復興まちづくり整備事業 着手式</p>	<p>野蒜北部丘陵地区被災市街地復興土地区画整理事業が東松島市として最初の工事着手となることから、早期復興を祈願して「東松島市復興まちづくり整備事業着手式」が開催された。</p>  <p>▲着手式での鉄入れの様子</p>  <p>▲市長と小野保育所の児童らによる着手宣言</p>
<p>11月</p> <p>12日</p>	<p>金融機関向け防災集団移転促進事業説明会開催</p>	<p>事業実施上の課題となっていた移転元地へ設定された抵当権について、住宅金融支援機構から債務を完済できなくても抹消を行うスキームが示され、出席した金融機関、関係市町からは前向きに対応するとの意見が出された。</p> <p>この後、各金融機関において抵当権抹消に向けた意思決定が行われ、県内の全ての金融機関が協力することとなった。これにより、被災者の生活再建・住宅再建、各市町の復興まちづくりが円滑に進むこととなる。</p>  <p>▲橋本土木部長，東北財務局大橋金融監督官のあいさつ</p>  <p>今回示された抵当権抹消へ向けたスキーム</p> <pre> graph TD A[地権者] -- ①売買契約 --> B[自治体] B -- ②代金 --> C[金融機関] C -- ③抹消に必要な書類 --> B C -- ④代金受領の了承 --> A </pre> <ol style="list-style-type: none"> 金融機関は、土地売却代金を充当した上で住宅ローン等の債務が残った場合でも抵当権を抹消することを承諾する 自治体は、金融機関より抵当権抹消の内部と関係書類の交付を受け、土地の買収を行い、代金支払後、抵当権の抹消を行う

11月	21日	<p><u>第2回「災害に強いまちづくり宮城モデル」構築推進連絡調整会議開催</u></p> <p>「まちづくり整備カルテ」を活用した事業実施上の課題の抽出・調整，各市町における取組状況報告，国及び県，その他アドバイザーからの事業制度等に関する情報提供等が行われた。また，県から「まちづくり整備カルテ」について説明し，国・県と協力しながら作成・公表することに対して合意された。</p>  <p style="text-align: right;">▲遠藤土木部次長のあいさつ</p>
11月	30日	<p><u>低地嵩上盛土事業への復興交付金の認可</u></p> <p>国に対して以前より要望を続けてきた低地への嵩上盛土について，地元の再建状況や，他の雨水対策事業費との比較検討などの整理を行うことにより，初めて復興交付金による実施が認められた。以降，石巻市等で同様の事業を申請している。</p> <p>【気仙沼市 低地ゾーン土地利用促進事業】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="311 853 703 1413" style="text-align: center;"> <p>低地ゾーン鍛町等街区 (3.3ha) ○本事業今回申請区域</p>  <p>▲鹿折地区</p> </div> <div data-bbox="751 891 1522 1413" style="text-align: center;"> <p>低地ゾーン魚市場前等街区 (18.4ha) ○本事業今回申請区域</p>  <p>▲南気仙沼地区</p> </div> </div>
2月	4日	<p><u>被災農地の買い取り緩和（農地法施行規則の改正）</u></p> <p>市町が，防災集団移転促進事業により被災農地を買い取る場合には，原則として当該農地の利用計画を策定し，農地法の許可を得ることが必要であったが，農地法施行規則の改正により，市町において移転元地の具体的な利活用計画がない場合でも農地等を買取ることができるようになった。これにより，移転元地の売却資金を移転先での生活再建，住宅再建の原資にすることが可能となったことから，被災者の移転と再建が円滑に進むこととなった。</p>

2月 25日 住宅再建支援に係る東日本大震災復興基金交付金の追加配分

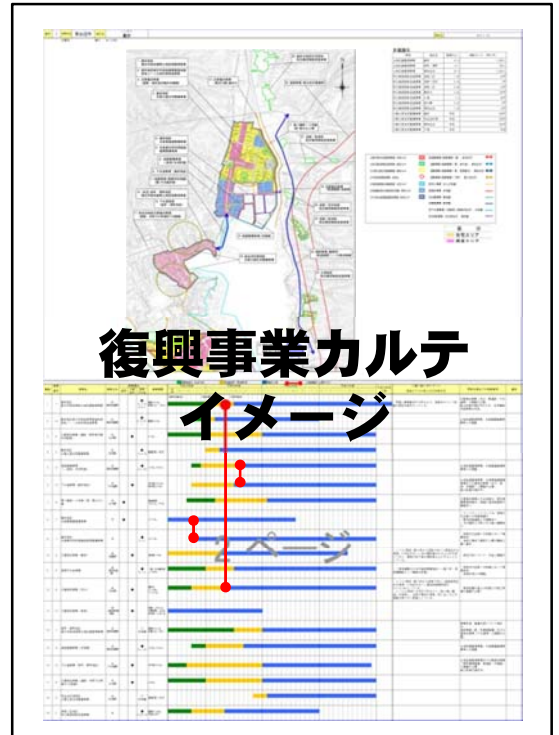
市町と連携し、各市町が必要な独自支援を行うための財源措置を国に求めてきた結果、平成24年度補正予算に津波被災地域における定着促進を目的とした予算が盛り込まれた。

県では、各市町の要望や独自支援策の内容を踏まえ、津波により被災した地域の住民の定着を促し、復興まちづくりを推進するために、市町が地域の実情に応じた独自の支援策を講じることができるよう、基金交付金の追加交付を決定した。

3月 25日 復興事業カルテの作成・公表

復興まちづくり事業の本格化にあわせ、被災者の方々が復旧・復興事業の進捗状況を実感できるよう、事業完了年度や住宅・宅地の供給時期を明示するとともに、国、県、市町の復旧・復興工事業の間調整により、住宅再建等を加速化させるために、宮城復興局と連携を図りながら「復興事業カルテ」を作成し、「まちづくり・住宅整備推進本部会議」での意見調整を経て公表した。

当面事業調整が必要となる26地区を作成・公表したが、その他の地区（三陸地域の離半島部）についても来年度以降、順次作成・公表する予定である。



1 1 . 下水道課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	13日	平成24年度 第1回市町村下水道事業担当者会議（会場：県庁 901 会議室） ・災害復旧事業の設計変更について 他
	19日	国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・協議設計の部分工事着手について 他
	25日	仙塩浄化センター下水処理開始式を開催
	30日 ～	太平洋セメント等の定期点検による休止や、他の下水汚泥受入施設の逼迫に備え、新たな処分先（環境事業公社・日高見・日本製紙岩沼工場ほか）を確保
	5月 31日	
5月	11日	国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議 他
	16日	国土交通省・下水道事業課 現地視察対応 ・仙塩浄化センター
	17日	国土交通省・下水道事業課 現地視察対応 ・石巻市
	23日	気仙沼市 復旧状況現地確認
	30日	国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議，協議設計の実施保留解除 他
31日	滋賀県議会議員行政視察対応 ・気仙沼市の復旧状況説明	



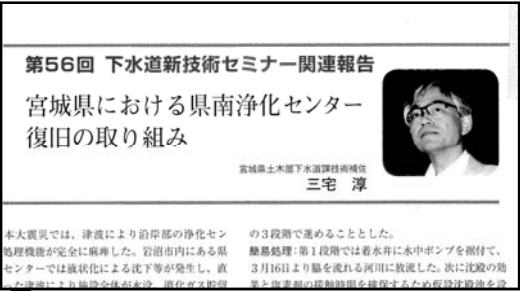
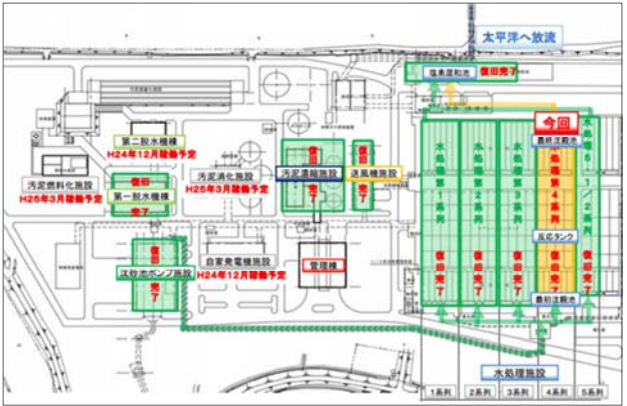

▲下水処理開始式 ボタン操作状況



▲被災状況



▲被災状況

<p>6月</p>	<p>1日 8日 15日</p>	<p>下水道新技術セミナー（大阪市） 講師 下水道新技術セミナー（東京都） 講師 月刊「下水道」（7月号）に、震災直後からの被災情報等の発信をテーマに、宮城県の対応について寄稿</p>	 <p>▲冊子『下水道機構情報』掲載記事抜粋</p>
<p>15日 18日</p>	<p>15日 18日</p>	<p>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議 他 東京電力(株)福島原子力補償相談室と損害賠償請求に関する打合せ 民間最終処分場、下水汚泥の受入停止</p>	
<p>7月</p>	<p>5日 11日 12日 27日 31日 31日</p>	<p>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議 他 下水道公社主催「排水設備工事責任技術者更新講習」において、被災状況の説明並びに不明水流入増に関して、接続業者の立場として軽減を図るよう要請した。 国土交通省・下水道事業課 現地視察対応 ・気仙沼市 国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議、協議設計の部分工事着手協議 他 平成24年度 第2回市町村下水道事業担当者会議（会場：中南部下水道事務所） ・災害復旧事業の成功認定について ・協議設計案件の復旧事業促進について 他 県南浄化センター水処理第4系列の処理開始 これまで段階的な復旧を進め、このたび同センター内の水処理施設についてはすべての復旧が完了。年内には、自家発電施設や第二脱水機棟が復旧予定で、順次稼働していく予定。</p>	 <p>▲県南センター平面図</p>
		 <p>▲水処理 第4系列</p>	

8月	1日	平成24年度 第2回市町村下水道事業担当者会議（会場：県南浄化センター） ・災害復旧事業の成功認定について
	2日	平成24年度 第2回市町村下水道事業担当者会議（会場：大和浄化センター） ・災害復旧事業の成功認定について
	10日	国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議，協議設計の実施保留解除 他
	11日	県南浄化センターで『夏休み親子で体験学習』を開催
	23日	国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 ・設計変更協議，協議設計の実施保留解除 他
	28日	東北電力に対し、再生可能エネルギー発電促進賦課金の減免申請
9月	3日 ～ 7日	} 市町村災害復旧工事の成功認定実施。（内陸部の市町村対象）
	5日	
	18日	石巻東部浄化センターにおいて、「下水処理開始式」開催 同センターは、水処理施設の第1系列復旧に伴い震災前と同様の生物処理を開始することとなりました。
	27日	国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議 その他 ・各処理場の下水汚泥について、放射性物質の濃度と空間線量を毎月計測し、マスコミに公表 http://www.pref.miyagi.jp/gesui/70_saigai/75_H23_3_11jisin.html ・津波により被災した仙塩・県南・石巻東部の放流水質について、毎週計測し下水道課 HP で公表 http://www.pref.miyagi.jp/gesui/70_saigai/76_H23_3_11jisin_suisitu.html

10月	5日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	11日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	19日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	29日 ～ 1日	} <u>市町村災害復旧工事の成功認定実施。(沿岸部の市町村対象)</u>
11月	3日	<u>「流域下水道復興まつり (東部下水道事務所)」開催</u>
		
		▲流域下水道復興まつり (ゲート)
		
		キャラクター
	8日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	15日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	16日	<u>災害復旧事業に係る「出前協議」(会場：東部下水道事務所)</u>
	21日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
12月	11日	<u>各下水道事務所並びに市町村への繰越説明会 (会場：東部下水道事務所)</u>
	12日	<u>各下水道事務所並びに市町村への繰越説明会 (会場：中南部下水道事務所)</u>
	13日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	14日	<u>災害復旧事業に係る「出前協議」(会場：東部下水道事務所)</u>
	20日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	20日	<u>仙塩浄化センター・汚泥焼却施設の試運転開始</u> ※放流水質が震災前の水質に回復 (上旬)
		
	▲汚泥焼却施設	
	21日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	25日	<u>石巻東部浄化センター 1・3系列で高級処理 (生物処理) 開始。</u>
		
		▲石巻東部浄化センター

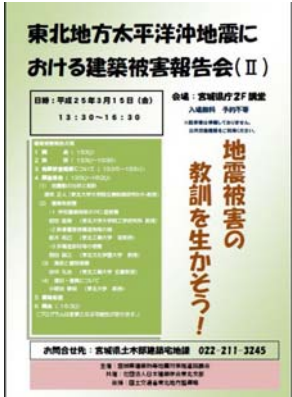
1月	8日	<u>市町村の復興交付金（雨水事業）協議（国土交通省・下水道事業課）</u>
	16日 ～	} <u>各下水道事務所並びに市町村への繰越ヒヤリング</u>
	17日	
	17日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	22日	<u>市町村の復興交付金（雨水事業）協議（国土交通省・下水道事業課）</u>
	25日	<u>仙塩浄化センター・汚泥焼却施設燃焼開始式</u> ※県南浄化センターの放流水質が震災前の水質に回復（下旬）
		 <p>▲汚泥焼却施設燃焼開始式</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙塩浄化センター汚泥焼却施設のばい煙の放射能測定
2月	7日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	21日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
3月	1日	<u>県南浄化センター・汚泥燃料化施設の負荷運転開始</u>
		 <p>▲汚泥燃料化施設</p>
	7日	<u>国土交通省・防災課 災害復旧工事事前協議</u>
	22日	<u>県南浄化センター下水道災害復旧完工式</u>
	23日	<u>県南浄化センター・記念植樹祭</u>
		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各処理場の下水汚泥等について、放射性物質の濃度と空間線量を毎月計測し、マスコミに公表 http://www.pref.miyagi.jp/gesui/70_saigai/75_H23_3_11jisin.html ・津波により被災した仙塩、県南、石巻東部の放流水質について毎週計測し、下水道課HPに公表 http://www.pref.miyagi.jp/gesui/70_saigai/76_H23_3_11jisin_suisitu.html

1 2. 建築宅地課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	1日	<u>南三陸町が災害危険区域を指定</u> 南三陸町が建築基準法に基づく災害危険区域を指定した。
	16日	<u>（仮称）仙台市荒井東復興公営住宅構造計算適合性判定事前審査開始</u> （仮称）仙台市荒井東復興公営住宅に係る建築基準法に基づく構造計算適合性判定の事前審査を開始した。
5月	22日	<u>気仙沼市の防災集団移転促進事業に係る復興整備協議会の開催</u> 気仙沼市で最初の防災集団移転促進事業（波路上長磯浜地区外4地区）に係る復興整備協議会が開催された。 <u>造成宅地防災区域の指定</u> 亘理町の造成宅地滑動崩落緊急対策事業に関し、宅地造成等規制法に基づく造成宅地防災区域の指定を行った。
6月	1日	<u>東松島市が災害危険区域を指定</u> 東松島市が建築基準法に基づく災害危険区域を指定した。
	15日	<u>仙台市の防災集団移転促進事業に係る復興整備協議会の開催</u> 仙台市で最初の防災集団移転促進事業（田子西地区外13地区）に係る復興整備協議会が開催された。
	18日	<u>仙台市のがけ地近接等危険住宅移転事業計画の同意（第1回目、以後変更の都度同意。以下同じ。）</u> 仙台市のがけ地近接等危険住宅移転事業計画に対し、復興交付金制度要綱に基づき同意した。
	29日	<u>亘理町が災害危険区域を指定</u> 亘理町が建築基準法に基づく災害危険区域を指定した。 <u>気仙沼市が災害危険区域を指定</u> 気仙沼市が建築基準法に基づく災害危険区域を指定した。
7月	2日	<u>女川町の防災集団移転促進事業に係る復興整備協議会の開催</u> 女川町で最初の防災集団移転促進事業（指ヶ浜地区外12地区）に係る復興整備協議会が開催された。
	3日	<u>南三陸町、亘理町の防災集団移転促進事業に係る復興整備協議会の開催</u> 南三陸町及び亘理町で最初の防災集団移転促進事業（南三陸町：馬場・中山地区外2地区、亘理町：荒浜中野地区外5地区）に係る復興整備協議会が開催された。
	6日	<u>東松島市のがけ地近接等危険住宅移転事業計画の同意</u> 東松島市のがけ地近接等危険住宅移転事業計画に対し同意した。 <u>都市計画事業に準ずる事業として行う一団地の住宅施設の事前確認書の交付</u> 岩沼市長に対して、用地取得に係る譲渡所得の5,000万円特別控除を適用するための「都市計画事業に準ずる事業として行う一団地の住宅施設」の事前確認書を交


		付した。(玉浦西地区)	
	11日	<p><u>第1回地域自立型応急危険度判定等実施体制検討会議の開催</u></p> <p>東日本大震災における被災建築物応急危険度判定及び被災宅地危険度判定の課題の検証と、様々な状況下においても判定活動が効果的に実施できる体制整備の検討を目的とした、地域自立型応急危険度判定等実施体制整備検討会議の第1回目の会議を開催した。</p>	
	19日	<p><u>東日本大震災における被災建築物応急危険度判定・被災宅地危険度判定実施状況の記録の作成</u></p> <p>宮城県建築物等地震対策推進協議会において、被災建築物応急危険度判定・被災宅地危険度判定実施状況の記録を500部作成し、全国に配布した。</p>	
	23日	<p><u>気仙沼市のがけ地近接等危険住宅移転事業計画の同意</u></p> <p>気仙沼市のがけ地近接等危険住宅移転事業計画に対し同意した。</p>	
	26日	<p><u>民間賃貸借上げ住宅連絡会議での助言</u></p> <p>県保健福祉部が災害救助法に基づいて整備する応急仮設住宅としての民間賃貸住宅(みなし仮設)について、その供与期間を延長するための再契約書の記載事項等について、宅地建物取引業法上の観点から助言を行った。</p>	
	30日	<p><u>東松島市の防災集団移転促進事業に係る復興整備協議会の開催</u></p> <p>東松島市で最初の防災集団移転促進事業(野蒜北部丘陵団地外6地区)に係る復興整備協議会が開催された。</p>	
8月	1日	<p><u>平成24年度版耐震診断・耐震改修事業普及啓発用パンフレットの作成</u></p> <p>助成事業の利用者からの声を掲載した平成24年度版の普及啓発用パンフレットを15,000部作成し、全県に配布した。</p> <p><u>東日本大震災被災建築物の市街化区域内移転適地への移転に係る開発許可の弾力的運用基準の施行</u></p> <p>国の技術的助言に基づき、東日本大震災被災建築物の市街化調整区域内移転適地への移転に係る開発許可制度の弾力的運用基準を定め、施行した。</p>	
	5日	<p><u>「岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業着工式」の開催</u></p> <p>岩沼市玉浦西地区における防災集団移転促進事業の着工式が開催された。</p>	
	7日	<p><u>宮城県における国と地方の協議会開催</u></p> <p>東日本大震災復興特別区域法に基づく国と地方の協議会が開催され、防災集団移転促進事業の移転先の土地売却について、無条件に5,000万円の譲渡所得の特別控</p>	

	9日	除を適用する特例を求めた。 <u>亘理町のがけ地近接等危険住宅移転事業計画の同意</u> 亘理町のがけ地近接等危険住宅移転事業計画に対し同意した。	
	24日	<u>仙台市鹿野復興公営住宅構造計算適合性判定事前審査開始</u> 仙台市鹿野復興公営住宅に係る建築基準法に基づく構造計算適合性判定事前審査を開始した。	
	30日	<u>応急仮設建築物の存続期間の延長に係る説明会の開催</u> 東日本大震災復興特別区域法に基づく応急仮設建築物存続期間延長の特例措置に関し、関係市町への説明会を開催した。	
9月	7日	<u>平成25年度復興庁税制改正要望の公表</u> 防災集団移転促進事業(50戸未満)の用地取得に係る譲渡所得の5,000万円特別控除が、平成25年度復興庁税制改正要望に盛り込まれた。	
10月	16日	<u>造成宅地防災区域の指定</u> 利府町の造成宅地滑動崩落緊急対策事業に関し、宅地造成等規制法に基づく造成宅地防災区域の指定を行った。	
	23日	<u>災害時における被災住宅の応急修理に関する協定締結</u> 宮城県内で災害が発生した場合に、宮城県地域防災計画に基づき県が行う応急修理について、下記3団体と、応急修理を行える各団体の会員の情報提供等を実施する内容の協定を締結し、被災者住宅支援業務の充実を図った。 記 宮城県建設職組合連合会 一般社団法人みやぎ中小建設業協会 宮城県優良住宅協会	
11月	29日	<u>宮城県地域主動型応急危険度判定等実施体制整備方針の策定</u>	
		東日本大震災における応急危険度判定等の実施状況を踏まえ、どのような状況においても適切に対応できるような実施体制を整備すべく、県、市町村及び建築関係	

		団体が構成する検討会議において検討を重ねた結果、整備方針がまとまった。
12月	4日	<p><u>造成宅地防災区域の指定</u></p> <p>塩竈市の造成宅地滑動崩落緊急対策事業に関し、宅地造成等規制法に基づく造成宅地防災区域の指定を行った。</p>
1月	24日	<p><u>平成25年度税制改正大綱の公表</u></p> <p>自民党の平成25年度税制改正大綱において、防災集団移転促進事業を一団地の津波防災拠点市街地形成施設に準ずる事業として知事が証明した場合、用地取得に係る譲渡所得の5,000万円特別控除が適用できることが盛り込まれた。</p>
2月	1日	<p><u>災害公営住宅に係る構造計算適合性判定は指定機関が実施</u></p> <p>災害公営住宅に関して、計画通知を含め構造計算適合性判定は指定機関が実施することになった。</p>
	22日	<p><u>造成宅地防災区域の指定</u></p> <p>白石市の造成宅地滑動崩落緊急対策事業に関し、宅地造成等規制法に基づく造成宅地防災区域の指定を行った。</p>
3月	15日	<p><u>東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会（Ⅱ）の開催</u></p>
		 <p>県、県内市町村、建築物等に関する団体及び学識経験者等で構成される宮城県建築物等地震対策推進協議会が、社団法人日本建築学会東北支部と共催し、次なる大地震への備えとするため、昨年に引き続き、第2回目の東北地方太平洋沖地震による建築被害の報告会を開催した。</p>

13. 住宅課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	2日	<u>解雇等により離職し、住居を失った方への県営住宅の募集</u> 解雇・雇い止め等により、寮・社宅等の住居から退去を余儀なくされた方への居住の場を確保するため、県営住宅提供の期間を平成24年9月28日まで延長しました。
	12日	<u>地域型復興住宅出発式</u> 地域住宅生産者グループ76グループの出発式が行われ、生産者グループ代表260名が出席した。
	13日	<u>宮城県住宅供給公社が仙台簡易裁判所に特定調停申立</u> 4金融機関を相手方として、分譲事業借入金122億2,600万円の支払方法等について協議するものであり、県は利害関係者として調停への参加を求められた。
	24日	<u>宮城県住宅供給公社の債務処理に係る調停（第1回）</u> 宮城県住宅供給公社の債務処理に係る調停（第1回）が行われた。
	末日	<u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 48件（補助額合計 22,967千円） 累計 補助金交付決定185件（補助額合計 89,667千円）
5月	10日	<u>地域住宅ブランド化事業説明会</u> 宮城県地域型復興住宅推進協議会主催で、国土交通省の補助事業である地域住宅ブランド化事業の説明会を行った。
	11,12日	<u>県営将監住宅の事業計画説明会</u> 県営将監住宅の政策空き家に係わる事業計画の住民説明会を開催した。
	21日	<u>平成23年度県営住宅明渡等訴訟の結果報告</u> 平成23年度県営住宅明渡等訴訟の結果について、建設企業委員会へ報告した。
	22日	<u>宮城県住宅供給公社の債務処理に係る調停（第2回）</u> 今回から県は裁判所調停委員会からの呼出を受け、調停に出席した。
	末日	<u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 28件（補助額合計 13,701千円） 累計 補助金交付決定213件（補助額合計103,368千円）

<p>8月</p>	<p>1日</p>	<p><u>応急仮設住宅の居住環境の改善に係る付帯設備等着手</u></p> <p>応急仮設住宅の居住環境改善のため、給湯器（追い炊き機能付き）設置（13, 421戸）及び物置設置（17, 817戸）を開始した。（※設置戸数は、アンケートによる希望戸数）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="429 237 900 589">  </div> <div data-bbox="954 241 1425 589">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="491 613 836 640"> <p>▲給湯器（追い炊き機能付き）設置</p> </div> <div data-bbox="1129 613 1244 640"> <p>▲物置設置</p> </div> </div>
	<p>24日</p>	<p><u>県営名取手倉田第二住宅1号棟新築設計完了</u></p> <p>被災した1号棟（30戸）の再建築設計完了。引き続き、工事発注準備に着手した。</p>
<p>9月</p>	<p>11日</p>	<p><u>宮城県議会9月定例会開会</u></p> <p>宮城県住宅供給公社の債務処理に係る予算議案、調停条項の受諾議案など関連議案を提出した。建設企業委員会において、県営住宅等家賃減免制度の見直し及び平成24年県営住宅明渡等訴訟について報告した。</p> <p>11日 <u>第2回災害公営住宅管理手法</u></p> <p>被災市町と第2回災害公営住宅管理手法（指定管理・管理代行）に関する勉強会を開催した。</p> <p>22, 23日 <u>住まいの耐震博覧会について</u></p> <p>夢メッセみやぎで開催された「住まいの耐震博覧会」の相談コーナーで住宅再建支援制度相談を行った。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">▲住宅再建支援制度相談コーナー</p> <p>末日 <u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u></p> <p>当月 補助金交付決定 30件（補助額合計 14,341千円） 累計 補助金交付決定 328件（補助額合計 158,473千円）</p>

10月	15日	<p><u>県営黒松第一住宅（1～6号棟）団地解体工事着手</u> 被災した1～6号棟の解体工事に着手した。</p>  <p>黒松第一住宅解体工事中</p> <p>23日 <u>宮城県住宅供給公社の債務処理に係る調停（第6回）</u> 宮城県住宅供給公社の債務処理に係る調停（第6回）が行われ、7月17日に提示された調停条項あっせん案に同意し、調停が成立した。</p> <p>30日 <u>第3回災害公営住宅管理手法勉強会</u> 被災市町と募集方法やペット飼育等に関する検討を行った。</p> <p>末日 <u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> <table data-bbox="327 1182 1184 1272"> <tr> <td>当月</td> <td>補助金交付決定</td> <td>16件</td> <td>（補助額合計</td> <td>7,684千円）</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>補助金交付決定</td> <td>344件</td> <td>（補助額合計</td> <td>166,157千円）</td> </tr> </table> </p>	当月	補助金交付決定	16件	（補助額合計	7,684千円）	累計	補助金交付決定	344件	（補助額合計	166,157千円）
当月	補助金交付決定	16件	（補助額合計	7,684千円）								
累計	補助金交付決定	344件	（補助額合計	166,157千円）								
11月	9日	<p><u>県営志津川廻館前住宅団地解体工事着手</u> 被災した建物の解体工事に着手した。</p>  <p>志津川廻館前住宅団地解体工事中</p> <p>22日 <u>宮城県議会11月定例会開会</u> 県営住宅条例の一部（収入基準、整備基準）を改正する条例議案及び指定管理者の指定に係る議案を提出した。</p>										

<p>30日</p>	<p><u>応急仮設住宅の居住環境の改善に係る付帯設備等完了</u> 応急仮設住宅の居住環境改善として、給湯器（追い炊き機能付き）設置（13,496戸）及び物置設置（18,500戸）を完了した。</p> <p><u>県営多賀城八幡住宅外一団地物置・自転車置場災害復旧工事完了</u> 多賀城八幡住宅団地、石巻鹿妻住宅団地の被災した物置及び自転車置場の再建築工事が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>多賀城八幡住宅物置復旧工事完了</p> <p>石巻鹿妻住宅物置復旧工事完了</p> </div> <p>末日 <u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 27件（補助額合計 13,309千円） 累計 補助金交付決定371件（補助額合計 179,466千円）</p>
<p>12月</p>	<p>7日 <u>県営名取手倉田第二住宅1号棟解体工事完了</u> 被災した既設1号棟（30戸）の解体工事が完了した。</p> <p>20日 <u>県営石巻門脇住宅団地外2団地物置・自転車置場災害復旧工事完了</u> 石巻門脇住宅団地、石巻黄金浜住宅団地、石巻吉野住宅団地の被災した物置及び自転車置場の再建築工事が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>石巻黄金浜住宅物置復旧工事完了</p> <p>石巻吉野住宅自転車置場復旧工事完了</p> </div> <p>27日 <u>第4回災害公営住宅管理手法勉強会</u> 被災市町と家賃や駐車場料金の設定、居住者負担の取扱い等に関する検討を行った。</p> <p>28日 <u>県営名取手倉田第二住宅1号棟新築工事着手</u> 被災した1号棟の再建築工事に着手した。（鉄筋コンクリート造 5階建て 30戸）</p>

	末日	<u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 19件（補助額合計 8,674千円） 累計 補助金交付決定390件（補助額合計 188,140千円）
1月	16日 末日	<u>宮城県地域型復興住宅推進協議会会議</u> 地域型復興住宅パンフレットの第2版の発行予定等の報告があった。 <u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 21件（補助額合計 10,319千円） 累計 補助金交付決定411件（補助額合計 198,459千円）
2月	15日 28日 末日	<u>第5回災害公営住宅管理手法勉強会</u> 4月入居開始を予定している仙台市、石巻市、山元町の募集方法をもとに、被災市町と優先入居や家賃設定等について検討を行った。 <u>県営黒松第一住宅（1～6号棟）団地解体工事完了</u> 被災した1～6号棟の解体工事が完了した。 <u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 23件（補助額合計 10,870千円） 累計 補助金交付決定434件（補助額合計 209,329千円）
3月	25日 末日	<u>県営志津川廻館前住宅団地解体工事完了</u> 被災した建物の解体工事が完了した。 <u>住宅再建支援事業（二重ローン対策）実績</u> 当月 補助金交付決定 16件（補助額合計 7,354千円） 累計 補助金交付決定450件（補助額合計 216,683千円）

14. 復興住宅整備室

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	1日	<p><u>復興住宅整備室新設</u></p> <p>市町の災害公営住宅の建設支援を主に担当する部署として新設され、東京都1名、愛知県2名、岐阜県1名、福岡県2名、大分県1名の計7名を含め、全体で15名の組織でスタートを切った。</p>
	24日	<p><u>第7回「復興住宅市町村連絡調整会議」</u></p> <p>災害公営住宅の整備に係る県の支援体制や会議の目的、宮城県復興住宅計画や災害公営住宅制度等に関して各市町の担当者に対し、過去の経緯を含め説明し、情報の共有を図った。</p>
	26日	<p><u>福岡県知事来室：激励の訪問挨拶</u></p>
5月	21日	<p><u>買取制度担当者会議</u></p> <p>整備手法の一つである民間からの買取制度に対して、課題等の意見交換を行った。</p>
	23日	<p><u>仙台市市営住宅見学会</u></p> <p>福祉サイドとの連携により、公営住宅の仕様やサイズの確認等を仙台市さんの協力のもと実施し、意見交換を行い、ガイドラインや設計の仕様等に反映した。</p>
	25日	<p><u>第1回「買取検討会WG」</u></p> <p><u>山元町と「新山下駅周辺地区第2期」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結</u></p>
	31日	<p><u>「みやぎふるさとBOOK2012」住宅部門「宮城県復興住宅計画（概要版）」掲載</u></p>
6月	8日	<p><u>第1回「みやぎ復興住宅整備推進会議」</u></p> <p>新たな時代を切り開く住宅・まちづくりを進めるため、関係機関や住宅関連団体が参加し、情報交換・共有を図るとともに、県民や全国に向けて、先進的で魅力ある宮城の住宅・まちづくりに関する情報発信を行った。</p> <p>○主なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県復興住宅計画について ・宮城県の復興まちづくりについて ・みやぎ地域型復興住宅について など



▲集合写真



▲仙台市営住宅見学会



▲新山下駅周辺地区第2期パース



▲みやぎ復興住宅整備推進会議

	<p>14日</p> <p>20日</p> <p>29日</p>	<p><u>第8回「復興住宅市町村連絡調整会議」</u> 市町と連携し、整備指針案及び設計要領案に関する内容を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅の計画・供給手法に係る検討業務のとりまとめについて ・宮城県災害公営住宅整備指針〈ガイドライン〉(案) ・宮城県災害公営住宅設計要領(案) <p><u>第2回「買取検討会WG」</u> 要領等に対する意見交換、大崎市の事例紹介(計画概要等)、事業フローの確認を行った。</p> <p><u>第3回「買取検討会WG」</u> 事業者選定基準と評価手法等に関して意見交換や情報の共有を図った。</p>	 <p>▲復興住宅市町村連絡調整会議</p>
<p>7月</p> <p>10日</p> <p>18日</p> <p>23日</p> <p>27日</p>	<p>10日</p> <p>18日</p> <p>23日</p> <p>27日</p>	<p><u>三県住宅復興連絡会議(開催地:仙台市)</u> それぞれ抱える課題や、震災の教訓を生かした取組み等について議論した。</p> <p><u>宮城県災害公営住宅整備指針〈ガイドライン〉を策定</u> 整備予定の市町と連携し、県内の災害公営住宅の基本的な考え方や地域特性に配慮した取組みを示した。</p> <p><u>宮城県災害公営住宅設計標準を策定</u> 災害公営住宅の設計を行うにあたって必要な事項を定めるとともに、基本的な性能を示すことにより、業務の円滑かつ適正な執行を図ることを目指し策定した。</p> <p><u>第4回「買取検討会WG」</u> 募集関係要綱等の修正案、審査基準・要求水準等について意見交換を行った。 また、全体事業フローや買取価格設定方法の検討を行った。</p> <p><u>第9回復興住宅市町村連絡調整会議</u> 公募型買取制度の検討状況や整備指針〈ガイドライン〉及び設計標準の策定報告を行った。</p> <p><u>第1回「復興住宅と福祉のまちづくり研修会」開催</u></p>	 <p>▲整備指針〈ガイドライン〉策定</p>
<p>8月</p>	<p>28日</p>	<p><u>宮城県・岩手県・整備局意見交換会</u> 岩手県担当者と整備局担当者を交え、現在の状況における情報交換や今後の課題等について意見を交わした。</p>	

	30日	<u>第2回「みやぎ復興住宅整備推進会議」</u> ○主なテーマ ・ 県産材の積極的活用について ・ 様々な復興住宅の取組みについて ・ 復興住宅相談会の支援について など	
9月	11日	<u>第10回「復興住宅市町村連絡調整会議」</u> 公募型買取制度の検討結果の報告や市町の特色ある取組についての事例紹介を行った。 ・ 福祉施設等を併設した災害公営住宅の整備（多賀城市） ・ 簡易プロポーザル方式による災害公営住宅設計者の選定（七ヶ浜町） ・ 木造災害公営住宅整備についての取組み（南三陸町）	
	28日	<u>七ヶ浜町と「菖蒲田浜林合地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結した。</u> <u>東松島市と「矢本東保育所跡地」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結した。</u> <u>岩沼市と「玉浦西地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結した。</u>	
10月	1日	<u>復興住宅整備室の増員</u> 災害公営住宅建設の本格化に向け、10月から派遣職員が10名増員された。 宮城県職員8名、派遣職員17名、計25名 （北海道1名、秋田県2名、東京都3名、富山県1名 岐阜県：2名、愛知県2名、福岡県2名、熊本県2名 大分県1名）	 <p>▲集合写真</p>  <p>▲「玉浦西地区」協定書調印式</p>  <p>▲みやぎ復興住宅整備推進会議</p>
	15日	<u>村井知事と井口岩沼市長による「玉浦西地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定調印式</u>	
	17日	<u>石巻市と「黄金浜北地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結</u>	
	23日	<u>第3回「みやぎ復興住宅整備推進会議」</u> ○主なテーマ ・ 再生可能エネルギーの取組について ・ 住宅における太陽光発電の導入について ・ 宮城県産材を使用した地球環境にやさしい復興住宅の提案 ・ 地中熱利用による再生エネルギーの推進について ・ 災害復興住宅融資の制度改善について など	

11月	7日	<p><u>第11回「復興住宅市町村連絡調整会議」</u></p> <p>○主なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町から被災者を受け入れる災害公営住宅の整備について ・災害公営住宅の管理について ・災害公営住宅の整備の推進について（国土交通省） ・災害公営住宅における木材活用について（林野庁） ・県が発注する災害公営住宅における県産材等の活用についてなど 	 <p>▲復興住宅市町村連絡調整会議</p>
	16日	<p><u>三県住宅復興連絡会議（開催地：盛岡市）</u></p> <p>それぞれ抱える課題や、持ち家の自力再建等について議論した。</p>	
	20日	<p><u>山元町「新山下駅周辺地区第一期（その2）」災害公営住宅の工事に着手</u></p> <p>（計画概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸数：26戸 ・階数：平屋又は2階建て ・構造等：木造（在来工法）、長屋 	 <p>▲新山下駅周辺地区第一期イメージパース</p>
	21日	<p><u>七ヶ浜町と「松ヶ浜地区・花淵浜地区・吉田浜地区・代ヶ崎浜地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結</u></p>	
	27日	<p><u>山元町「新山下駅周辺地区災害公営住宅第一期工事」着工式</u></p>	 <p>▲山元町 着工式</p>
12月	26日	<p><u>石巻市と「新蛇田地区・新沼地区・湊筒場地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結</u></p>	
	27日	<p><u>山元町「新山下駅周辺地区第一期（その1）」災害公営住宅の工事に着手</u></p> <p>（計画概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸数：24戸 ・階数：平屋又は2階建て ・構造等：木造（在来工法）、長屋 	
1月	17日	<p><u>塩竈市「伊保石地区災害公営住宅整備事業」着工式の開催</u></p>	

	<p>23日</p> <p>29日</p> <p>31日</p>	<p><u>第12回「復興住宅市町村連絡調整会議」</u></p> <p>○主なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興交付金事業の精算に向けた資料等の整備について ・災害公営住宅の整備に係る会計検査院の調査について ・災害公営住宅の管理について ・福祉と連携を図った災害公営住宅の整備の推進について など <p><u>第2回「復興住宅と福祉のまちづくり研修会」開催</u></p> <p><u>亶理町と「下茨田地区（仮称）・上浜街道地区（仮称）」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結</u></p>
<p>2月</p>	<p>1日</p> <p>6日</p> <p>14日</p> <p>19日</p> <p>20日</p>	<p><u>松島町と「磯崎華園地区・磯崎美咲の丘地区」災害公営住宅整備に係る業務執行の協定を締結</u></p> <p><u>第4回「みやぎ復興住宅整備推進会議」</u></p> <p>○主なテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス付き高齢者向け住宅について ・住宅相談会等の実施状況について など <p><u>南三陸町災害公営住宅整備事業着工式の開催</u></p> <p>(計画概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸数：84戸（入谷桜沢：51戸、歌津名足：33戸） ・階数：2階建て又は3階建て ・構造等：木造又は鉄筋コンクリート造、戸建て又は共同住宅 <p><u>岩沼市「玉浦西地区災害公営住宅整備」に関する公募型簡易プロポーザル選定委員会を開催</u></p> <p><u>三県住宅復興連絡会議（開催地：福島市）</u></p> <p>それぞれ抱える課題等について議論した。</p> <p>(議題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅再建の促進策について ・自力再建への支援について ・国土交通省住宅局直轄調査について など



▲南三陸災害公営住宅整備事業着工式



▲プロポーザル選定委員会

3月 12日 東松島市「鳴瀬給食センター跡地地区」災害公営住宅の工事に着手

(計画概要)

戸数：21戸

階数：5階建て

構造等：鉄筋コンクリート、共同住宅



▲鳴瀬給食センター跡地地区イメージパース

20日 亘理町「荒浜地区」災害公営住宅の工事に着手

(計画概要)

戸数：100戸

階数：5階建て

構造等：鉄筋コンクリート、共同住宅



▲荒浜地区イメージパース

15. 営繕課・設備課

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	23日	白石高災害復旧工事、女川高災害復旧工事、水産高災害復旧工事、船岡支援学校災害復旧工事、大河原商業高災害復旧工事等を発注した。
5月	18日	<p><u>県民会館災害復旧工事 完了（設備工事は6月8日完了）</u></p> <p>工事場所 仙台市青葉区国分町三丁目3-7</p> <p>工事期間 H23年10月13日～H24年6月8日</p> <p>工事概要</p> <p>○県民会館災害復旧工事一式（SRC造6階建て 延べ面積 12,470㎡）</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築工事・・・内外装改修、煙突改修、耐震壁増設工事 電気工事・・・動力盤改修、舞台音響設備改修、照明器具・避雷導線撤去・再取付 機械工事・・・スプリンクラー改修、冷却塔改修、換気扇改修
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>客席ホール足場架設</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>西側外部足場設置</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>耐力壁工事中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>耐力壁完成</p> </div> </div>
6月	16日	東京エレクトロンホール宮城（県民会館）にて、「復興祈念コンサート」が開催された。

工事場所 仙台市宮城野区港三丁目1-7

工事期間 H23年12月22日～H24年6月29日

工事概要

○展示棟災害復旧工事一式（RC造一部SRC造2階建て 延べ面積 13,993.14㎡）

建築工事・・・外装改修（外壁クラック補修、カーテンウォール、1階建具の撤去・新設他）、内装改修

電気工事・・・幹線ケーブル、分電盤、照明器具、ITVカメラ等の撤去・新設

機械工事・・・空調機・衛生器具・ポンプ類・屋内消火栓箱等の撤去・新設



工事着工前



完成

○会議棟災害復旧工事一式（RC造一部S造2階建て 延べ面積 3,411.64㎡）

建築工事・・・内外装改修（外壁クラック補修、カーテンウォール、建具、間仕切壁の撤去・新設他）

電気工事・・・防災総合盤、電灯動力盤、弱電機器等の撤去・新設

機械工事・・・配管、ダクト、衛生器具、厨房機器、自動制御設備被災機器等の撤去・新設



工事着工前



完成

○エネルギー棟災害復旧工事一式（RC造一部S造平屋建て 延べ面積 1,447.40㎡）

建築工事・・・内外装改修（外壁クラック補修、建具の撤去・新設他）

電気工事・・・幹線ケーブル、分電盤、照明器具等の撤去・新設、電気室受変電設備の撤去・新設

機械工事・・・冷凍機、受水槽、配管等の撤去・新設、オイルタンク撤去・新設



オイルタンク着工前



オイルタンク完成

7月 13日

宮城スタジアム屋根応急改修・災害復旧工事 完了

工事場所 宮城郡利府町菅谷字館40-1

工事期間 H23年7月13日～H24年7月13日

工事概要

○屋根応急改修工事一式（SRC造一部RC・S造 6階建て 延べ面積 57,564.60㎡）

メインスタンド屋根に支保工設置、屋根の鉄骨トラスT型梁の補修（26か所）

仮設柱の施工状況



仮設柱中間部組立

仮設柱の施工状況



仮設柱設置完了

屋根T型梁の補強状況



屋根T型梁の補強部材取付（水平部分）

屋根T型梁の補強施工状況



屋根T型梁の補強部材取付完了

7月	13日	<p>○宮城スタジアム災害復旧工事一式</p> <p>建築工事・・・内壁及び外壁クラック・欠損部改修等</p> <p>設備工事・・・電灯設備、受変電設備、通信・情報設備等の撤去・新設、機械工事一式</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="311 255 871 674"> <p style="text-align: center;">宮城スタジアムの復旧状況</p>  <p style="text-align: center;">壁クラックの補修</p> </div> <div data-bbox="900 255 1460 674"> <p style="text-align: center;">宮城スタジアムの復旧状況</p>  <p style="text-align: center;">復旧</p> </div> </div>
	20日	<p>みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）の再開後の初イベントとして、「とうほく自動車フェスタ」が開催された。（7月29日まで）</p>
8月	19日	<p>FIFA U-20 女子ワールドカップジャパン 2012 が、宮城スタジアムで開催され、日本はメキシコに4-1で勝利を収めた。</p>
	30日	<p>宮城スタジアム及びみやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）にて、古川工業高等学校建築科の生徒（1～3年生120名）を対象として災害復旧工事現場の見学会を実施した。</p>
9月	18日	<p><u>気仙沼地域仮設1号職員寮新築工事 完了</u></p> <p>工事場所 気仙沼市東新城三丁目9</p> <p>工事期間 H24年6月1日～H24年9月18日</p> <p>工事概要 仮設職員寮新築工事一式</p> <p>鉄骨造2階建て 52戸 延べ面積 1,235.52㎡、外構工事一式、電気・機械設備工事一式</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="466 1435 828 1709">  <p style="text-align: center;">気仙沼職員寮（南東面）</p> </div> <div data-bbox="975 1435 1342 1709">  <p style="text-align: center;">石巻職員寮A棟外部（工事中）</p> </div> </div> <p>18日 <u>石巻地域仮設職員寮新築工事 完了</u></p> <p>工事場所 石巻市清水町二丁目37-2ほか</p> <p>工事期間 H24年6月1日～H24年9月18日</p> <p>工事概要 仮設職員寮新築工事一式</p> <p>鉄骨造2階建て A棟28戸 B棟12戸 計40戸</p> <p>延べ面積 A棟574.56㎡ B棟246.24㎡、外構工事一式、電気・機械設備工事一式</p>

10月 31日

塩釜警察署災害復旧工事 完了

工事場所 塩竈市北浜四丁目6-4

工事期間 H24年3月27日～H24年10月31日

工事概要

○庁舎改修工事一式（RC造 地上4階・地下1階建て 延べ面積 3,717.25 m²）

建築工事：内装・建具改修，外壁・内部・ピット内清掃

設備工事：電灯コンセント設備，通信・情報設備，衛生設備，空調設備などの改修

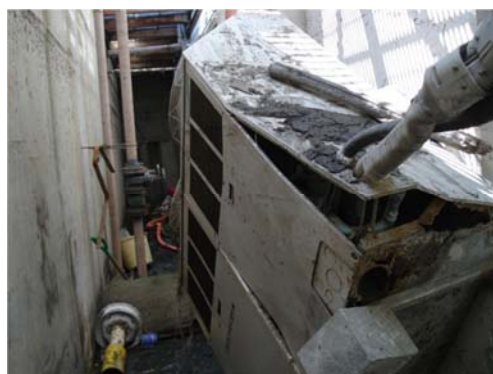
○倉庫棟新築一式（S造 2階建て 延べ面積 161.74 m²）

○機械室棟新築一式（S造 2階建て 延べ面積 183.82 m²）

庁舎の地下1階に設置されていた『受変電設備』『非常用発電設備』『空調熱源設備』などの主要設備が津波によりすべて浸水した。このため，自転車置場（本工事で解体）跡地に新築した機械室棟の2階に主要電気設備を設置したり，空調方式や給水方式を変更したりするなどして，今後の災害発生時にも庁舎機能を維持できるように配慮した。



地下1階で冠水した非常用発電機



津波被害にあった空調機



機械室棟（新築）







機械室棟2階に搬入する受変電設備



機械室棟2階に搬入する非常用発電機



新設した受水槽

11月	19日	<p><u>名取高校舎改築設計業務委託 発注 (履行期間 平成 26 年 9 月 30 日まで)</u></p> <p>業務場所 岩沼市字朝日 5 0 ほか</p> <p>業務概要 1 新築設計一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎棟 RC 造又は S 造 3 階建て 延べ面積 7,964 m² ・付属棟 (渡り廊下、自転車置場等) <p>2 校舎等解体設計・外構設計一式</p> <p><u>気仙沼警察署庁舎新築設計業務委託 発注 (履行期間 平成 26 年 3 月 14 日まで)</u></p> <p>業務場所 気仙沼市赤岩杉ノ沢 4 7 - 6 ほか</p> <p>業務概要 新築設計・外構設計一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎棟 RC 造 4 階建て 延べ面積 4,446 m² ・付属棟 (車庫・倉庫等) S 造 1~2 階建て 延べ面積計 854 m² 																
2月	28日	<p><u>気仙沼向洋高仮設実習棟新築工事 完了</u></p> <p>工事場所 気仙沼市九条 2 1 3 - 3 (気仙沼高第二グラウンド内)</p> <p>工事期間 平成 24 年 8 月 29 日~平成 25 年 2 月 28 日</p> <p>工事概要</p> <table border="0"> <tr> <td>総合実習棟</td> <td>S 造</td> <td>2 階建て</td> <td>延面積 1,376.32 m²</td> </tr> <tr> <td>機械実習棟</td> <td>S 造</td> <td>平屋建て</td> <td>延面積 719.38 m²</td> </tr> <tr> <td>製造実習棟</td> <td>S 造</td> <td>平屋建て</td> <td>延面積 469.61 m²</td> </tr> <tr> <td>集会所体育館</td> <td>S 造</td> <td>平屋建て</td> <td>延面積 249.48 m²</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>仮設実習棟全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>製造実習棟／包装室</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>総合実習棟・機械実習棟・体育館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>製造実習棟／処理室</p> </div> </div>	総合実習棟	S 造	2 階建て	延面積 1,376.32 m ²	機械実習棟	S 造	平屋建て	延面積 719.38 m ²	製造実習棟	S 造	平屋建て	延面積 469.61 m ²	集会所体育館	S 造	平屋建て	延面積 249.48 m ²
総合実習棟	S 造	2 階建て	延面積 1,376.32 m ²															
機械実習棟	S 造	平屋建て	延面積 719.38 m ²															
製造実習棟	S 造	平屋建て	延面積 469.61 m ²															
集会所体育館	S 造	平屋建て	延面積 249.48 m ²															

16. 大河原土木事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）	
4月	5日	<p><u>所内全体会議 実施</u></p> <p>第1回所内全体会議にて、災害対策警戒配備計画、大規模災害発生時における非常配備、土木部BCPなどについて説明を行った。</p>	
	9日	<p><u>職員安否確認訓練 実施</u></p> <p>大規模災害発生時に備え、安否確認システムを使用した訓練を実施した。</p>	
	17日	<p><u>第1回 危機管理計画担当者会議（防災砂防課）開催</u></p>	
	21日	<p><u>東北地方太平洋沖地震災害復旧状況写真 展示</u></p> <p>おおがわら桜まつりの期間中、白石川スマイルサポーターとのコラボレーションイベントの会場（大河原町葦神塚広場）にて、災害復旧状況等の写真パネルを展示した。</p>	 <p>災害復旧工事写真パネル展示状況</p>
	27日	<p><u>蔵王エコーライン（主）白石上山線 開通</u></p> <p>東日本大震災により、全面通行止めとなったが、応急工事、本復旧工事を早期に完了させていたため、冬期閉鎖解除は、例年どおり行われることができた。今年は、エコーライン開通50周年となる記念すべき年でもあった。併せて、蔵王連峰夏山開きも行われた。</p>	 <p>開通式テープカットの状況</p>
5月	20日	<p><u>蔵王エコーラインヒルクライムエコ2012 開催</u></p> <p>東日本大震災の影響で2年ぶりの開催となったが、全国から1,200人を超す出場者となり、大会新記録が達成された。東北地方太平洋沖地震により、一時全面通行止めや路面にクラックが多数発生したが、きれいに修復された路面を快適に走行していた。</p>	 <p>残雪の中を走行する選手たち</p>
	31日	<p><u>(国)113号 丸森町館矢間バイパス 開通</u></p> <p>東日本大震災の影響で労務、資材の調達が困難になり、供用開始時期が遅れたものの、遅延を最小限にとどめ、事業着手から17年の歳月を費やし、盛大な式典の下に開通した。</p>	  <p>来賓によるテープカット</p>

6月	12日	<p><u>平成24年度 6.12 総合防災訓練 土木部防災訓練 実施</u></p> <p>東日本大震災と同レベルの地震及び津波を想定し、発災時における初動対応を確認するための訓練をロールプレイング方式で実施した。</p> <p>併せて、大河原地方支部防災訓練を実施し、安否確認報告、市町への職員派遣のための管内道路被災状況等の情報提供を行った。</p>	 <p>防災訓練の実施状況</p>
	14日	<p><u>平成24年度危険ブロック塀等の改善指導 実施</u></p> <p>地震発生時に倒壊・破損し、通学時の児童に被害を及ぼす恐れがある危険なブロック塀等の解消のため、市町と連携して改善指導を実施した。(6月14日～27日)</p>	 <p>危険ブロック塀の例 (高い・ひび割れ)</p>
	19日	<p><u>6月19日～20日にかけての梅雨前線及び台風4号に伴う洪水により、一級河川阿武隈川水系新川(村田町)において甚大な被害が発生した。</u></p> <p>災害関連事業による河道掘削、護岸施設等の河道整備を検討するとともに、村田町管理の田辺川についても地域関連事業として整備を検討することとした。</p>	 <p>新川の堤防決壊(右岸)状況</p>
7月	5日	<p><u>大河原合同庁舎消防訓練 実施</u></p> <p>大河原合同庁舎にて全職員を対象とした避難・誘導訓練及び消火訓練を実施した。</p>	
	11日	<p><u>平成24年度 第1次災害査定(雨災) 実施</u></p> <p>7月11日から13日の間、県4件、管内市町2件の災害査定を受検した。</p>	
	30日	<p><u>平成24年度 第3次災害査定(凍上災) 実施</u></p> <p>7月30日から8月3日の間、県9件、管内市町30件の災害査定を受検した。</p>	
8月	2日	<p><u>第1回「道の駅」防災拠点化事業に係る打合せ会(道路課)</u></p> <p>東日本大震災時に「道の駅」の施設がどのように機能したかを検証し、災害時の防災拠点施設としての機能強化に向けた打合せ会を実施した。</p>	
	20日	<p><u>平成24年度インターンシップ実習生 受け入れ</u></p> <p>実習生3名を受け入れ、5日間(20日～24日)にわたり、土木事務所の事務、道路、河川等の事業について、所内及び現場実習等を実施した。また、亘理町、山元町の沿岸被災箇所を視察し、実習生には、東日本大震災からの復旧・復興のため、宮城県では多くの技術職員を必要としていることなども伝えた。</p>	 <p>現場での実習状況</p>

	<p>27日</p> <p>28日</p>	<p><u>平成24年度 第5次災害査定（凍上災・雨災）実施</u> 8月27日から8月31日の間、新川災害関連を含む、県12件、管内市町37件の災害査定を受検した。</p> <p><u>H24 災 新川河川等災害関連事業 採択</u> 6月19日～20日にかけての梅雨前線及び台風4号に伴う洪水により、甚大な被害が発生した阿武隈川水系新川において災害関連事業が採択され、堤防を強化するとともに、流下能力を向上する河道整備が図られ、村田町管理の田辺川についても、地域関連事業として一体的に整備を行うこととなった。</p>
<p>9月</p>	<p>7日</p> <p>14日</p> <p>21日</p> <p>25日</p>	<p><u>第2回「道の駅」防災拠点化事業に係る打合せ会（道路課）</u> 「道の駅」の防災拠点化事業に向けた、具体的な補助メニューや採択基準等について、東北地方整備局、仙台河川国道事務所の建設専門官等を招き、打合せ会を実施した。</p> <p><u>平成24年度第1回職場研修 実施</u> ①今年度の査定（凍上災、雨災）の実施状況及びその結果、②新川災害関連復旧事業の概要、③橋梁耐震化・長寿命化工事の実務についてをテーマに、各担当職員が講師を務め、その後、職員によるディスカッションを行った。</p> <p><u>平成24年度第2回職場研修（現場研修） 実施</u> 東日本大震災以来、市町支援として関わってきた亘理町と山元町の現在の復旧・復興状況を把握・調査することを目的に現場研修を実施した。①震災廃棄物処理施設（亘理処理区）、②仙台湾南部海岸山元海岸（笠野工区）、③（主）相馬亘理線、④磯浜漁港、⑤JR常磐線坂元駅を視察した。 （28日には2班目の視察を実施した。）</p> <p><u>（一）名取村田線災害復旧工事 完成</u> 東日本大震災後、通行制限していた（一）名取村田線（村田町長谷小屋地内）の災害復旧工事が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="397 1462 857 1805">  <p>被災状況</p> </div> <div data-bbox="995 1462 1455 1805">  <p>復旧完了</p> </div> </div>
<p>10月</p>	<p>25日</p>	<p><u>復旧・復興事業に関する意見交換会 開催</u> 管内の市町及び建設業者を招き、①入札・契約制度の改正、②建設資材の需給状況、③設計・積算関係の改正概要などについて説明を行い、管内建設業の現状と課題等について、意見交換を行った。意見交換会では、人材・建設資材の不足、市場価格との乖離など様々な問題がクローズアップされた。</p>



震災廃棄物処理施設（亘理処理区）

11月

2日

(主) 南蔵王七ヶ宿線災害復旧工事 完成

東日本大震災後、長期間にわたり全面通行止めとなっていた主要地方道南蔵王七ヶ宿線（七ヶ宿町横川字柏木山地内）の災害復旧工事が完了した。この復旧完了により、東日本大震災による全面通行止め 18 箇所すべてが解消された。



被災状況



復旧完了

2日

第3回「道の駅」防災拠点化に係る打合せ（道路課）

県内各「道の駅」の現状、課題等を踏まえ、防災拠点化への整備方針など具体的な整備メニューなどの確認がなされた。また、栗原市の災害情報緊急通信システムが紹介された。

8日

情報システムに係る業務継続計画（i-BCP）机上訓練 実施

各情報システム管理者が策定した情報システムに係る業務継続計画（i-BCP）に沿って、非常時における対応等を訓練することにより、情報システムの業務継続力の向上を図ることを目的に実施された。

9日

一人一人が宮城のセールスマンPT（復旧・復興版） 成果報告

土木部職員一人一人が宮城のセールスマンとしての気概を持って社会基盤整備に取り組むとともに、全国に向かって復興に向けた歩みを情報発信していく必要があり、平成 22 年度に立ち上げたセールスマンプロジェクトチームが再結成され、PT 構成員として参画し、取りまとめ報告した。



15日

土木部防災訓練担当養成講座 開催

大規模地震などの自然災害に備えて、正しい防災知識を持ち、職場における訓練の計画立案など、防災リーダーとなる職員の育成を目的に開催された。今年度は、災害時を効率的に模擬体験する防災演習をテーマに、企画立案、訓練実施、評価改善が適切に実施できる人材を育成することを目的として実施された。（～16日）



ロールプレイング方式による防災演習

12月

3日


緊急地震速報対応訓練 実施

緊急地震速報を受信した際は、身を守り、落ち着いた行動が取れるよう訓練を実施した。

4日

道路トンネル緊急点検 実施

管内 16 トンネルについて、職員による緊急点検（打音検査、目視検査）を実施した。（～6日）特に問題となる箇所はなかったが、今後、リフト車を使用し、照明器具等の付属物も含めた詳細点検を実施することとした。

	4日	<p><u>第2回 危機管理計画担当者会議（防災砂防課）開催</u></p> <p>①土木部業務継続計画（BCP）の改訂に向けたスケジュール等について、②各地域版BCPの作成について</p>	
	25日	<p><u>市道等における東日本大震災復旧・復興に伴う特定車両通行による道路破損等に関する打合せ会（第1回）</u></p> <p>角田市道等において、東日本大震災復旧復興事業のための大型車両の通行による道路損傷が激しいことから、その修繕方策等について検討を行うため、関係者による打合せ会に参加した。</p>	
1月	8日	<p><u>東日本大震災土木部職員意見交換会 開催（土木部次長、土木総務課、事業管理課）</u></p> <p>東日本大震災からの復旧・復興に向けて、土木部一体となって取り組んでいるところであるが、今後の膨大な復旧・復興事業の円滑な執行に向けた事務改善を積極的に図っていくため、部内各地方機関の技術職員を対象に意見交換会を実施した。</p>	
	16日	<p><u>職員安否確認訓練 実施</u></p> <p>大規模災害発生時に備え、「NTT 災害伝言ダイヤル」を利用した安否情報登録訓練を実施した。</p>	
	17日	<p><u>道路トンネル詳細点検 実施</u></p> <p>管内16トンネルの本体及び照明器具等の付属物について、リフト車を使用した詳細点検（打音検査、触診検査）を実施した。点検の結果、応急対策が必要となる変状はなかった。</p>	
	17日	<p><u>第4回「道の駅」防災拠点化に係る打合せ（道路課）</u></p> <p>防災拠点化事業の整備方針について、背景や先進事例などにより説明され、求められる防災機能、各「道の駅」間の連携による防災機能向上のイメージが示された。</p>	
	18日	<p><u>緊急時の通信手段としてのPHS「イエデンワ」 配備</u></p> <p>東日本大震災の検証において、通信手段の確保が課題となったことから、災害発生時における被災状況報告及び応急対策指示等に必要通信手段の充実を図ることを目的としてPHSが2台配備された。</p>	
	21日	<p><u>大規模地震発生時における大河原地域業務継続計画（BCP）改訂</u></p> <p>東日本大震災後の検証において、改訂された土木部業務継続計画に沿って、大河原地域版（BCP）を改訂した。</p>	
	31日	<p><u>「住宅・社会資本再生 東北復興フォーラム in 宮城」への参加</u></p> <p>東日本大震災における対応や教訓、復興に向けた取り組みなど、今後の災害対応や復興に役立てていくことを目的に開催されたもの。</p>	
2月	21日	<p><u>第5回「道の駅」防災拠点化に係る打合せ（道路課）</u></p> <p>防災拠点化の基本的な考え方の整理、とりまとめを行い、各「道の駅」の相互支援について検討を進め、情報系施設整備を実施することとした。</p>	

トンネル詳細点検の実施状況

3月 7日 第3回 危機管理計画担当者会議（防災砂防課）開催
①平成25年度土木部災害対策警戒配備実施要領の改正、②平成25年度配備編成計画、③安否確認システム最新版などについての報告があった。

11日 東日本大震災二周年追悼行事
東日本大震災から二年目の11日、大河原合同庁舎にて追悼行事が執り行われた。多くの人が訪れ、記帳、献花を行い、地震発生の午後2時46分から1分間、黙祷し犠牲者の冥福を祈った。



東日本大震災追悼行事

11日 東日本大震災 復旧・復興パネル展 開催
東日本大震災から二年目となる今年は、「3.11伝承・減災プロジェクト」の一環として、沿岸部の被災状況、復旧・復興状況の写真などのパネル展示を大河原合同庁舎1階正面玄関ホールで行った。



復旧・復興パネルの展示状況

(主) 亘理大河原川崎線災害復旧工事 完成

東日本大震災後、長期間にわたり片側交互通行となっていた主要地方道亘理大河原川崎線（川崎町支倉字鳥屋沢山）の災害復旧工事が完了した。



被災状況



復旧完了

17. 仙台土木事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	2日	<p><u>新規採用・自治法派遣職員配属 実施</u></p> <p>事務所に新規採用職員2名が配属された。また、復興・復旧事業の即戦力として9県、22名の自治法派遣職員が配属された。</p>
	6日	<p><u>三陸沿岸道路 仙塩道路4車線化事業着工式 実施</u></p> <p>三陸縦貫自動車道・仙塩道路（仙台港北IC～利府中IC間、延長7.8キロ）の4車線化工事の着工式が、多賀城市八幡地内において実施され、徳山東北地方整備局長をはじめ、関係者及び来賓の方々から挨拶、祝辞を賜り、その後に、橋梁くい打ち式が行われ、工事の安全、一日も早い完成を祈念した。</p>
	8日	<p><u>J R 仙石線多賀城地区連続立体交差高架切替記念式典 実施</u></p> <p>県で整備を進めていた仙石線多賀城地区連続立体交差事業において、多賀城駅周辺（多賀城市東田中～多賀城市伝上山）の下り線の高架切替が行われ、4月8日の始発より運行をはじめ、当日、多賀城駅前広場において、村井嘉浩知事や菊地健次郎多賀城市長、里見雅行 J R 東日本仙台支社長等が出席して、記念式典が開催された。</p>
		 <p>仙塩道路4車線化事業着工式（杭打ち式）</p>
		 <p>下り線高架切替記念式典</p>
		 <p>J R 仙石線下り線高架切替運行</p>
	23日	<p><u>（一）荒浜港今泉線地元説明会（～28日） 開催</u></p> <p>阿武隈川における堤防嵩上げ等の災害復旧事業との共同施行により復興交付金事業として整備する（一）荒浜港今泉線の道路計画に関する現地測量、調査を実施するための地元説明会を開催した。</p>
		 <p>（一）荒浜港今泉線 事業計画説明会</p>

5月	<p>1日 <u>新任期付き職員配属 実施</u></p> <p>公共土木施設復旧に伴う業務量増加に対応するために採用され、土木部に配属された25名の技術職員のうち7名が仙台土木事務所に配属された。</p> <p>3日 <u>平成24年5月3日～4日にかけての大雨対応</u></p> <p>太平洋沿岸を発達しながら進んだ低気圧の影響で5月3日から4日にかけての降水量が、管内で200ミリを超える大雨となり、この大雨における最大24時間降水量は泉ヶ岳でも247.5ミリを観測する等、宮城県内の広い範囲で5月として観測史上1位の記録を更新した。</p> <p>管内では、道路冠水等により6箇所が交通規制され、南貞山運河でも越水が確認され、名取川、吉田川、七北田川等で「はん濫危険、警戒、注意情報」が、管内12市町村で「土砂災害警戒情報」が発令された。県管理の道路、河川において7箇所の公共土木施設災害が発生した。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="338 611 812 976">  <p>南貞山運河・仙台市宮城野区蒲生地内</p> </div> <div data-bbox="963 611 1489 976">  <p>(主) 仙台三本木線・大和町落合松坂地内</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">越水状況</p> <p style="text-align: center;">道路被災状況</p> <p>24日 <u>山元町復興まちづくりに関する住民説明会 開催</u></p> <p>山元町が開催した復興まちづくり計画の住民説明会において、関連する坂元川及び戸花川河川災害復旧事業計画の概要説明を行った。</p>
6月	<p>7日 <u>七ヶ浜町菖蒲田海岸災害復旧事業着工式 実施</u></p> <p>着工式では、石山敬貴衆議院議員、熊谷大参議院議員、三浦宮城県副知事、渡邊七ヶ浜町長をはじめ、関係者約50人が出席し、被災者への黙祷の後に関係者及び来賓の方々から挨拶、祝辞を賜り、工事の安全と一日も早い完成を祈念し、鍬入れが行われた。</p> <p>震災で被災した海岸堤防の段階的な補強を進め、地域を高潮等から守るとともに、住民へ整備される堤防の高さを示すため、現地に丁張りを設置した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="370 1576 869 1942">  <p>菖蒲田海岸災害復旧着工式(鍬入れ式)</p> </div> <div data-bbox="967 1576 1453 1942">  <p>堤防計画の丁張り設置</p> </div> </div>

12日 (一) 荒浜港今泉線幅杭設置立会（～14日） 実施

阿武隈川における堤防嵩上げ等の災害復旧事業との共同施行により復興交付金事業として整備する(一)荒浜港今泉線の道路計画に係る所有者間の用地境界立会と併せて、事業用地に関する幅杭設置を行い、地権者に事業用地の範囲を提示した。

18日 仙台土木復旧・復興のあゆみ vol.1 発行

仙台土木事務所における復旧・復興状況を、県民をはじめとする全国の方々へ発信するため、「仙台土木復旧・復興のあゆみ」を発行。事務所ホームページへの掲載及び事務所での配布を開始した。



「仙台土木復旧・復興のあゆみ」発刊

20日 平成24年台風4号による大雨対応

台風4号と梅雨前線の影響で、管内山沿いで150ミリを超える大雨となった。仙台においては、1時間に30ミリを超える激しい雨を観測した。管内では、道路冠水等により5箇所が交通規制され、名取川、吉田川等においてもはん濫危険、警戒、注意情報が、管内6市町村で土砂災害警戒情報が発令された。県管理河川18箇所で公共土木施設災害が発生した。

21日 平成24年度「仙台地方管内復旧・復興事業連絡調整会議」開催

東日本太平洋沖地震により被災した仙台管内で県が所管する公共土木施設等の災害復旧及び復興事業等について、情報の共有、事業調整及び協議等により円滑かつ効率的な事業推進と早期復興を図ることを目的として、「平成24年度仙台管内復旧・復興事業等連絡調整会議」を開催した。



連絡調整会議開催状況

7月 9日 平成24年度 第1次災害査定（～13日） 受検

5月3日の大雨により被災した箇所について、仙台土木事務所7件（道路・1件、河川・6件）、市町村11件（大和町・1件、大郷町・4件、富谷町・5件、大衡村・1件）の災害査定を受検した。

10日 災害復旧事業進捗状況及び復興事業箇所の掲示

「見える復旧・復興」として、県民の方々々に現在の道路、河川等の災害復旧の進捗状況や復興交付金事業箇所等を情報提供するために、完了箇所（黒）、工事中箇所（黄）、未着手箇所ごとに色分けし、事務所正面玄関に掲示した。



災害復旧箇所の状況掲示

10日 (都) 築港大通線, (都) 八幡築港線復興交付金事業地元説明会 (26・27日) 開催

都市計画道路築港大通線・八幡築港線(復興交付金事業)に係る事業説明会を関係地区の港町地区, 中の島地区, 舟入地区で開催した。

築港大通線は震災による地盤沈下で浸水対策のため道路嵩上げ整備し, 八幡築港線は4車線化整備を行い, 災害時の緊急輸送路, 避難路や救出路としての防災機能が強化されるとともに, 渋滞が解消し円滑な交通が確保するための事業であることを説明し, 現地測量の立入について了解を得た。



事業説明会開催状況(塩釜市港町地区)



事業説明会開催状況(塩釜市中の島地区)

17日 平成24年度 第2次災害査定(～20日) 受検

5月3日の大雨により被災した箇所について, 市町村11件(大和町・4件, 富谷町・3件, 大衡村・4件)の災害査定を受検した。

26日 (一) 荒浜港今泉線事業説明会(～27日) 開催

復興交付金事業として市街地間を連絡し, 避難道路として整備を進める(一)荒浜港今泉線に係る事業概要及び現地測量に伴う私有地への立ち入りに関する説明会を蕨地区, 荒浜一丁目地区において開催した。



事業説明会開催状況(亶理町蕨地区)



事業説明会開催状況(亶理町荒浜一丁目地区)

27日 沿岸3土木事務所復旧・復興事業等連絡調整会議 開催

東北地方太平洋沖地震による地震, 津波被災を受けた沿岸地区を所管する3土木事務所(仙台土木事務所・東部土木事務所・気仙沼土木事務所)で進めている地域の復旧・復興の現状や事業推進に向けて抱えている課題等について, 情報共有を図り, 今後の対応等について意見交換を行った。

兵庫県県土整備部現地調査 実施

兵庫県県土整備部長外2名が災害復旧・復興の進捗状況等を現地調査に来県し, 事務所管内の被災・復旧状況等を説明し, 太陽ニュータウン道路災害復旧工事, 中貞山運河, 南貞山運河等の河川災害復旧事業並びに関上地区土地区画整理事業予定地において, 事業概要を説明した。

	<p>30日</p>	<p><u>蒲生北部地区再整備説明会（～8月2日） 開催</u></p> <p>仙台市が再整備を進めている蒲生北部地区の土地 区画整理事業に関する説明会に併せ、当該地区に隣接 する七北田川についても、震災をうけて災害復旧事業 による再整備に関する事業概要や用地測量の実施等 について説明した。</p>	 <p>事業説明会開催状況（仙台市宮城野区蒲生）</p>
	<p>31日</p>	<p><u>自治法派遣職員離任</u></p> <p>4月1日から配属されていた愛媛県の派遣職員が任期（4ヶ月）を終え、離任した。</p>	
<p>8月</p>	<p>1日</p> <p>5日</p>	<p><u>自治法派遣職員配属</u></p> <p>7月31日に離任した愛媛県の派遣職員と交代で3名の派遣職員が配属された。</p> <p><u>岩沼市玉浦西地区防災集団移転事業起工式 実施</u></p> <p>岩沼市は、全国第1号となる集団移転先地（玉浦西地区）造成工事の起工式が実施された。 また、岩沼市の防災集団移転促進事業に併せ幅員狭隘区間の拡幅工事を実施する（一）岩沼海浜 緑地線の整備と造成地の関係がわかるよう現地に丁張りを設置した。</p>	 <p>防災集団移転促進事業起工式典(鍬入れ式)</p>  <p>(一) 岩沼海浜緑地線・道路計画の丁張り設置</p>
	<p>11日</p>	<p><u>仙台港多賀城地区緩衝緑地災害復旧事業説明会 開催</u></p> <p>災害復旧を進めている仙台港多賀城地区緩衝緑地の 整備概要及びスケジュール等について、近隣住民等 に対して説明を行った。また、隣接する砂押川の災害復 旧の事業計画について併せて説明を行った。</p>	 <p>事業説明会開催状況（多賀城市大代地区）</p>
	<p>21日</p>	<p><u>七北田川(蒲生南部地区)事業概要説明 開催</u></p> <p>高砂南部排水機場移設による新排水機場建設及び新設導水路に係る地権者を対象とした地 元説明会に併せて、七北田川右岸の復旧計画について関係者に説明を行った。</p>	
	<p>22日</p>	<p><u>車橋橋梁架替工事用地説明会 開催</u></p> <p>通常事業として進めてきた（主）塩釜吉岡線車橋架替工事において必要とされる用地面積及び単 価に関して地権者への説明会を開催した。</p>	

23日 静岡県治水砂防協会現地調査 実施

東日本大震災における宮城県の土砂災害関係事業の調査・視察に訪れた上記協会に対して、管内の実施箇所の概要等を説明し、緑ヶ丘地すべり災害復旧工事箇所の現地調査を実施した。



緑ヶ丘地すべり災害復旧工事現場視察

27日 岐阜県議会土木委員会県外視察 実施

東日本大震災被災地の現地調査のため来県し、災害廃棄物処理施設（名取処理区）を視察後、名取市閑上地区の被災状況、復興計画概要、中貞山運河の復旧計画概要について、名取市が設置した宅地嵩上等現地確認場において説明した。



現地説明状況



名取市閑上地区・宅地嵩上等現地確認場

平成24年度 第5次災害査定（～8月31日） 受検

6月20日の台風4号の影響により被災した箇所について、仙台土木事務所18件（河川）、市町村13件（塩竈市・5件、利府町・1件、大郷町・3件、大衡村・4件）の災害査定を受検した。



災害査定状況



災害査定状況

28日 (一) 大衡仙台線・宮床道路改良事業説明会 開催

(一) 大衡仙台線小野工区に引き続き、宮床工区に事業着手するため、地権者等に対して事業説明を行い、測量の立入に関する説明会を開催した。



(一) 大衡仙台線・宮床工区事業説明会

9月

3日

自治法派遣職員の継続派遣要請 実施

公共土木施設の復旧・復興に当たって、28 都道府県から 109 名(平成 24 年 4 月 1 日現在)の自治法派遣職員に応援をいただいているが、今後復旧・復興事業が本格的に用地買収・工事着手を迎え、マンパワーの確保が喫緊の課題となっていることから、県では次年度以降においても職員の継続派遣要請を行った。仙台土木事務所では 9 月 3 日から 5 日にかけて、鳥取県、兵庫県、奈良県、沖縄県に直接訪問し職員の継続派遣を要請すると共に、これまでの県の取り組み状況や課題、津波避難のための施設整備指針等について報告、意見交換を行った。



9/4 兵庫県での報告状況

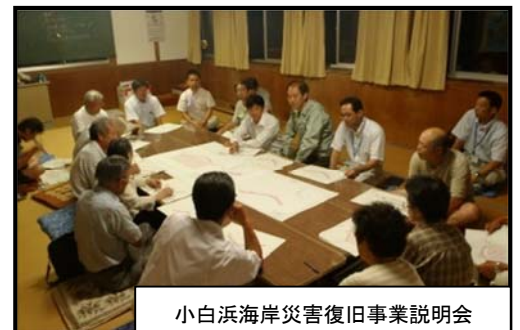
高城川河川災害復旧事業説明会 開催

東日本大震災における高城川河川災害復旧工事計画の概要について、関係住民等に対して説明会を開催した。

4日

小白浜地区海岸災害復旧事業説明会 開催

東日本大震災において被災を受けた松島町内の小白浜地区海岸の災害復旧計画概要について、関係住民に対して説明会を開催した。



小白浜海岸災害復旧事業説明会

8日

(都) 駅前南通線 ((一) 岩沼停車場線) 都市計画決定説明会 開催

岩沼市で整備を進めている JR 岩沼駅前広場へのアクセス道路として、駅利用者及び歩行者等の安全な通行を確保するために計画している都市計画道路・駅前南通線(一般県道・岩沼停車場線)の都市計画決定に関する地元説明会を開催した。今後、都市計画決定の手続きを踏まえて道路整備を実施する。



(都) 駅前南通線・都市計画説明会

12日

(一) 荒浜港今泉線・荒浜一・三丁目地区測量結果及び用地説明会(12・19・20日) 開催

国土交通省が実施する阿武隈川災害復旧工事と併せて、復興交付金事業として復旧・改築を進めている一般県道・荒浜港今泉線の用地測量の結果と土地価格に関する説明会を開催した。関係機関等と調整し、12月3日から用地交渉等を進めた。



(一) 荒浜港今泉線・説明会

13日 坂元川・戸花川河川災害復旧事業説明会 開催

山元町内を流れる坂元川・戸花川河川災害復旧事業について、現在の状況、復旧工法に関する概要説明を行い、今後の用地買収に向けたスケジュール説明に加えて、用地測量、境界杭設置等における現地立入を説明し、了解を得た。



坂元川・戸花川 事業説明会

18日 南貞山運河・増田川河川災害復旧事業説明会 (9/18・21・24日) 開催

南貞山運河及び増田川河川災害復旧事業について、飯塚・北釜(18日)、小塚原・下増田(21日)、下野郷(24日)の3地区に分け、堤防の嵩上げ、拡幅及び堤防構造等の事業概要、今後のスケジュール等について説明を行い、併せて用地測量、境界杭設置等における現地立入について説明を行い、了解を得た。



9/21 南貞山運河 事業説明会

26日 市名坂小学校出前講座 実施

仙台市立市名坂小学校の5年生の総合学習の一環として、学校の近隣を流れる七北田川に興味・関心を持ってもらうため、学校の要請に応じて出前講座を開催した。出前講座では、川の仕組みや七北田川の歴史を学習、現地での水質調査等を行い、川と親しんでもらった。



河川水質検査(七北田川)



出前講座状況(小学校ホール)

27日 朴島・野々島海岸災害復旧事業説明会 開催

朴島、野々島における事務所所管の海岸災害復旧事業について、各島の地元住民に対して、堤防復旧高や構造、工事のスケジュール等を説明し、併せて用地測量等における現地立入について説明を行い、了解を得た。



事業説明会(朴島)

28日 自治法派遣職員離任

4月1日から配属されていた兵庫県の派遣職員(4名)が任期(6ヶ月)を終え、離任した。

10月

1日

自治法派遣職員配属

9月31日に離任した兵庫県の派遣職員と交代で4名に加えて、群馬県(2名)、愛知県(2名)、北海道、香川県、福岡県、大分県、鹿児島県(各1名)から9名の派遣職員が配属された。

2日

砂押川外2河川復興事業計画説明会(2・3・4日)開催

砂押川・旧砂押川・砂押貞山運河河川災害復旧・復興事業について、大代北・中・西地区(2日)、大代東・南地区(3日)、用地買収予定者等(4日)の3地区に分け、被災概要、堤防の嵩上げ等の復旧事業計画概要、今後のスケジュール等に加え、用地測量等における現地立入りについて説明を行い、事業計画及び土地への立入りについて、了解を得た。



10/2 砂押川事業説明会



10/3 砂押川事業説明会

5日

沿岸3土木事務所復旧・復興事業等連絡調整会議開催

東北地方太平洋沖地震による地震、津波被災を受けた沿岸地区を所管する3土木事務所(仙台土木事務所・東部土木事務所・気仙沼土木事務所)の復旧・復興状況や事業推進に向けた人材確保や執行体制等に関する課題についての情報共有を図り、今後の対応等について意見交換を行った。

17日

山口県議会・県外調査視察実施

山口県議会土木建築委員会(12名)が、東日本大震災被災地の調査視察のため来県し、七北田川災害復旧事業概要及び現在の状況等を現地で説明した。

19日

三重県議会・県外調査実施

三重県議会防災県土整備企画常任委員会(10名)が、東日本大震災を踏まえた公共土木施設の減災対策及び災害復旧・復興の進捗状況等の現地調査に来県し、事務所管内の災害復旧・復興の現状等について説明した。また、七北田川災害復旧事業概要について現地で説明した。

五間堀川河川災害復旧事業計画説明会(19・22・24日)開催

五間堀川河川災害復旧事業について、寺島(19日)、早股・押分(22日)、下野郷(24日)の3地区に分け、堤防の嵩上げ、地震による沈下戻し等の工事概要、今後のスケジュール等について説明を行い、用地測量、境界杭設置等における現地立入りに関して説明を行い、了解を得た。



9/22 五間堀川 事業説明会



9/24 五間堀川 事業説明会

23日 長野県議会復興工事現場視察 実施

長野県議会危機管理建設委員会（14名）が、東日本大震災被災地の調査視察のため来県し、復興事業を実施している岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業現場を視察、併せて関連する（一）岩沼海浜緑地線・押分工区の事業概要等を現地で説明した。

24日 （一）名取村田線・高館川上道路改良事業説明会 開催

一般県道・名取村田線の道路改良事業における道路計画が策定されてことを受け、計画概要及び整備スケジュールについて説明を行い、計画に対して了承を得た。併せて、用地測量に向けた敷地の立入り及び用地買収の区域を示す幅杭の設置についても了解を得た。



25日 （主）大和松島線・西川橋橋梁災害復旧工事説明会 開催

被災を受けた主要地方道・大和松島線の西川に架かる西川橋の災害復旧（架け換え）に伴う道路設計の概要及び今後の整備スケジュールについて、関係住民に計画説明を行い、了解を得た。



山梨県建設技術協会・現地調査 実施

山梨県建設技術協会（約30名）が、会員の技術向上の取り組みの一環として、東日本大震災からの復旧・復興状況等の現地調査のため来県し、名取市閑上地区の宅地嵩上等現地確認場及び仙台市太白区緑ヶ丘地すべり災害復旧工事の現地調査を行った。

31日 （都）築港大通線・（都）八幡築港線道路計画説明会 開催

塩竈市港町地区において実施する都市計画道路築港大通線・八幡築港線（復興交付金事業）の道路計画、用地測量・用地買収・工事着手に関するスケジュールについて、関係住民に対して説明を行い、計画・用地測量及び境界立会について了解を得た。



南貞山運河・増田川河川災害復旧事業説明会（飯塚地区） 開催

名取市飯塚地区の南貞山運河及び増田川河川災害復旧事業に関わる地権者の要請から再度事業概要、今後のスケジュール等を説明し、用地測量、境界杭設置等における現地立入りの了解を得た。復元する各境界について地権者各自による確認を依頼した。

自治法派遣職員離任

8月1日から配属されていた愛媛県の派遣職員（3名）が任期（4ヶ月）を終え、離任した。

11月	1日	<p><u>自治法派遣職員配属</u></p> <p>10月31日に離任した愛媛県の派遣職員と交代で3名の派遣職員が配属された。</p> <p><u>南貞山運河・増田川河川災害復旧事業説明会（小塚原地区）開催</u></p> <p>名取市小塚原地区の南貞山運河及び増田川河川災害復旧事業に関わる地権者の要請から再度事業概要、今後のスケジュール等を説明し、用地測量、境界杭設置等における現地立入りの了解を得た。復元する各境界について地権者各自による確認を依頼した。</p>	
	5日	<p><u>愛知県副知事復旧状況現地調査 実施</u></p> <p>片桐・愛知県副知事が災被災地の現地調査のため来県し、派遣職員が担当する砂押川、旧砂押川等の災害復旧事業概要及び七北田川河口部の被災状況等について、現地において説明した。</p> <p><u>（一）岩沼海浜緑地線・押分工区復興事業用地説明会 開催</u></p> <p>岩沼市で施行している玉浦西地区防災集団移転促進事業と関連する一般県道・岩沼海浜緑地線（押分工区）の事業概要に加え、整備に必要となる用地面積及び単価を関係地権者に提示し、事業着手に向けて概ねの了解を得た。</p>	
	7日	<p><u>黒川高等学校現場見学会 実施</u></p> <p>黒川高等学校環境技術科において教育活動の一環として、土木技術に関する興味関心を深めるとともに、将来の建設産業を担う人材に必要な知識を習得することを目的とし、毎年現場見学会を実施しており、山元町太陽ニュータウン道路災害復旧工事、仙台市太白区緑ヶ丘地すべり災害復旧工事の現場見学を要請され、42名の生徒等に対して、現地で工事概要等について説明した。</p>	 <p>現場見学（緑ヶ丘地すべり）</p>
	13日	<p><u>山形県建設業協会青年部現場研修会 実施</u></p> <p>山形県庄内総合支庁における「魅力ある建設業への若手人材啓発事業」の一環として、山形県建設業協会酒田支部及び山形県立酒田光陵高等学校環境技術科1年41名を含む約50名を対象に現場研修会を開催することとなり、七北田川河川災害復旧工事、名取市閑上宅地嵩上げ現場において計画概要等について説明した。</p>	
	22日	<p><u>宮城県高等学校工業研究会土木系分科会現場見学会 実施</u></p> <p>宮城県高等学校工業教育研究会土木系分科会の教員9名が、東日本大震災からの復興状況等を見学したいとの要請から、現在工事を進めている川内沢川河川改修工事現場及び（主）塩釜亘理線・新毘沙門橋橋梁整備工事現場において、事業概要等を説明した。</p>	
	26日	<p><u>兵庫県・理事現地調査 実施</u></p> <p>兵庫県理事ほか2名が災害復旧・復興の進捗状況等の現地調査に来県し、事務所管内の被災・復旧状況等を説明し、災害廃棄物処理施設（名取処理区）、中貞山運河、南貞山運河等の河川災害復旧事業について現地説明した。</p>	

27日 (都) 植松田高線・道路改築事業地元計画説明会 開催

都市計画道路・大手町下増田線の道路改築工事により、付け替えが必要となる一般県道・愛島名取線について、都市計画決定されている都市計画道路・植松田高線として整備を進めることとしており、地元住民等に対して道路計画概要及び工事着手までの整備スケジュールについて説明し、概ね了解を得た。また、用地測量及び幅杭設置についても了解を得た。

28日 七ヶ浜町災害復旧・復興事業説明会 開催

七ヶ浜国際村ホールにおいて、菖蒲田地区で実施される主要地方道・塩釜七ヶ浜多賀城線（復興交付金事業）及び菖蒲田地区・松ヶ浜地区・花渕浜地区海岸（災害復旧工事）の各事業に係る地権者等を対象に、各事業概要説明会を開催した。概要説明後に出席者から、事業に関する意見交換を行い、道路計画等への対応の可否を含めて検討することとし、現地での用地測量等について了解を得た。



12月 4日 茂庭台小学校・出前講座（4・7日） 実施

仙台市立茂庭台小学校の6年生の総合学習の一環として、土砂災害に対する知識や準備・心構えを学習するため、学校の要請に応じて出前講座を開催した。「土砂災害」と「地名と危険箇所の関連」に関する事前学習と簡易雨量計を用いた簡易実験等を行い、その成果として地域の安全マップ作成など2日にわたって実施土砂災害防止に関する意識の醸成を図った。



5日 七北田川（右岸）河川災害復旧事業説明会 開催

七北田川の河川災害復旧工事に伴う河川堤防の嵩上げ計画の概要について、右岸（蒲生地区）関係住民等を対象に説明を行った。併せて、用地買収及び工事着手に向けた大まかなスケジュールについて説明を行った。



(都) 大手町下増田線・増田道路改築事業工事説明会 (12/5・26・1/23・25日) 開催

都市計画道路・大手町下増田線の道路改築工事着手に当たり、工事区間全体での説明会に加え、名取市小山・大手町、増田、飯野坂の3地区で、工事内容、工事期間中の規制、事業スケジュール等について説明し、工事実施に対して理解を得た。



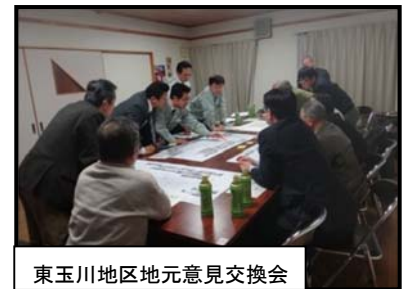
12/5 全体説明会



1/23 増田地区説明会

6日 (主) 泉塩釜線・東玉川工区整備に向けた地元意見交換会 開催

主要地方道・泉塩釜線の塩竈市玉川地区のJR東北本線交差のボックス部前後については、以前から地元から歩道整備要望があり、地元関係者と整備のあり方について意見交換を行った。今後、関係機関との調整を行いながら、計画を確定していくこととした。



東玉川地区地元意見交換会

17日 (都) 八幡築港線復興交付金事業計画地元説明会 (17・18日) 開催

都市計画道路・八幡築港線(復興交付金事業)の道路詳細設計に関する地元説明会を関係地区の、中の島地区、舟入地区で開催した。併せて、用地測量、用地買収及び工事着手に向けた今後のスケジュールについて説明し、道路計画及び用地測量の立入等について、了解を得た。



舟入地区事業計画説明会

18日 (一) 荒浜港今泉線復興交付金事業地元説明会 (18・19日) 開催

復興交付金事業で整備を進める一般県道・荒浜港今泉線(荒浜一丁目・蕨地区)の道路詳細計画が固まったことから関係住民にその概要を説明し了解を得た。また、用地買収に向けた用地測量、境界立会等の今後のスケジュールについて説明し、用地測量立入りの了解を得た。



荒浜地区事業計画説明会

21日 震災復興に伴う盛土材連絡調整会議(仙台地区市町連絡調整会議) 開催

東日本大震災による復旧・復興事業を進めるに当たり、盛土材の不足が懸念されており、盛土材の安定確保に関する協議や連絡調整を行う場として「震災復興に伴う盛土材連絡調整会議」が設置され、今回、仙台地区における沿岸10市町に加え、国・県関係機関による「仙台地区市町連絡調整会議」を開催し盛土材の確保に関する情報共有及び意見交換等を行った。

	<p>27日</p> <p>28日</p>	<p>(主) 塩釜吉岡線・菅谷道路改良事業説明会 開催</p> <p>地元から整備要望があった利府町菅谷地内における主要地方道・塩釜吉岡線の計画策定に向けた測量及び地質調査の作業立入りの了解を得るために、整備概要等の説明を行い、作業について概ね了解を得た。</p> <p>自治法派遣職員離任</p> <p>10月1日から配属されていた北海道，群馬県，鹿児島県の派遣職員（4名）が任期（3ヶ月）を終え，離任した。</p>
<p>1月</p>	<p>4日</p> <p>24日</p> <p>27日</p> <p>29日</p>	<p>自治法派遣職員配属</p> <p>12月28日に離任した群馬県・鹿児島県の派遣職員と交代で3名の派遣職員が配属された。</p> <p>群馬県土整備部現地調査 実施</p> <p>群馬県県土整備部技監ほか4名が，東日本大震災被災地の現地調査のため来県し，事務所管内の被災・復旧状等について説明した。</p> <p>(主) 相馬互理線（山寺・坂元工区）復興交付金事業地元説明 実施</p> <p>山元町を縦断する主要地方道・相馬互理線については，復興交付金事業で多重防御施設として整備することとしており，測量立入に関する説明会を開催し，設計計画の概要，測量調査の内容及び今後のスケジュール等について説明し，概ね了解を得られた。</p> <p>岩沼海浜緑地復旧・復興着工式 実施</p> <p>岩沼海浜緑地に仮置きされた災害廃棄物が撤去されたことから，本格的な復旧・復興工事の着手に当たり，工事着工式を実施した。着工式に先立ち安全祈願祭が執り行われ，着工式では，秋葉賢也厚生労働副大臣兼復興副大臣，三浦宮城県副知事，井口岩沼市長をはじめ，関係者約50人が出席し，来賓の方々から挨拶，祝辞を賜り，工事概要の説明のあとに，工事の安全と一日も早い完成を祈念し，鍬入れが行われた。</p>



事業計画説明会



着工式（鍬入れ式）



工事着工状況

	31日	<p><u>愛知県建設部被災・復興状況等現地調査（～2/1） 実施</u></p> <p>愛知県建設部建築担当局長ほか3名が災害復旧・復興の進捗状況等の現地調査に来県し、事務所管内の被災・復旧状況，並びに派遣職員が担当する砂押川，旧砂押川等の災害復旧事業概要について説明し，山元町坂元川災害復旧事業を現場調査した。</p>
2月	1日	<p><u>山元町太陽ニュータウン町道・浅生原下宮前南線 供用</u></p> <p>山元町太陽ニュータウン内の道路は東日本大震災により被災し，その入口となる町道浅生原下宮前南線等の陥没，亀裂，さらに法面崩壊し，安全な通行の確保が出来なかったため，通行止めとなっていた。当該地区の災害復旧については，県が山元町から受託して工事を進めてきており，工事の完了により1年10ヶ月ぶりに供用した。</p>  <p style="text-align: center;">町道浅生原下宮前南線 供用</p> <p>7日</p> <p><u>(都) 築港大通線・(都) 八幡築港線道路計画説明会 開催</u></p> <p>塩竈市港町地区において実施する都市計画道路築港大通線・八幡築港線（復興交付金事業）の工事方法及び施工工程及び塩竈市から港町地区における復興道路計画について説明し，今後工事施工に当たっての協力を要請した。</p>  <p style="text-align: center;">塩竈市港町地区計画説明会</p> <p>13日</p> <p><u>3.11 伝承・減災プロジェクト「全国へ発信！災害に強いまちづくり宮城モデル」他県説明 実施</u></p> <p>東日本大震災の教訓を踏まえ，津波により壊滅的な被害を受けた沿岸市町の復旧・復興を進めていく上で，高台移転，職住分離，多重防御による大津波対策など，沿岸防災の観点から災害に強いまちづくりを進めており，その取組を南海トラフ，東南海，東海，首都圏直下型の巨大地震発生が懸念されている地域等，日本全国の都道府県及び市町村などの防災・減災対策へ活用できるよう，被災地の責務として全国に伝えていく必要がある。</p> <p>今回，2月13日から14日にかけて，南海トラフの巨大地震により甚大な被害が予想される和歌山県（約90名）・香川県（約110名）を訪問し，本県の復旧・復興の考え方，現在の取組状況やその課題などについて説明した。</p>  <p style="text-align: center;">2/13 香川県での報告状況</p>  <p style="text-align: center;">2/14 和歌山県での報告状況</p>

15日 (主) 塩釜亙理線（早股・寺島工区）復興交付金事業説明会 開催

岩沼市が多重防御施設として整備する市道・寺島海岸線と併せて、復興交付金事業で避難路として整備する主要地方道・塩釜亙理線（早股・寺島工区）について、道路計画概要等を説明し、用地測量及び幅杭設置作業の了解を得た。



早股・寺島工区 事業説明会

(主) 大和松島線・西川橋橋梁災害復旧工事用地説明会 開催

主要地方道・大和松島線の西川に架かる西川橋の災害復旧（架け換え）に伴う用地買収の面積及び単価等について関係地権者に対して了解を得た。

19日 (主) 塩釜七ヶ浜多賀城線・貞山橋桁洗浄業務現場見学会 実施

東日本大震災に津波により浸水した橋梁の主桁等の重要部材に付着した塩分除去を目的とした橋梁洗浄を行い、腐食防止、施設の長寿命化を図ることとしており、今回、旧砂押川に架かる貞山橋で作業状況等について現場見学会（約30名参加）を実施した。



貞山橋 全景



見学会(桁洗浄)状況

21日 (一) 岩沼海浜緑地線（二の倉工区）事業説明会 開催

沿岸部からの避難路として整備する一般県道・岩沼海浜緑地線（二の倉工区）の道路改良計画及び二の倉橋架け換え工事計画等の概要並びに整備スケジュール等を説明し、併せて用地測量及び幅杭設置作業の了解を得た。



二の倉工区 事業説明会

18. 北部土木事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	27日	<p>(主)鹿島台高清水線平渡1工区用地説明会 開催</p> <p>事業用地として御協力いただく地権者に対して、取得面積、地目別の取得単価を提示するとともに、課税の特例等について説明した。</p> <p>理を行った。</p>
5月	4日	<p>4月30日から5月5日にかけての豪雨により、出来川が出水、名鱸越流堤が破堤</p> <p>平成24年5月4日9時頃、越流を開始してまもなく越流堤約20mが決壊し、もともとの名鱸沼の範囲を超える約200haの農地の浸水及び床下浸水3戸の被害が生じた。</p>   <p>▲被災状況</p>
14日		<p>(主)仙台三本木線混内山道路改良事業の収用裁決に係る第一回審理</p> <p>収用委員会へ事業計画概要、裁決申請及び明渡裁決の申立に関し、裁決申請に至った経緯、損失補償額の算定根拠等について、起業者説明を行った。</p>  <p>▲仙台三本木線混内山道路</p>

16日 名鱒越流堤決壊箇所の応急工事 完了



▲応急復旧後

16日 土木部長管内視察

22日 (主)石巻鹿島台大衡線二郷外道路災害復旧工事 完成
復旧延長 L = 1, 399.7m



▲石巻鹿島台大衡線二郷外道路

23日 (主)古川佐沼線江合道路災害復旧工事 完成
復旧延長 L = 367m



▲着手前



▲完成

6月 12日 6.12 総合防災訓練土木部防災訓練 実施

北部土木事務所と管理委託業者及び建設コンサルタント協会が参加し、被災情報伝達訓練を実施。

土木事務所職員18名が参加し、現地確認や県民土砂災害相互連絡システムを使用した訓練を実施。



▲訓練の様子

13日 遊水地越流堤の維持管理のあり方に関する検討会 出席

5月4日の出来川名鱒越流堤での破堤を受け、県内8遊水地について越流堤の被災を未然に防ぐため、通常時や異常天然現象発生後における点検方法や維持管理の方法等を検討し、今後の効率的な維持管理のあり方についてとりまとめる検討会が開催された。

22日 「3.11 東日本大震災 復旧・復興パネル展」 開催

平成24年8月22日から29日まで「道の駅 三本木 やまなみ」で「3.11 東日本大震災 復旧・復興パネル展」を開催

7月	<p>2日 <u>「3.11 東日本大震災 復旧・復興パネル展」 開催</u> 7月2日から31日まで大崎市岩出山「あ・ら・伊達な道の駅」で「3.11 東日本大震災 復旧・復興パネル展」を開催。</p> <p>4日 <u>国道347号整備に係る加美町区長会研修会 出席</u> 小野田文化会館小ホール（加美町）において、国道347号県境部11.3kmの通年通行化に向けた取り組み状況を説明。</p> <p>9日 <u>平成24年第1次災害査定 実施</u> 7月9日から13日まで5月豪雨等による被災箇所18件の災害査定を実施。</p> <p>17日 <u>平成24年第2次災害査定 実施</u> 7月9日から13日まで5月豪雨等による被災箇所3件の災害査定を実施。</p> <p>27日 <u>(一)小野田三本木線向町地区道路改良事業の計画説明会 開催</u> 一般県道小野田三本木線色麻町内の未改良区間約200mの道路改良計画を地元で説明。</p> <p>30日 <u>国道108号花洲山バイパス4号トンネル貫通式 出席</u> 直轄権限代行事業として施工されている4号トンネルは、平成23年度に着手し、平成25年度の完了予定。</p> <p>30日 <u>平成24年第3次災害査定 実施</u> 7月30日から8月3日まで凍上災による被災箇所3件の災害査定を実施。</p>	 <p>▲パネル展の様子</p>  <p>▲研修会の様子</p>  <p>▲貫通式の様子</p>
8月	<p>6日 <u>平成24年第4次災害査定 実施</u> 8月6日から10日まで凍上災1件と5月豪雨の出来川名鰯越流堤の2件の災害査定を実施。名鰯越流堤は、災害関連事業として採択される。</p>	

7日 国道108号花渚山バイパス3号トンネル工事安全祈願祭 出席

直轄権限代行事業として施工される3号トンネルは、平成25年度完了予定。



▲安全祈願祭

20日 夏期研修生3名の受け入れ 実施

8月20日から31日まで夏期研修生3名が土木事務所で研修を行った。



▲インターンシップの様子

22日 職場内研修（第1回） 実施

事務所職員の技術向上を図るため国道108号花渚山バイパスのトンネル及び橋梁の工事現場の見学と鬼首地熱発電所の視察を実施。



▲職場内研修の様子

24日 平成24年度「道路クリーンキャンペーン」 実施

(社)宮城県建設業協会大崎支部と合同で北部土木管理の国県道18路線の清掃活動を実施。



▲クリーンキャンペーンの様子

27日 平成24年第5次災害査定 実施

8月27日から31日まで凍上災による被災箇所5件の災害査定を実施。


28日 職場内研修（第2回） 実施

事務所職員の技術向上を図るため港湾施設の災害復旧工事現場及び震災廃棄物処理施設の視察を実施。



▲職場内研修の様子

	29日	<u>名鱒越流堤災害復旧工事の綱矢板仮締切 完了</u>	 <p style="text-align: center;">▲名鱒越流堤災害復旧工事完了</p>
9月	4日	<u>建設工事現場の緊急安全パトロール 実施</u> 夏場に入り多発する建設現場の事故や古川労働基準監督署からの緊急要請を踏まえ、北部土木事務所が発注し、現在、施工中の主な工事現場約20箇所に対し、緊急安全パトロールを実施。	 <p style="text-align: center;">▲パトロールの様子</p>
	6日	<u>涌谷町洞ヶ崎一急傾斜地崩壊対策事業説明会 開催</u> 平成23年度に実施した測量・調査・設計に基づき、急傾斜地危険区域の指定及び急傾斜地崩壊対策事業について、関係者を対象に説明会を開催。	
	10日	<u>平成23年東北地方太平洋沖地震災の復旧工事全て執行完了</u> 当事務所管内の被災箇所166箇所ですべて最後の品井沼遊水地周囲堤の復旧工事を執行。	
	27日	<u>加美町議会国道347号現地説明会 開催</u> 国道347号の道路改良計画及び進捗状況について現地説明を行った。	
	28日	<u>国道347号宇津野(2)-1工区事業説明会 開催</u> 設計が未了であった宇津野(2)-1工区の事業説明会を開催し測量に着手。	
11月	8日	<u>国道108号花淵山バイパス3号トンネル貫通式 出席</u> 直轄権限代行事業として施工されている3号トンネルが貫通。	 <p style="text-align: center;">▲貫通式の様子</p>
	8日	<u>鍋越峠付近の気象観測 開始</u> 国道347号の通年通行化に向け、積雪状況等の気象状況を把握するため、これまで観測されなかった鍋越峠付近の気象状況を無人観測装置を設置し観測を開始した。	

12月	18日	<p><u>(主) 仙台三本木線混内山道路整備事業で行政代執行 実施</u> 唯一未整備箇所であった土地について行政代執行を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>▲仙台側から (引渡前)</p> <p>▲仙台側から (引渡後)</p> </div>
	19日	<p><u>涌谷町川畑沢砂防えん堤事業説明会 開催</u> 砂防えん堤設置予定箇所の地権者を対象に砂防えん堤の概略について説明会を開催。</p>
	28日	<p><u>桜の目橋の災害復旧工事 完成</u> 東日本大震災により被災した、江合川に架かる桜の目橋の橋梁災害復旧工事が完成。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">▲支承交換</p>
1月	17日	<p><u>出来川応急河川災害復旧工事 完成</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>▲ほ場復旧完了</p> <p>▲応急復旧完了</p> </div>
	29日	<p><u>国道347号宇津野(2)道路改良工事の栈道工工事契約 締結</u> 国道347号宇津野(2)道路改良工事(4工区)における最初の工事である1号栈道工の工事契約を締結。</p>
2月	21日	<p><u>土木部長管内視察</u></p>
3月	20日	<p><u>国道108号東バイパス開通式 出席</u></p> <p><u>国道346号鹿島台バイパス(二線堤)開通式 出席</u> (主) 石巻鹿島台大衡線交差点から現道接続区間まで約4.1kmの供用。</p> <p><u>管内の311地震災害復旧工事が完了</u> 鶴田川(品井沼周囲堤)河川災害復旧工事を除き管内全ての311地震災害復旧工事が完了。</p>

19. 北部土木事務所栗原地域事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	13日	<p><u>小山田川河川災害復旧工事完了</u> 小山田川（高清水鶴巻）の本復旧完了。</p>  <p>▲着手前</p>  <p>▲小山田川河川災害復旧後</p>
5月	5日	<p><u>国道398号冬期閉鎖解除</u> 国道398号の花山字本沢温湯～秋田県境（14.4km）区間は、例年5月連休前を目標に冬期閉鎖を解除してきたが、この冬は例年になく大雪と低温状態が続き、除雪完了後も切土法面や沢筋に大量の雪が残り、雪崩や落雪の発生が危惧された。このため、専門家の現地調査を受け、斜面状況の監視と雪庇除去、待ち受けポケット確保等の対策を進めてきたが、5月2～4日の大雨で急激に雪解けが進み危険性が大幅に低下したことから、監視及び交通規制などの安全対策を講じた上で、5月5日に供用を開始した。こうした経過を踏まえ、改めて雪崩危険箇所の調査をおこない、春先の早期供用に必要な防雪施設の整備を進めることとしている。</p>  <p>▲土木研究所の専門家による現地調査</p>  <p>▲切土法面とその上部の残雪状況</p> <p><u>藤沢瀬嶺道路災害復旧工事完了</u> （一）田尻瀬峰線（瀬峰藤沢瀬嶺）外1工区の本復旧完了</p>
6月	17日	<p><u>災害復旧・復興状況をパネルで紹介</u> 栗原市一迫中央公園で開催された「栗原市総合防災訓練」において、岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災により被災した公共土木施設の復旧・復興状況について、パネルを使って栗原市民や訓練参加者にお知らせした。</p>  <p>▲災害復旧・復興状況をパネル展示</p>

7月	9日	<p><u>河川被害箇所の災害復旧を申請（災害査定）</u></p> <p>4月30日～5月5日の豪雨により管内の河川で被害が発生したことから、災害復旧申請を行い、第1次・第2次査定において、9河川12箇所の採択を受けた。</p>
	18日	<p><u>凍上被害箇所の災害復旧を申請（災害査定）</u></p> <p>平成23年度冬期の極端な低温状況により、県内の道路で舗装面にひび割れ、不陸などの凍上被害（凍上災）が発生したため、平成18年以来6年ぶりに、凍上災箇所の災害復旧申請を行うこととなり、当管内では、第2次～第5次査定において、12路線24箇所の採択を受けた。</p>



▲凍上災害査定状況

8月	7日	<p><u>大震災で被災した川南高架橋上部工を原位置に復旧</u></p> <p>川南高架橋（栗原市若柳）は、東北地方太平洋沖地震により橋軸直角方向に繰り返し大きな水平力が作用し、橋脚の柱基部損傷や上部工（3径間連続中空床版）の回転・横移動に伴う支承・移動制限装置等の損傷など、甚大な被害が発生した。</p> <p>これらの被災のうち、移動した上部工について、8月7日深夜、3径間全体をジャッキアップし原位置に復旧する作業を実施、約5時間で無事完了した。</p>
----	----	---



▲3径間に移動用支保工・ベントを設置



▲A2, P3 地覆部で2～5cmのズレ



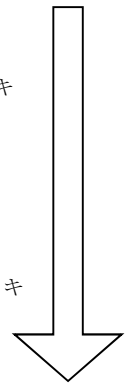
▲7日深夜、桁移動作業を開始



▲水平用 50ton ジャッキ



▲鉛直用 200ton ジャッキ



▲道路法線の確認



▲移動量を計測



▲所定の位置に移動完了！

8月	3日～ 9日 31日	<p><u>「水害から命を守る治水対策」パネル展を開催</u></p> <p>本県の水害と治水対策の歴史や、現在の取組、ハザードマップをはじめとしたソフト施策を紹介し、県民の水害への防災意識を高め、引いては自助・共助意識の醸成を図るために、河川課と連携し栗原市役所庁舎ホールにて、パネル展を開催。(迫川改修80周年記念事業のイベント)</p> <p><u>浦ノ沢道路災害復旧工事完了</u></p> <p>(一)大鳥沢辺線(栗駒栗原浦ノ沢)外3工区の本復旧完了</p>	 <p>▲栗原市役所でのパネル展の様子</p>
9月	18日 21日	<p><u>耕英東1号砂防えん堤の完成</u></p> <p>平成20年6月の岩手・宮城内陸地震では、多数の斜面崩壊や土石流災害が発生したため、「災害関連緊急砂防事業」、「砂防激甚災害対策特別緊急事業」の採択を受け、砂防えん堤や流路工等の施設整備を進めており、このうち、栗駒沼倉の耕英東1号砂防えん堤工事が完了したものの。</p> <p><u>他県応援職員が岩手・宮城内陸地震被災箇所への復旧状況を視察</u></p> <p>東部土木事務所の他県応援職員を中心に、登米地域事務所職員を合わせた23名が、平成20年6月の岩手・宮城内陸地震で大きな被害が発生した、荒砥沢ダム上流地すべり崩壊地や、耕英東(裏沢)砂防激特事業箇所、県道築館栗駒公園線の大規模法面崩壊箇所を視察、宮城北部森林管理署及び当事務所で復旧・復興状況を説明した。</p>	 <p>▲県耕英東1号砂防えん堤の完成</p>  <p>▲県道築館栗駒公園線の大規模法面崩壊箇所</p>
10月	25日	<p><u>宮野道路情報表示板災害復旧工事完了</u></p> <p>(主)築館栗駒公園線(築館下宮野)の本復旧工事完了</p>	
11月	13日 16日 20日	<p><u>川南高架橋橋梁災害復旧工事完了</u></p> <p>(一)有壁若柳線(川南高架橋)の本復旧工事完了</p> <p><u>“迫川”河川改修80周年記念イベントで河川木利用のパネルを展示</u></p> <p><u>十二神道路災害復旧工事完了</u></p> <p>(主)古川佐沼線(高清水十二神)の本復旧工事完了</p>	 <p>▲河川敷きの樹木等の利用を図るパネルの1枚</p>

2月 18日

第10回みやぎ県北高速幹線道路環境対策委員会を開催

平成23年1月24日に全線開通した「みやぎ県北高速幹線道路I期区間」は、ラムサール条約湿地の伊豆沼に近接しているため周辺環境に配慮した「エコロード」として進めてきた。

平成7年度に「環境懇談会」を設立し、周辺生態系に配慮した自然と共存する道路建設を図るため『整備計画』を策定した。この計画をより実効あるものとするため、平成10年度に「環境対策委員会」を設置し、動植物への影響を工事施工前、施工中、供用開始1年後の現在まで継続的に調査し、分析・評価を行ってきた。

今回、取組みとその結果について委員に報告し、環境対策の効果を確認できたことから、17年間にわたり実施してきた「環境対策委員会」を閉会することとした。



▲第10回環境委員会の様子



▲周辺環境に配慮したエコロード

3月 上旬

迫川（若柳工区）河川改修事業への着手

長沼ダムの平成25年度完成にあわせ、迫川の狭窄部である若柳地区をはじめ、若石大橋～三迫川合流点（7.9 km）区間における河道掘削など河川改修を実施し、流下能力の向上と洪水被害リスクを軽減させるもの。

今年度は、若柳地区（若柳大橋上流部）の工事用道路設置及び伐木等を行い、来年度以降の本格的な事業実施に備えた。



▲迫川の若柳狭窄部



▲若柳狭窄部の伐採工（着手前）



▲伐採完了

20. 東部土木事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
3月	3日	<p><u>大曲海岸着工式</u></p> <p>平成23年3月3日（土）、東部土木事務所管内の大曲海岸において災害復旧着工式を執り行いました。</p> <p>着工式に先立ち、大曲浜獅子舞保存会による演舞が披露されました。</p> <p>当日は非常に寒期中、多数の来賓が足元が悪い中参列され、黙祷より着工式が始まり、多数の祝辞が寄せられました。</p> <p>大曲海岸に復旧・復興に向けた第一歩となる槌音が響きました。</p>
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【 鍬 入 れ 式 】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【 工 事 着 工 状 況 】</p> </div> </div>
4月	17日	<p><u>(一) 牡鹿半島公園線本復旧工事着手</u></p> <p>路線延長 L=33.8km のち約 9 割以上がクラック・法面崩壊等被災を受けた一般県道牡鹿半島公園線において、本復旧工事に着手しました。</p> <p>第1段階としては、起点から小積インターまでの約 L=10.0km 区間を復旧し早期規制解除を目指します。</p>
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【23 災 5554 号復旧状況】 補強土壁工</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【23 災 5326 号復旧状況】 吹付法棒工</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【 災 害 箇 所 図 】</p> </div> </div>

5月 19日

長渡海岸災害復旧工事完了

石巻市網地島長渡海岸は、東日本大震災により発生した津波によって大きく地盤が削られ、上部にある民家の一部が崩れるなど大きな被害が生じました。また、1m近く地盤沈下が生じ波浪が直接地盤にあたることとなり、海岸線の浸食が進行する恐れがあることから緊急的に災害復旧工事が行われました。現在は海岸堤防が整備され、民政の安定・国土保全が果たされています。

被災状況



復旧後



復旧前



31日 (国)398号女川橋応急復旧工事完了

東日本大震災により流出した女川橋について、一時は自衛隊により盛土され通行可能となったが、大雨時に冠水し市街地復旧の支障となっていた。

5月31日に仮橋が完成したことにより、梅雨や台風による冠水被害が軽減された。



【 女川橋（仮橋） 】

6月 28日

白浜海岸災害復旧工事 丁張・事業説明看板設置

相川沢川災害復旧事業を住民により理解してもらうため、現地に丁張りとし事業説明看板を設置しました。



7月

10日

定川災害復旧工事 説明看板および丁張りの設置

定川災害復旧事業を住民により理解してもらうため、現地の2箇所に事業概要看板と3箇所に丁張りを設置しました。



看板設置



丁張り設置

17日

～

18日

定川災害復旧事業説明会

定川災害復旧事業概要説明会を7月18日(水)、19日(木)の2日間にわたり、開催しました。地域住民の参加者数は、18日52名、19日70名、合計122名にのぼり、渥美県議会議員、東部地方振興事務所農業農村整備部、東松島市などの関係者にも参加して頂きました。



赤井地区市民センター(7/18)



大曲地区センター(7/19)

8月

10日

南北上運河看板及び丁張りの設置

南北上運河災害復旧事業を住民により理解してもらうため、現地に事業概要看板と丁張りを設置しました。



看板及び丁張り設置(8/10)

9月

8日

(一) 石巻北インター線 着工式

国土交通省東北地方整備局、宮城県及び石巻市は、平成24年9月8日(土)に、三陸沿岸道路の「石巻インターチェンジ」及び「県道石巻北インター線」の着工式を開催しました。

着工式には、主催者を代表して村井知事、東北地方整備局徳山局長及び石巻市亀山市長、また来賓として安住淳財務大臣(衆議院議員)、金田石巻赤十字病院長など、約40名が出席しました。



22日 都市計画道路矢本流留線の変更に関する説明会

・ 多重防御施設となる矢本流留線の都市計画道路の変更に関する説明会を、石巻市は9月22・2

23日 3日に東松島市は9月22日に開催しました。



10月 12日 大曲海岸・白浜海岸・長浜海岸・長塩谷立神災害復旧工事実施保留解除

16日 (一) 釜谷大須雄勝線 釜谷道路災害復旧工事説明会

長面地区の災害復旧事業の為の工事車両が増加することから、支障となる幅員狭小区間の拡幅と舗装を実施するため部分着手にあたり、工事説明会を実施しました。

今回の説明会は、基本的には現道路敷内での工事となりますが、盛土の実施にあたり道路境界内での施工が困難な釜谷地区を対象に盛土の盛りこぼしに伴う土地の協力のため実施したもので20名の方に出席頂き協力を得ました。



17日 定川河川災害復旧工事の着工式

平成24年10月17日(水)に定川河川災害復旧工事の着工式を開催しました。

二級河川定川の河口部については、東日本大震災で内陸深くまで遡上した津波により、堤防が破堤し、応急工事を行いました。この度、破堤箇所の本復旧工事に着手することになりました。



■挨拶 (三浦副知事)



■鍬入れ状況

11月 17日 石ノ森漫画館の再開に併せて(国)398号西内海橋の歩道を復旧しました。

東日本大震災で被災した石巻市の「石ノ森漫画館」が11月17日(土)、約1年8カ月ぶりに再開しました。その再開に併せて、同じく被災した西内海橋の歩道を復旧しました。



内海橋歩道橋復旧後

12月

5日

真野川外河川災害復旧工事 説明会

～

21日

石巻市の真野川災害復旧工事について、関係する14地区で説明会が行われました。該当河川は地盤沈下分の堤防嵩上げが実施されます。



説明会資料

6日

(国)398号湊道路改良事業の説明会を開催しました。

～

20日

12月6・7・9・11・20日に(国)398号湊道路改良事業の説明会を、地元の町内会毎に行いました。



■説明会状況

11日

東侍浜海岸・仁戸田海岸災害復旧工事実施保留解除

17日

大沢川外「皿貝川・中島川」災害復旧事業の説明会

～

20日

12月17・18・19・20日に、大沢川外「皿貝川・中島川」災害復旧事業について、地元住民に対する説明会を開催しました。



■説明会状況



■説明会状況

20日

新不動橋災害復旧工事実施保留解除

1月

20日

石巻市十八成地区の説明会

石巻市十八成浜地区の高台移転計画の説明会に併せて、復興道路及び淀川災害復旧計画を地元住民に説明しました。



28日

石巻港インター線実施保留解除

2月

6日

女川・清水田海岸・大原海岸・谷川海岸・横須賀海岸・鰐ヶ淵海岸実施保留解除

中

災害復旧工事の状況



【定川破堤部の鋼管矢板打設状況】



【大曲海岸のブロック製作状況】



【東名海岸の工事用道路築造状況】

2 1. 東部土木事務所登米地域事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	16日	<u>新田外道路災害復旧工事完了（(主)古川佐沼線 迫町新田地内外）</u>
	19日	<u>石森外道路災害復旧工事完了（(一)石森永井線 中田町石森地内）</u>
	23日	<u>登米市と連絡調整会議を開催</u> <p>登米市と当事務所の円滑な事業執行を図るため、連絡調整会議を開催した。会議では、平成24年度事業計画の説明のほか、みやぎ県北高速幹線道路や長沼ダム等の個別事業について調整を行った。</p>  <p style="text-align: right;">▲登米市連絡調整会議</p>
5月	3日	<u>平成24年5月3日～4日にかけての大雨対応</u>
	21日	<u>旧迫川河川災害復旧工事完了（迫川 米山町中津山地内）</u>
	22日	<u>櫓場外道路災害復旧工事完了（(国)346号 米山町字櫓場地内外）</u>  <p style="text-align: center;">▲(国)346号 米山町櫓場 被災状況</p>  <p style="text-align: center;">▲同左復旧後</p>
	22日	<u>錦桜橋橋梁災害応急復旧工事完了（(国)346号 中田町上沼地内）</u>
	23日	<u>錦橋橋梁災害応急復旧工事完了（(国)398号 迫町佐沼地内）</u>  <p style="text-align: center;">▲(国)398号 錦橋 被災状況</p>  <p style="text-align: center;">▲同左復旧後</p>
	25日	<u>上沼外道路災害復旧工事完了（(国)342号 中田町上沼地内）</u>
	28日	<u>長沼川外河川災害復旧工事完了（長沼川 迫町北方地内外）</u>
30日	<u>善王寺道路改良工事計画説明会開催</u>	

6月	7日	<p><u>土砂災害危険箇所合同パトロール 実施</u></p> <p>登米市と連携して、市の広報誌での広報活動のほか、市内の土砂災害危険箇所のうち 21 箇所について、合同パトロールを実施した。</p>		
	12日	<p><u>6. 1 2 総合防災訓練 実施</u></p> <p>東日本大震災の経験を踏まえ、今後も起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、みやぎ県民防災の日に合わせて、総合防災訓練を実施した。</p>		
				
				
			▲合同パトロール	▲総合防災訓練
	15日	<u>南深沢外道路災害復旧工事完了 ((主)古川佐沼線 迫町新田地内外)</u>		
	15日	<u>古川河川災害復旧工事完了 (古川 南方町新一の曲地内)</u>		
	19日	<u>荒川河川災害復旧工事完了 (荒川 築館字横須賀地内外)</u>		
	19日	<u>台風4号による大雨対応</u>		
	26日	<p><u>「河川管理施設操作研修会」を実施 (7月9日まで計5日間)</u></p> <p>事務所管内には、水門や排水を行うための河道ポンプ、遊水地などの河川管理施設が多数存在しており、一度洪水が発生した場合は、これらの施設操作、遊水地内の巡回監視及びサイレン吹鳴などを職員が直接行う必要がある。このため、当所の全職員を対象とした研修会を実施し、大雨シーズンに備えて危機管理体制の強化を図った。</p>		
			▲河川管理施設操作研修会	
29日	<u>みやぎ県北高速幹線道路路線測量に着手</u>			
7月	2日	<p><u>青山外道路災害復旧工事完了 ((主)古川佐沼線 迫町北方地内)</u></p>		
			▲(主)古川佐沼線 迫町北方 被災状況	▲同左復旧後
	10日	<u>みやぎ県北高速幹線道路橋梁設計に着手</u>		
	10日	<u>平成24年第1次災害査定</u>		
	13日	<u>浅水外道路災害復旧工事完了 ((国)398号 中田町浅水地内外)</u>		
	17日	<u>職員直営による事業用地の除草を実施 (7月23日までの計3日間)</u>		

- 17日 長谷山外道路災害復旧工事完了 ((国)342号 中田町長谷山地内外)
- 20日 天形河川災害復旧工事完了 (長沼川 迫町北方地内)



▲長沼ダム 護岸 被災状況



▲同左復旧後

- 26日 北深沢河川災害復旧工事完了 (長沼川 迫町新田地内)

- 8月 1日 東部土木登米地域だより第1号 (創刊号) 発行
事務所の復旧・復興に向けた活動状況や地域情報について、地域住民や関係機関等に情報提供を行うため、定期的に発行することとした。

- 2日 夏川河川改修事業説明会開催

- 3日 東日本大震災パネル展 開催 (~16日まで)

登米地域の居住者に、東日本大震災からの復旧・復興状況をお知らせするため、イオンタウン佐沼店の専門店モール通路で、「東日本大震災パネル展」を開催した。



▲東日本大震災パネル展

発行にあたって
東日本大震災の発生から1年4か月余りが経過しました。被災地は、徐々に平常時同様の生活を取り戻している一方で、一部では大きく異なる状況にあることも多いです。平成24年度は「復興年」として、復興に向けた具体的なスタートの年となる予定です。この中で、当事務所では、登米地域内での基幹施設が被害を受ける河川、ダム等の被害、東部土木震災少子高齢化対策、交通安全対策、地域振興の取り組み等について地域の皆様にごくお知らせするため、「東部土木登米地域だより」を発行することとした。社会生活基盤の復旧や環境について、より身近に感じていただくことにも、ご賛同を頂戴してまいります。よろしくお願ひいたします。

平成23年発生災害の復旧状況
○東日本大震災
平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当事務所管内において、尾花、横成及び野川の土木土木施設において183件の被害が発生しました。これらの復旧を急務的に進めるため、緊急復旧事業を実施することとなった。平成23年度中に完成した工事を実施しました。平成24年度で完了する工事の計画も進めています。

工種	災害査定		復旧工事	
	決電件数 (件)	決電額 (万円)	発注件数 (件)	完了件数 (件)
運送	119	1,472,499	25	(61) 18
橋梁	17	78,647	6	(0) 3
河川	31	1,092,790	24	(20) 18
計	167	3,243,926	55	(81) 39

※1は決電件数の完了件数

○台風15号
平成23年9月19日及び20日の台風15号による、当事務所管内において、北沢川で2件の被害が発生しました。復旧工事は1件で平成23年度中に完了し、平成24年度で完了しました。

工種	災害査定		復旧工事	
	決電件数 (件)	決電額 (万円)	発注件数 (件)	完了件数 (件)
河川	2	50,348	1	(2) 1
計	2	50,348	1	(2) 1

※1は決電件数の完了件数

▲東部土木登米地域だより第1号

- 10日 小山田川 (野谷地排水樋管) 河川災害復旧工事完了 (小山田川 南方町新野谷地地内)

- 10日 道の日ロードクリーンキャンペーン 実施

「道の日」に合わせて、事務所職員25名とイオンタウン佐沼スマイルロードサポーター65名が協働して、(主)古川佐沼線の約850m区間の清掃・除草を実施した。



▲道の日ロードクリーンキャンペーン

- 17日 水害から命を守る治水対策パネル展 開催 (~23日まで)
- 22日 狼ノ欠外道路災害復旧工事完了 ((主)築館登米線 迫町新田地内)
- 24日 畑岡下外道路災害復旧工事完了 ((主)古川佐沼線 南方町畑岡下地内外)

9月	<p>4日 <u>第11回長沼川を考える会 開催</u></p> <p>10名の委員に委嘱状を交付し、地元沿川区長も交えて、長沼川の河川改修事業の概要や水質浄化対策について意見交換を行った。</p>	 <p>▲長沼川を考える会</p>
	<p>5日 <u>南沢川砂防コラボ事業による施設改良工事完了</u></p> <p>平成22年度から2年間、地元住民との地域協働事業として実施してきた砂防流路工への玉石張り根継工や魚道設置等の工事が完了した。</p>	 <p>▲砂防流路改良工事</p>
	<p>16日 <u>迫川フェスティバル 開催</u></p> <p>迫川改修80周年記念事業の一環として、迫川改修・長沼ダム建設事業の歴史と効果を県民に広く伝えるため、第23回長沼レガッタ開催にあわせ、パネル展を開催した。</p>	 <p>▲迫川フェスティバル</p>
	<p>19日 <u>小山田川（四分区越流堤外）河川災害復旧工事完了（小山田川 大崎市田尻蕪栗地内外）</u></p> <p>20日 <u>南沢川河川改修事業説明会開催</u></p>	
10月	<p>4日 <u>平成24年度蕪栗沼環境管理会 開催</u></p> <p>東日本大震災の影響で2年ぶりの開催となった本年度の環境管理会では、震災で被災した河川管理施設の復旧状況と今後の工事計画、蕪栗沼の水質・生物環境に関する調査結果について協議した。</p>	 <p>▲蕪栗沼環境管理会</p>
	<p>5日 <u>荒川河川災害復旧工事完了（荒川 栗原市築館町字太田地内）</u></p>	

10日 第34回河川クリーンキャンペーン 実施

宮城県建設業協会登米支部と合同で、迫川や旧迫川などに捨てられたゴミの収集を行った。河川クリーンキャンペーンは今年で34回を数え、建設業19社・98名と事務所職員29人が参加し、迫川41.6km、旧迫川19.2kmの合計60.8kmの区間で清掃を実施した。



▲河川クリーンキャンペーン

27日 羽河河川災害復旧工事完了（長沼川 迫町北方字羽河地内）

30日 長沼川河川浄化キャンペーン 実施

地域協働（コラボ）事業の一環として、水質悪化が著しい佐沼市街地で、実験的にバイオ製剤の散布を行った。当日は、「長沼川を考える会」のメンバーを中心に、沿川の地域住民も参加し、西館地区～江合地区の約1.6km区間で実施した。



▲長沼川河川浄化キャンペーン

31日 古川河川災害復旧工事完了（古川 米山町中津山地内）

11月 12日 東部土木登米地域だより第2号 発行

16日 迫川河川改修80周年記念イベント及び植樹式を開催

迫川河川改修80周年記念イベントに先立ち、長沼ダムにおいて記念植樹式を行った。多くの来賓の方々の出席のもと、改修80周年を迎えた迫川流域のさらなる発展を祈念して、桜（ソメイヨシノ）の苗木5本の植樹を行った。



▲植樹式



▲記念撮影

22日 米谷外道路災害復旧工事完了（(一)東和登米線 東和町米谷字恩田地内外）

26日 東上沢道路災害復旧工事完了（(国)346号 東和町米川字東上沢地内）

30日 仙北信用組合迫支店がスマイルロードサポーターに加わる

<p>12月</p>	<p>14日 26日</p>	<p><u>大形河川災害復旧工事完了（長沼川 迫町新田字大形地内）</u> <u>南方仮設住宅で「長沼ダム建設事業」の出前講座を開催</u> 南方仮設住宅の集会所で、長沼ダム建設事業の出前講座を行った。出前講座は、仮設住宅の集会所で毎月定期的に開かれている集会の中で行い、登米地域で行われる公共事業の一つとして紹介した。</p>	 <p>▲長沼ダム建設事業出前講座</p>
<p>1月</p>	<p>11日 11日</p>	<p><u>スマイルサポーター活動写真展を開催（～21日まで）</u> 地域への愛着と誇りをもって取り組まれているスマイルサポーターの方々の日頃の活動を、広く県民に紹介するため、イオンタウン佐沼ショッピングセンター内で写真展を開催した。</p> <p><u>日下金物店がスマイルロードサポーターに加わる</u></p>	 <p>▲スマイルサポーター活動写真展</p>
<p>2月</p>	<p>12日 15日 19日 24日</p>	<p><u>荒川河川災害復旧工事完了（荒川 築館町字横須賀上宝田地内）</u> <u>佐沼自動車学校と北方三方島7班がスマイルリバーサポーターに加わる</u> <u>夏川河川改修事業説明会開催（～20日）</u> <u>駒見橋渡り初め式が行われる</u> 平成14年度に事業着手した「駒見橋」が完成し、供用開始されるにあたり、地元行政区が主催する完成記念式典と渡り初めが、多くの来賓の出席のもと、盛大に開催された。</p>	 <p>▲駒見橋渡り初め式</p>
<p>3月</p>	<p>5日 7日 12日</p>	<p><u>ウジェスーパーがスマイルロードサポーターに加わる</u> <u>スマイルサポーター意見交換会</u> <u>みやぎ県北高速幹線道路事業計画説明会（～14日）</u> みやぎ県北高速幹線道路第Ⅱ期区間（中田工区）は、登米市中心部の国道346号と三陸縦貫自動車道登米ICを結ぶ4.7km区間について、昨年度に事業着手しており、三陸縦貫自動車道の進捗に併せて整備を進めている。平成24年2月に計画説明会を開催しており、今回、道路詳細設計を踏まえた計画説明会を行う。</p>	 <p>▲みやぎ県北高速幹線道路位置</p>

2.2.気仙沼土木事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	2日	<p><u>新規採用・自治法派遣職員 配属</u></p> <p>事務所に新規採用職員が4名、加えて復旧・復興の即戦力として7都道県から自治法派遣職員が19名配属（技術15名、事務4名）され新年度がスタートした。また、経理班、三陸道用地対策班、災害復旧用地担当及びまちづくり担当を新設、道路建設班を道路建設第1班と道路建設第2班に改組、河川班を河川砂防第1班と河川砂防第2班に改組、砂防班を河川砂防第3班に改称し組織を改編強化した。</p>
	3～8日	<p><u>被災市街地復興推進地域内の復旧事業計画に係る説明会 開催</u></p> <p>気仙沼市主催の説明会の中で、土木事務所が管理する鹿折川、大川・気仙沼港（商港）、面瀬川について、復旧概要、今後のスケジュール等について説明するとともに測量調査の協力をお願いした。主な質問としては、堤防高さの決定方法、今後のスケジュール等について質問がなされた。</p>
		
	13日	<p><u>本町橋架換工事 橋梁上部工完了</u></p> <p>平成14年度から事業を推進していた気仙沼唐桑線の本町橋は、老朽化が著しく一次緊急輸送道路に指定されていることから早期完成が望まれているが、橋梁上部工が完成した。</p>
	17日	<p><u>大島架橋事業 用地買収着手</u></p> <p>二ノ浜・三ノ浜地区の地権者を対象に用地説明会を開催し、買収面積及び単価を提示した。5月22日に大島架橋事業で第一号となる用地売買契約を締結し用地買収に着手した。</p>
	27日	<p><u>馬場只越線 被災2箇所の本復旧工事 完了</u></p> <p>一般県道馬場只越線で東日本大震災により被災を受けた2箇所の本復旧工事が完了した。</p>
5月	1日	<p><u>任期付き職員 配属</u></p> <p>公共土木施設復旧に伴う業務量増加に対応するために採用された技術職員が5名配属された。</p>
	3日	<p><u>5月3日から5月4日にかけての豪雨</u></p> <p>太平洋沿岸を発達しながら進んだ低気圧の影響で、5月3日から4日にかけて雨量220mmの豪雨が襲い、管内の道路・河川が被災した。</p>
	18日	<p><u>平野復興大臣 現地視察</u></p> <p>平野復興大臣と郡復興大臣政務官が南三陸町の復興状況を視察された。視察後、佐藤南三陸町長から復興まちづくりへの要望が出され、「人的支援」「防集・区画整理事業」「形の見える復興」について意見交換が行われた。</p>

5月 24日 弘川ダム本体建設工事 最終打設式挙行

間組・若生工業特定建設工事共同企業体主催の弘川ダム本体建設工事最終打設式が挙行された。当日は高橋土木部次長をはじめ、佐藤南三陸町長、県議会議員、南三陸町議会議員、地元関係者、工事関係者など約50名の出席のもと執り行われ、今後10月には設備工事も含めたダム本体が完成し、試験湛水を行う予定である。



来賓方の集合写真



下流からのダム全景

27日 気仙沼大島ランフェスタ開催に向け仮舗装工事 実施

県道大島線は東日本大震災で津波による流出被害を受けたが、地元島民の有志が立ち上がり、島民の力で復興マラソン「気仙沼大島ランフェスタ」を開催することが決定され、気仙沼土木事務所としてもその開催を支援するため、マラソンコースに指定された県道大島線の仮舗装工事を実施し大会前日までに完了させた。



災害復旧応急工事完了後



仮舗装工事完了後

28日 御崎港復旧工事説明会 開催

御崎港災害復旧工事の開始に伴い工事への理解と協力を求めるため、港湾を利用する関係者に対して説明会を開催した。

会場：気仙沼市崎浜集会所（参加者数25名）



工事説明会状況

5月	28日	<p><u>5月3日の豪雨による災害 応急復旧完了（鹿折川）</u> 豪雨で被災した鹿折川の応急工事が完了。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="357 183 892 595">  <p style="text-align: center;">被災状況（5月4日）</p> </div> <div data-bbox="938 188 1473 595">  <p style="text-align: center;">応急復旧完了（5月28日）</p> </div> </div>
6月	1日	<p><u>任期付き職員 配属</u> 公共土木施設復旧に伴う業務量増加に対応するために採用された技術職員が1名増員された。</p> <p>12日 <u>清水浜志津川港線の応急工事 完了</u> 東日本大震災の津波により道路が流出し、全面通行止めとなっていた(一)清水浜志津川港線の南三陸町志津川字本浜町地内において、仮復旧工事が完了し供用開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 900 863 1267">  <p style="text-align: center;">道路復旧前</p> </div> <div data-bbox="903 900 1406 1267">  <p style="text-align: center;">道路復旧後</p> </div> </div> <p>18日 <u>泊崎半島線の応急工事 完了</u> 東日本大震災の津波により道路が流出し、全面通行止めとなっていた(一)泊崎半島線の南三陸町歌津字館浜地内において、仮復旧工事が完了し供用開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="357 1482 831 1836">  <p style="text-align: center;">道路復旧前</p> </div> <div data-bbox="930 1482 1406 1836">  <p style="text-align: center;">道路復旧後</p> </div> </div> <p>21日 <u>南三陸町泊崎半島エリア災害復旧事業説明会 開催</u> 泊崎半島エリアは、4者（県土木事務所、県水産漁港部、県農林振興部、町建設課）が各々管理する漁港、海岸、河川の公共土木施設に関する災害復旧説明会を開催した。地域住民の参加者数は48名にのぼり、県道に関する質問等があった。</p>

26日 気仙沼市本吉町大谷東・中郷地区災害復旧事業説明会 開催

気仙沼市大谷東・中郷地区において、3者（宮城北部森林管理署，気仙沼市建設部，気仙沼土木事務所）が各々管理する林野海岸，市道（橋），河川・建設海岸の公共土木施設に関する災害復旧説明会を開催した。地域住民が約50名参加し，河川工事の工期や排水管等に関する質問があり，災害復旧事業に対する関心の高さが伺えた。



説明会の様子

28日 気仙沼市・南三陸町震災復旧事業連絡調整合同会議 開催

災害復旧工事の発注が平成27年度までの短期間に集中し，建設資材の供給不足が懸念されることから，行政機関，建設業者団体及び資材供給者が集まり情報交換を行った。

29日 気仙沼唐桑線 被災5箇所の本復旧工事 完了

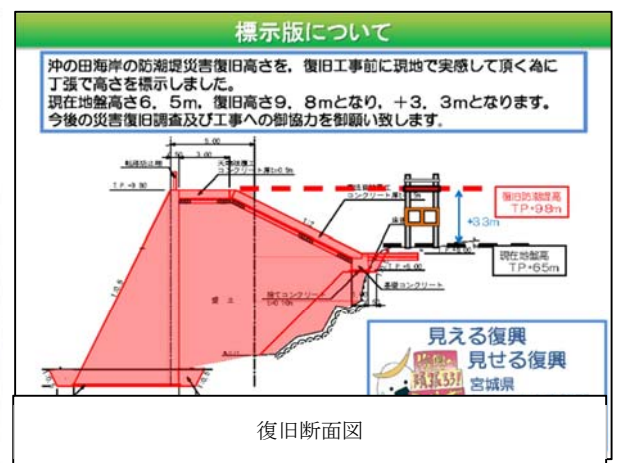
主要地方道気仙沼唐桑線で東日本大震災により被災を受けた5箇所の本復旧工事が完了した。

7月 3日 沖の田海岸 防潮堤復旧高 標示

6月26日の説明会の時に地元から「復旧高さを標示して欲しい」と要望があり，災害復旧事業に理解を深めてもらうために現地に防潮堤の復旧高さを標示した。



復旧高さ標示様子



復旧断面図

4日 南三陸町港地区災害復旧事業説明会 開催

港地区において，南三陸町役場，気仙沼土木事務所が各々管理する町漁港，町道と港川の公共土木施設に関する災害復旧事業説明会を開催した。地域住民が約80名出席し，河川のルート，橋梁や用地に関する質問等があり，地域の方々の災害復旧に対する関心の高さが伺えた。



説明会の様子

<p>9～13 日</p>	<p><u>災害査定 受検</u></p>	<p>5月3日の豪雨により被災した箇所について、気仙沼土木事務所からは18件（道路3件、河川15件）の災害査定を受検した。</p>
<p>11～29 日</p>	<p><u>海岸防潮堤等の整備に関する市民説明会及び意見交換会 開催</u></p>	<p>気仙沼市沿岸部を12地区に分割し、災害復旧事業等の計画について市民説明会を実施した。市沿岸部は海岸管理者が混在していることから、説明会では管理者毎に説明を行い意見交換がなされた。主な意見としては、防潮堤の高さの決定方法、今後のスケジュール、用地買収等に関する質問がなされた。また、景観・環境への配慮や避難ビル・避難道の整備などを求める声もあげられた。</p>
		
		<p>説明会の様子</p>
<p>17日</p>	<p><u>一般町道西戸線 西戸橋仮橋設置工事 完成</u></p>	<p>東日本大震災の津波により流出した折立川に架かる町道橋を仮復旧し、車両の通行が可能となった。西戸橋は南三陸町で管理する橋であるが、「東北地方太平洋沖地震による災害復旧事業に係る業務施行に関する協定」に基づき、県が工事を施行した。</p>
<p>23日</p>	<p><u>南三陸町戸倉地区災害復旧事業説明会 開催</u></p>	<p>戸倉地区において、気仙沼土木事務所、南三陸町が各々管理する建設海岸・国道、漁港海岸の公共土木施設に関する災害復旧説明会を開催した。地域住民が約30名出席し、国道の位置や堤防の必要性等について質問があり、災害復旧事業に対する関心の高さが伺えた。</p>
<p>31日</p>	<p><u>気仙沼本吉線 被災1箇所、馬籠志津川線 被災3箇所の本復旧工事 完了</u></p>	<p>主要地方道気仙沼本吉線で被災を受けた1箇所、一般県道馬籠志津川線で被災を受けた3箇所の本復旧工事が完了した。</p>
<p>8月 2日</p>	<p><u>復興交付金事業 気仙沼唐桑線 東舞根道路改良事業計画説明会 開催</u></p>	<p>主要地方道気仙沼唐桑線の東舞根地区において、復興交付金事業の説明会を開催した。東舞根道路改良事業は舞根地区の孤立集落防止、防災集団移転地区と唐桑中心部を繋ぐ意味でも重要性の高い事業であり、住民の関心も高く70名以上の方が参加された。</p>
		
		<p>説明会の状況</p>

2日	<p><u>大島架橋事業用地境界立会の完了</u></p> <p>平成23年12月から順次立会を進めてきた大島磯草地区から国道45号までの大島架橋事業計画区間約6.4kmの事業予定地及びその隣接地に係る用地境界確認の立会が完了した。</p>
6日	<p><u>気仙沼港海岸 災害復旧高さ標示板・復旧計画看板 設置</u></p> <p>気仙沼港の防潮堤（胸壁）の復旧計画を理解してもらうため、現地に復旧高さ標示板と復旧計画看板を2箇所を設置した。</p> 
20日	<p><u>桜川及び県道清水浜志津川港線の災害復旧事業計画説明会 開催</u></p> <p>南三陸町清水地区災害危険区域指定に係わる説明会に出席し、桜川及び県道清水浜志津川港線の災害復旧事業計画について、災害復旧内容や工事による用地影響範囲、断面形状、今後のスケジュール等を参加した住民約70名に説明した。参加者から、用地買収の時期や内水の排水方法等の質問があった。</p>
28日	<p><u>大島線 被災18箇所の本復旧工事 完了</u></p> <p>一般県道大島線で東日本大震災により被災を受けた18箇所の本復旧工事が完了した。</p>
31日	<p><u>戸倉海岸災害復旧着工式 挙行</u></p> <p>宮城県と南三陸町は、本吉郡南三陸町戸倉字長須賀地内において「戸倉海岸災害復旧工事着工式」を開催した。式典では郡和子復興大臣政務官、小野寺五典衆議院議員をはじめ、関係者約50名に参列をいただき、被災者を悼む黙祷の後、主催者代表から挨拶を行い、来賓の方々から祝辞を賜り、工事の安全と早期完成を祈念し鍬入れが執り行なわれた。</p>  
9月	<p>3日 <u>気仙沼土木復旧・復興だより（NO.1）発行</u></p> <p>気仙沼土木事務所管内の復旧復興の進捗状況を広く県民の皆さんにお知らせするため、「気仙沼土木復旧・復興だより」を発行し、事務所ホームページで情報提供を開始した。</p>
10月	<p>1日 <u>派遣職員 配属</u></p> <p>公共土木施設復旧に伴う業務量増加に対応するために用地担当職員が増員された。</p>

<p>10月</p>	<p>16日</p>	<p><u>津谷川及び中島海岸の災害復旧事業計画説明会 開催</u></p> <p>災害復旧事業計画について、災害復旧内容や工事による用地影響範囲、断面形状、今後のスケジュール等を参加した住民約120名に説明した。参加者から、内水の排水方法等の質問があった。</p>
	<p>22日</p>	<p><u>(主) 気仙沼陸前高田線 被災4箇所の本復旧工事が完了</u></p> <p>主要地方道気仙沼陸前高田線で被災を受けた4箇所の本復旧工事が完了した。</p>
<p>11月</p>	<p>1日</p>	<p><u>職員（三陸道用地対策班） 配属</u></p> <p>三陸沿岸道路事業促進に伴う業務量増加に対応するために用地担当職員が2名増員された。</p> <p><u>気仙沼土木復旧・復興だより（NO.2）発行</u></p> <p>管内の災害復旧着手率は、道路・河川・港湾を合わせた箇所ベースで約76%、金額ベースで約5%（10月末現在）</p> <p><u>弘川ダムのダム湖命名式及び試験湛水式 挙行</u></p> <p>宮城県は、本吉郡南三陸町歌津字弘川地内において「弘川ダム湖命名式・弘川ダム試験湛水式」を開催した。式典では小野寺五典衆議院議員をはじめ、関係者約60名に参列をいただき、主催者代表から挨拶を行い、来賓の方々から祝辞を賜り、ダム湖命名板の除幕及び転流工ゲート閉塞が執り行なわれた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="319 952 885 1377">  <p style="text-align: center;">来賓方の集合写真</p> </div> <div data-bbox="901 952 1468 1377">  <p style="text-align: center;">関係者による除幕</p> </div> </div> <p>14日 <u>気仙沼港商港岸壁災害復旧工事着工式 挙行</u></p> <p>宮城県と気仙沼市は、気仙沼市朝日町地内において「気仙沼港商港岸壁災害復旧工事着工式」を開催した。式典では小野寺五典衆議院議員をはじめ、来賓、関係者約100名に参列をいただき、黙祷の後、主催者からの挨拶、復旧工事概要説明を行い、工事の安全と早期復旧を祈念し鍬入れが執り行なわれた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="319 1624 885 2038">  <p style="text-align: center;">関係者による鍬入れ</p> </div> <div data-bbox="901 1624 1468 2038">  <p style="text-align: center;">着工開始</p> </div> </div>

	15日	<u>三陸沿岸道路用地補償契約会 開催</u> 唐桑地区において、地権者と20件の用地補償契約を締結した。
	30日	<u>気仙沼土木復旧・復興だより (NO.3) 発行</u> 管内の災害復旧着手率は、道路・河川・港湾を合わせた箇所ベースで約80%、金額ベースで約5% (11月末現在) <u>(主) 気仙沼本吉線 被災2箇所、(一) 馬籠志津川線 被災2箇所、(国) 346号 被災3箇所の本復旧工事が完了</u> 主要地方道気仙沼本吉線で被災を受けた2箇所、一般県道馬籠志津川線で被災を受けた2箇所、(国) 346号で被災を受けた3箇所の本復旧工事が完了した。
1月	1日	<u>派遣職員 配属</u> 公共土木施設復旧に伴う業務量増加に対応するために用地担当職員が1名増員された。
	9~10日	<u>三陸沿岸道路用地補償契約会 開催</u> 気仙沼北地区において、地権者と31件の用地補償契約を締結した。
	17日	<u>三陸沿岸道路用地補償契約会 開催</u> 本吉地区において、地権者と14件の用地補償契約を締結した。
	23日	<u>大島架橋事業着工式 挙行</u> 宮城県と気仙沼市は、気仙沼市二ノ浜地区でのトンネル工事着手の祝着と事業中の安全及び早期完成を祈念して「大島架橋事業着工式」を開催した。式典では来賓に谷公一復興副大臣及び気仙沼大島架橋促進期成同盟会の皆様をはじめ、本事業の推進に御尽力いただいている約50名の関係者に参列をいただき、鍬入れや記念撮影が執り行われた。
		 <p>来賓方の集合写真</p>
		 <p>関係者による鍬入れ</p>
	23~24日	<u>三陸沿岸道路用地補償契約会 開催</u> 気仙沼南地区において、地権者と24件の用地補償契約を締結した。(延べ契約率約24%)
2月	6日	<u>協議設計 2箇所保留解除</u> 稲淵川及び泊崎半島線の協議設計箇所が保留解除された。
	12日	<u>((国) 284号 被災4箇所、(一) 上八瀬気仙沼線 被災3箇所の本復旧工事が完了</u> 国道284号で被災を受けた4箇所、一般県道上八瀬気仙沼線で被災を受けた3箇所の本復旧工事が完了した。

14日 気仙沼唐桑線 本町橋開通式 挙行

宮城県と気仙沼市は、気仙沼市本郷地内において「本町橋開通式」を開催した。式典では菅原茂気仙沼市長をはじめ、来賓、関係者約60名に参列をいただき、主催者からの挨拶、来賓の方々から祝辞を賜り、本町橋開通を祝してテープカット・くす玉開披が執り行なわれた。



関係者によるテープカット・くす玉開披



本町橋 側面

26日 (主) 気仙沼本吉線 被災5箇所の本復旧工事が完了

主要地方道気仙沼本吉線で被災を受けた5箇所の本復旧工事が完了した。

23. 仙台塩釜港湾事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	27日	<p><u>ガントリークレーン3号機復旧</u></p> <p>3号機が復旧したことにより、高砂ふ頭にあるガントリークレーン4機が全て使用可能となり、一層の荷役の効率化が図られるようになった。</p>
		 <p>▲ガントリークレーン3号機復旧後</p>
5月	17日	<p><u>中国／韓国コンテナ定期航路再開</u></p> <p>中国／韓国航路は既に釜山、寧波、上海等を経由する航路は再開されていたが、新たに、中国／韓国航路（釜山・蔚山・光陽・大連・青島・釜山等経由）が再開し、国際コンテナ定期航路は4航路が再開した。（震災前5航路）</p>
		 <p>▲荷役風景</p>
6月	2日	<p><u>塩釜港区岸壁復旧工事着手</u></p> <p>塩釜港区貞山2号岸壁の復旧工事に着手。（塩釜港区では最初の岸壁復旧工事着手となる。）</p>
		 <p>▲貞山2号岸壁エプロン取り壊し</p>
		 <p>▲貞山2号岸壁鋼管矢板打設</p>

6月

16日

仙台港区新北防波堤復旧工事着手

仙台港区では県が施工する唯一の防波堤復旧工事。(他の防波堤は国が施工) 60~70cm 沈下した防波堤を元の高さに戻す。復旧に必要な消波ブロックは5月16日から製作を始めている。



▲新北防波堤被覆石撤去



▲新北防波堤上部コンクリート打設

22日

仙台港区臨港道路復旧着手

仙台港区の臨港道路は車両が通行不能になる程の大きな被害はほとんどなかったが、路面に多数のひび割れ等があり、アスファルト舗装の復旧工事を行う。



▲ふ頭5号線路面切削状況



▲ふ頭5号線路工完了

7月19日(最初の完了箇所)

7月

9日

仙台港区高砂ふ頭船舶給水施設復旧


地震及び津波により給水施設が損壊し、船舶への給水が出来ない状況であったが、これにより給水が可能となった。今後、中野ふ頭等の給水施設についても順次復旧を進めていく。



▲給水タンク復旧



▲給水管の洗浄状況

7月	12日	<p><u>塩釜港区貞山1号上屋復旧着手</u></p> <p>津波により被災した上屋の改築工事に着手。まず、既存上屋の解体工事を施工し、その後、耐震性を高めた、より使いやすい上屋に改築する。</p>	 <p>▲既存上屋の解体</p>
9月	7日	<p><u>仙台臨海鉄道完全復旧</u></p> <p>津波被害により運休となっていた仙台臨海鉄道は、仙台北港駅－仙台港駅間が運転を再開し、既に再開していた区間と合わせて完全復旧した。</p> <p>これにより石油製品の輸送が始まり、震災からの復興に大きく寄与するものと期待される。</p>	 <p>▲石油製品を輸送する仙台臨海鉄道</p>
9月	26日	<p><u>仙台港区防波堤復旧工事（国施工分）完了</u></p> <p>国が施工している防波堤（4施設）の復旧工事が完了した。東北の港湾では国施工の防波堤としては最も早い完成となった。これにより、高波浪時の船舶航行、荷役作業の安全性が向上する。</p>	 <p>▲南防波堤 コンクリート打設前</p> <p>▲南防波堤 工事完了</p>
10月	12日	<p><u>中野5号ふ頭野積場舗装復旧工事完了</u></p> <p>仙台港区では沈下した荷捌き地、野積場の嵩上げ工事を国が施工する岸壁の嵩上げに合わせて行うが中野地区では当箇所が最初の完了箇所となった。</p> <p>また、舗装工事と合わせて区画線を引き利便性の向上を図った。</p>	 <p>▲中野5号ふ頭野積場</p>

11月	6日	<p><u>仙台塩釜港塩釜港区災害復旧工事推進式</u></p> <p>塩釜港区の災害復旧工事の進捗と利用促進を祈願して推進式を行った。</p>	 <p>▲推進式 鍬入れ</p>
12月	17日	<p><u>高松ふ頭舗装復旧工事完了</u></p> <p>高松ふ頭については、ソーラスフェンスの復旧を除いて、復旧工事が完了した。</p> <p>今後、北側の護岸復旧工事に合わせてフェンスの復旧を行っていく。</p>	 <p>▲高松ふ頭舗装完了</p>
12月	20日	<p><u>仙台港区新北防波堤復旧工事完了</u></p> <p>県施工の復旧工事では舗装以外で最初の完了箇所となった。これにより、国が施工したものと合わせて、仙台港区の防波堤は復旧が完了した。</p>	 <p>▲新北防波堤復旧完了</p>
1月	24日	<p><u>(仮称) 新高松ふ頭埋立工事開始</u></p> <p>既に岸壁工事は国施工で着手していたが、背後のふ頭用地整備のための埋立工事に着手した。</p> <p>(仮称) 新高松ふ頭は高松作業船船溜まりを埋立で-14m岸壁を整備することにより、貨物の増加、穀物船の大型化に対応するもの。</p>	 <p>▲埋立開始</p>

24. 石巻港湾事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）		
4月	1日	<p><u>自治法派遣職員辞令伝達式 実施</u></p> <p>石巻港湾事務所には秋田県から5名、富山県から昨年度末より1名多い3名の計8名が配属された。</p>		
5月	11日	<p><u>臨港道路 雲雀野中央線災害復旧（その2）工事完了</u></p> <p>雲雀野中央線約1.1kmの復旧を行った。</p>	 <p>雲雀野中央線復旧後</p>	
	18日	<p><u>臨港道路 釜北線災害復旧（その3）工事完了</u></p> <p>釜北線約3kmのうち約1.1kmの復旧を行った。</p>		
	31日	<p><u>臨港道路 釜北線災害復旧（その2）工事完了</u></p> <p>釜北線約3kmのうち800mの復旧を行った。</p>		 <p>釜北線（その2）工事復旧後</p>
			 <p>釜北線（その3）工事復旧後</p>	
6月	4日	<p><u>石巻港 災害復旧工事 着工式</u></p> <p>石巻市、東松島市と共催で約150名の来賓および関係者出席のもと、石巻港の災害復旧工事着工式を執り行った。</p>	 <p>石巻港災害復旧工事着工式（鉄入れ）</p>	 <p>石巻港災害復旧工事着工式（着工の様子）</p>

6月	29日	<p><u>表浜港 防波堤災害復旧工事完了</u></p> <p>防波堤を約1m嵩上げし、被災前の高さに復旧した。</p>	
7月	25日	<p><u>海上自衛隊護衛艦「たかなみ」一般公開</u></p> <p>東日本大震災時にいち早く洋上に展開し救助活動を行った海上自衛隊護衛艦「たかなみ」の表敬寄港が行われ2日間の一般公開で約1,700人の来場があった。</p>	<p>護衛艦「たかなみ」</p> 
8月	6日	<p><u>石巻工業港西水路災害復旧（その1）工事完了</u></p> <p>津波による堆積物を撤去し、水路の水深を確保した。</p>	
8月	7日	<p><u>石巻港 日和岸壁ニューマチックアンローダー基礎災害復旧工事完了</u></p> <p>港湾荷役機械が再び利用できるよう復旧を行った。</p>	






8月	8日	<p><u>石巻港 復旧見学会</u></p> <p>国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所と共催で一般応募の小中学生 25 名，保護者 18 名，および港湾利用者等 10 名，行政関係者 7 名の計 60 名に対し，現場説明会を実施した。</p>	 <p>石巻港復旧見学会（南防波堤）</p>
8月	27日	<p><u>臨港道路 雲雀野中央線災害復旧（その1）工事完了</u></p> <p>雲雀野中央線外 8 路線約 2.3km の復旧を行った。</p>	 <p>北 9 号線復旧後</p>  <p>雲雀野西 1 号線復旧後</p>
9月	24日	<p><u>大型客船「にっぽん丸」寄港</u></p> <p>復興にむけ応援の意味も含め寄港。寄港に際しては歓迎式典や観光地・被災地を回るオプションツアーも企画され、一般には船内見学会を開催。</p>	<p>26日 <u>大型客船「ばしふいつくびいなす」寄港</u></p> <p>復興にむけ応援の意味も含め寄港。寄港に際しては歓迎式典や観光地・被災地を回るオプションツアーも企画され、一般には船内見学会を開催。</p>
		<p>「にっぽん丸」</p> 	<p>「ばしふいつくびいなす」</p> 

10月	3日	<p><u>石浜岸壁部分供用開始</u></p> <p>女川地域の産業であるサンマ漁に合わせ女川港石浜地区岸壁の一部を完成し、供用を開始した。</p>
	17日	<p><u>女川湾口防波堤 災害復旧工事 着工式</u></p> <p>女川町と共催で約100名の来賓および関係者出席のもと、女川湾口防波堤の災害復旧工事着工式を執り行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="371 439 874 808">  <p>女川湾口防波堤着工式（鋳入れ）</p> </div> <div data-bbox="970 439 1473 808">  <p>女川湾口防波堤着工式（着工の様子）</p> </div> </div>
11月	19日	<p><u>石巻工業港西水路災害復旧（その2）工事完了</u></p> <p>津波による堆積物を撤去し、水路の水深を確保した。</p>
	13日	<p><u>荻浜港物揚場部分供用開始</u></p> <p>荻浜地域の産業であるかき養殖業に合わせ物揚場の一部を完成し、供用を開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="371 1081 874 1451">  <p>石浜岸壁部分供用開始</p> </div> <div data-bbox="970 1081 1473 1451">  <p>荻浜港物揚場部分供用開始</p> </div> </div>
12月	5日	<p><u>昭和瀝青工業株式会社東北営業所・東北工場・東北油槽所開設</u></p> <p>震災復興を後押しするアスファルト製造・販売の営業所が石巻港内の重吉町に開設され、震災後としては初の港湾区域内への新規企業進出となった。</p> <div data-bbox="970 1563 1473 1933">  <p>昭和瀝青東北工場竣工式</p> </div>

<p>平成 25年 1月</p>	<p>30日</p>	<p><u>女川湾口防波堤 災害復旧工事 ケーソン進水</u> 仙台塩釜港石巻港区内で製作していた鉄筋コンクリート製のケーソンの一部が完成し、海上仮置場へ移設（進水）を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="375 324 877 698">  <p style="text-align: center;">湾口防波堤災害復旧工事</p> </div> <div data-bbox="973 324 1476 698">  <p style="text-align: center;">湾口防波堤災害復旧工事</p> </div> </div>
<p>2月</p>	<p>12日</p>	<p><u>雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧工事完了</u> 地震による沈下・津波により損壊した荷捌地を復旧した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="375 851 877 1225">  <p style="text-align: center;">雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧工事復旧後</p> </div> <div data-bbox="973 851 1476 1225">  <p style="text-align: center;">雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧工事復旧後</p> </div> </div>
	<p>19日</p>	<p><u>中島3号岸壁の供用開始</u> 中島15,000t岸壁外災害復旧工事において先行して完成した中島3号岸壁の供用を開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="391 1377 885 1751">  <p style="text-align: center;">中島3号岸壁復旧後</p> </div> <div data-bbox="973 1377 1476 1751">  <p style="text-align: center;">中島3号岸壁復旧後</p> </div> </div>

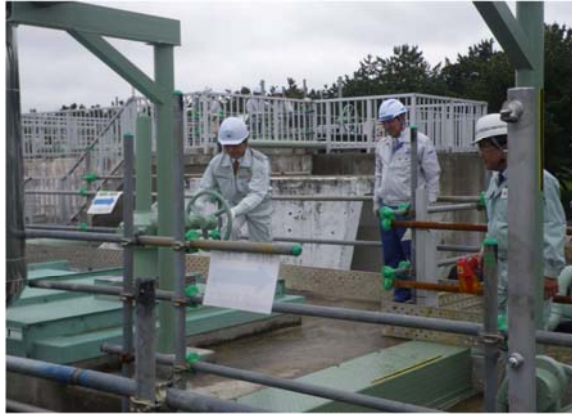
2月	20日	<p><u>雲雀野地区 震災廃棄物の埋立開始</u></p> <p>東日本大震災に伴い発生した震災廃棄物の処分を支援する廃棄物埋立護岸 L=458.6m の内、一次仮締切 L=418.6m を完了し、震災廃棄物焼却灰等の埋立を開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 322 898 692">  <p>雲雀野廃棄物埋立護岸（一次締切完了）</p> </div> <div data-bbox="991 322 1493 692">  <p>雲雀野廃棄物埋立護岸（埋立開始）</p> </div> </div>
3月	上旬	<p><u>公用車車庫復旧工事完了</u></p> <p>津波により流出した公用車車庫兼書庫棟を復旧し、駐車場等の改修と合わせ事務所の復旧が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 887 898 1256">  <p>事務所車庫復旧後</p> </div> <div data-bbox="991 887 1493 1256">  <p>事務所復旧後</p> </div> </div>
3月	中旬	<p><u>臨港道路 釜北線（その1）外災害復旧工事完了</u></p> <p>釜北線約 1km，東1号線約 0.9km，東海岸線約 1.8km の復旧を行った。</p> <p><u>南浜岸壁部分供用開始</u></p> <p>南浜岸壁外災害復旧工事において、先行して完成した南浜岸壁の一部について供用を開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1547 898 1917">  <p>釜北線（その1）工事復旧後</p> </div> <div data-bbox="991 1547 1493 1917">  <p>南浜岸壁復旧後</p> </div> </div>

25.中南部下水道事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	18日	<p><u>県南浄化センター 水処理第2系列供用開始</u></p> <p>平成23年7月から仮設送風機設備により実施してきた「簡易曝気処理」から、送風機設備の復旧により、水処理施設段階的復旧の最終段階である生物処理に移行した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 「最初沈殿池」被災状況 「最初沈殿池」復旧状況 </div>
4月	25日	<p><u>仙塩浄化センター 下水処理開始式</u></p> <p>平成23年6月から仮設送風機設備を稼働させて実施していた「簡易曝気処理」から、送風機設備等の一部復旧に伴い生物処理を開始した。（生物処理能力は全体能力比50%）</p> <div style="text-align: center;">  <p>反応タンクへの送風開始</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「反応タンク」被災直後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>復旧完了 生物処理再開</p> </div> </div>

5月 23日 県南浄化センター 水処理第3系列供用開始・マスコミ公開

水処理第3系列の供用開始に合わせ、浄化センターの復旧状況をマスコミ公開した。
(テレビ局5社、新聞社3社)



菅原下水道課長による
第3系列通水開始



最初沈殿池
通水開始状況

6月 6日 仙塩浄化センター バイパス水路復旧完了

大雨時等に施設の処理能力以上の汚水の流入が発生した場合に、処理しきれない汚水がマンホールから溢水する可能性があるため、処理能力超過分をバイパス水路により沈殿池へ送水し、沈殿消毒した後に放流している。梅雨の出水期を前に復旧が完了した。



バイパス管接続状況



バイパス水路使用状況

6月 29日 県南浄化センター 送風機設備復旧完了


生物処理を行うために必要な空気を送る送風機は、全5台が復旧し、震災前と同等の送風能力になった。



送風機設備被災後
ガレキ・土砂堆積状況



送風機設備復旧完了

7月	9日	<p>仙塩浄化センター 汚水ポンプ復旧完了</p> <p>流入した汚水を水処理施設へ揚水する汚水ポンプが全4台復旧し、震災前と同等のポンプ能力になった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 230 841 595">  <p>5号汚水ポンプ被災後</p> </div> <div data-bbox="951 230 1439 595">  <p>5号ポンプ復旧完了</p> </div> </div>
7月	31日	<p>県南浄化センター 水処理第4系列供用開始(水処理施設復旧完了)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="325 651 863 1032">  <p>第4系列最終沈殿池復旧・処理状況</p> </div> <div data-bbox="887 779 1481 857"> <p>水処理施設第4系列の供用開始により、全系列復旧完了となった。</p> </div> </div>
8月	2日	<p>県南浄化センター 機械濃縮設備供用開始</p> <p>汚泥減量化を図る機械濃縮設備が全3台復旧し、重力濃縮槽と合わせて濃縮設備が震災前と同等に復旧した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 1189 863 1554">  <p>機械濃縮設備被災後</p> </div> <div data-bbox="946 1189 1452 1554">  <p>機械濃縮設備復旧完了</p> </div> </div>
8月	6日	<p>県南浄化センター 沈砂池設備供用開始</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="296 1615 890 2040">  <p>沈砂池設備沈砂掻揚機復旧状況</p> </div> <div data-bbox="938 1727 1485 1861"> <p>流入した汚水から砂分等を除去する沈砂掻揚機が全2台復旧し、震災前と同等の能力となった。</p> </div> </div>

8月	7日	<p><u>仙塩浄化センター 自家用発電機浸水対策完了</u></p> <p>自家用発電機は津波により水没して機能停止となったため、自家用発電機を津波から防護するための対策としてのコンクリート製防護壁が完成した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 230 842 595">  <p>自家用発電機 津波による浸水状況</p> </div> <div data-bbox="951 230 1441 595">  <p>浸水対策完了 コンクリート製防護壁 H=1.5m</p> </div> </div>
9月	29日	<p><u>県南浄化センター 放流渠復旧完了</u></p> <p>浄化した水を太平洋に放流するための放流渠は、津波により消波ブロックの流出などの被災があったが、震災前と同等に復旧した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="352 795 868 1182">  <p>放流渠被災状況</p> </div> <div data-bbox="922 795 1441 1182">  <p>放流渠復旧状況</p> </div> </div>
10月	10日	<p><u>県南浄化センター 第一・第二脱水機棟復旧完了</u></p> <p>県南浄化センター内5台の脱水機設備が設置されている第一・第二脱水機棟の建築が復旧した。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div data-bbox="352 1279 868 1659">  <p>津波の襲来により、電気室内の全ての 配電盤等の設備が被災した</p> </div> <div data-bbox="922 1279 1441 1659">  <p>電気室を守るため全ての窓を コンクリートにより閉塞し復旧した</p> </div> <div data-bbox="352 1659 868 2036">  <p>設備の搬入口については、耐水扉を設置し復旧した。</p> </div> <div data-bbox="922 1659 1441 2036">  </div> </div>

11月

9日

県南浄化センター 管理棟復旧完了

津波により2階床上まで浸水・被災した管理棟が復旧した。



1階正面玄関被災状況



1階正面玄関状況



ガスホルダーの衝突により被災した
3階東側バルコニー



3階東側バルコニー状況

11月

30日

仙塩浄化センター機械濃縮機本復旧完了



補機類の浸水により機能停止



12月

12日

仙塩浄化センター 汚水ポンプ本復旧完了








全台数が本復旧完了。震災前と同等の汚水揚水量が確保できるようになった。



補機類の浸水により機能停止



復旧完了

<p>H25 1月</p>	<p>22日</p>	<p><u>県南浄化センター 汚泥脱水設備復旧完了</u></p>  <p>第二脱水機棟に設置された遠心脱水機2台が復旧し、脱水能力が震災前と同等に復旧した。</p> <p>復旧した自家発電設備</p>
<p>1月</p>	<p>25日</p>	<p><u>仙塩浄化センター 汚泥焼却施設運転開始</u> 本復旧工事が完了して汚泥の焼却が開始した。</p>   <p>炉内クラック</p>  <p>炉内復旧完了</p>
<p>2月</p>	<p>7日</p>	<p><u>水処理施設全系列復旧完了</u> 水処理施設の復旧がすべて完了して、処理水質は震災前と同等へ回復した。</p>   <p>送風機被災後</p>  <p>送風機復旧完了</p>

26.東部下水道事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	19日	<p>石巻東部浄化センター 簡易生物処理 開始</p> <p>水処理方法を「沈殿＋消毒」から「簡易生物処理＋消毒」へ移行し、処理水質が向上した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲水処理施設の簡易生物処理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲水処理施設の簡易生物処理（全景）</p> </div> </div>
6月	12日	<p>石巻東部浄化センター 脱水機棟新電気室へ受変電設備機器搬入</p> <p>汚泥処理施設へ電源を供給するための機器が搬入され、設置が完了した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲機器搬入状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲機器設置完了</p> </div> </div>
	13日	<p>石巻浄化センター場内災害復旧工事 完成</p> <p>被災した処理場内の舗装や側溝等と場外放流渠の水路の復旧工事が完成した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲石巻浄化センター復旧後</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲放流渠水路復旧後</p> </div> </div>

6月 18日 若柳第1ポンプ場内管渠応急復旧工事 完成

被災したポンプ場内の管渠や舗装等の復旧工事が完了した。



▲若柳第1ポンプ場復旧後

27日 石巻東部浄化センター 脱水機棟電気室
建築工事 完成

1階にあったため浸水した電気室・監視室を2階へ移設した。



▲施工前の空きスペース状況



▲電気室・監視室完成

7月 12日 石巻東部浄化センター 脱水機棟新監視室へ監視装置設備機器搬入

汚泥処理施設を監視操作するための機器が搬入され、設置が完了した。



▲監視装置被災状況



▲監視装置設置完了

31日 石越浄化センター場内災害復旧工事 完成

被災した処理場内の舗装や建物周辺の土間コンクリートの復旧工事が完了した。



▲石越浄化センター復旧後



▲石越浄化センター復旧後

8月 20日

石巻東部浄化センター 純酸素発生装置復旧完了

純酸素発生装置の試運転調整を完了した。



▲純酸素発生装置試運転調整完了

石巻東部浄化センター 1系水処理施設 最終沈殿池へ汚水流入開始

1系水処理施設最終沈殿池へ汚水を流入させ、水処理の立ち上げを開始した。



▲流入時状況

8月 23日

石巻東部浄化センター 水質測定装置復旧完了

浄化センターへ流入する汚水の水質、浄化センターから放流する水質の測定を開始した。



▲流入水質測定装置設置状況

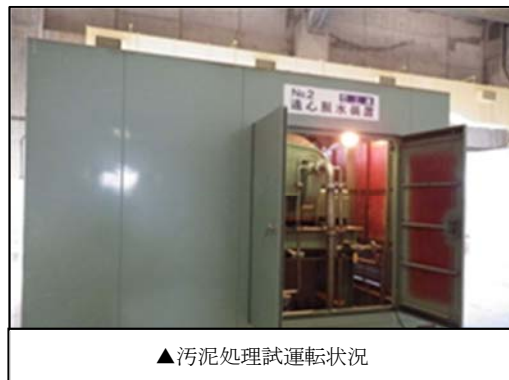


▲放流水質測定装置設置状況

27日

石巻東部浄化センター 脱水機試運転開始

脱水機へ汚泥を供給し、汚泥処理施設の試運転を開始した。



▲汚泥処理試運転状況



▲汚泥処理試運転状況

9月

3日

石巻東部浄化センター 汚泥脱水ケーキの搬出開始

汚泥処理施設で発生した脱水ケーキの搬出を開始した。



▲脱水ケーキ搬出状況

18日

石巻東部浄化センター 下水処理開始式を開催

3系列の水処理施設のうち、1系列の水処理を再開した。



▲開始式状況



▲現場説明状況

石巻東部浄化センター 水処理状況

1系列水処理再開後は放流水質が向上しました。



▲処理状況

28日

石巻第6ポンプ場（新棟・旧棟） 機械・電気設備復旧完了

石巻第6ポンプ場（旧棟）のポンプ場を再開した。なお応急工事で稼働していた新棟も電気設備が完了した。



▲細目スクリーン自動除塵機設置状況（旧棟）



▲低圧盤設置状況（新棟）

12月	25日	<p>石巻東部浄化センター 3系水処理施設を再稼働</p> <p>3系列の水処理施設のうち、3系列目の水処理を再開した。 (残る2系列目の水処理施設は H25 年度末復旧予定)</p> <div data-bbox="312 264 823 607">  <p>▲復旧状況 (浄化センター全体平面)</p> </div> <div data-bbox="839 232 1342 607">  <p>▲復旧状況 (3系最終沈殿池)</p> </div>
1月	23日	<p>石巻東部浄化センター 3系反応タンク機械設備、液化酸素設備復旧完了</p> <p>3系反応タンク機械設備、液化酸素設備が完成した。</p> <div data-bbox="312 808 815 1182">  <p>▲復旧状況 (液化酸素設備)</p> </div> <div data-bbox="831 808 1334 1182">  <p>▲復旧状況 (3系反応タンク機械設備)</p> </div>
2月	12日	<p>石巻東部浄化センター 消防検査受検</p> <p>建築機械・電気設備が復旧したことに伴い、石巻消防署の検査を受検した。</p> <div data-bbox="312 1375 815 1749">  <p>▲検査状況</p> </div> <div data-bbox="831 1375 1334 1749">  <p>▲検査状況</p> </div>

20日 石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場 建築機械・電気設備復旧完了

建築機械電気設備復旧工事が完成した。



▲復旧状況（機械：換気設備）



▲復旧状況（電気：照明設備、消防設備）

3月 4日 石巻東部浄化センター 場内土木復旧工事完了

土木復旧工事が完成した。



▲復旧状況（中央管理棟周辺の舗装）



▲復旧状況（塀、門扉の設置状況）

8日 石巻東部浄化センター・石巻第6ポンプ場 建築復旧工事完了

建築復旧工事が完成した。



▲復旧状況（中央管理棟玄関）



▲復旧状況（石巻第6ポンプ場：防水扉の設置）

最後に 石巻東部浄化センター 2系水処理を除き全て復旧完了



▲津波襲来状況（2011.3.11当時）



▲復旧状況（現在）

27. 仙台地方ダム総合事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	18日 及び 26日	<p><u>仙台・宮城【伊達な旅】関連美化活動</u></p> <p>DC春キャンペーン（平成24年4月1日～6月30日）のプレキャンペーンとして、関係機関と共に清掃美化活動を2ダムで実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南川ダム（18日） ・大倉ダム（26日）
5月	3日 ～ 4日	<p><u>洪水警戒体制</u></p> <p>発達した低気圧が本州の太平洋側沿岸を進んだ影響により大雨となり、総雨量が大倉ダムの十里平で213mm、南川ダムで268mmに達した。春先の各ダムが満水に近い状態であったことから、南川ダムでは水位がサーチャージ水位まで残りあと5cmに迫った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 南川ダム湖面状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 非常用洪水吐に残りあと5cmと迫る</p> </div> </div>
6月	19日 ～ 20日 29日	<p><u>洪水警戒体制</u></p> <p>台風4号による大雨のため、管理する6ダム全てにおいて洪水調節を行った。総雨量は七北田ダム及び宮床ダムで159mmを観測。また、大倉ダムでは最大流入量221m³/sを記録した。</p> <p><u>ネーミングライツ看板除幕式</u></p> <p>宮城県と仙台環境開発（株）は、大倉ダム展望スペースに設置したネーミングライツ看板「仙台環境開発大倉ダム」の除幕式を執り行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ ネーミングライツ看板前で記念撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ スラストブロックにも愛称名を表示</p> </div> </div>

7月

31日

白沢河川水位観測所外河川災害復旧工事完了

震災により被災した白沢河川水位観測所及び樽水ダム寺野警報所の復旧工事が完了。

・工事費：40,637,100円

【白沢河川水位観測所】



▲ 白沢河川水位観測所 復旧前
崖の崩落により観測所の機能停止



▲ 白沢河川水位観測所 復旧完了
新たに約70m上流右岸に設置

【樽水ダム寺野警報所】



▲ 寺野警報所 復旧前
仮設の槽にサイレン、スピーカ等を設置



▲ 寺野警報所 復旧完了
サイレン塔は2柱式

1月

21日

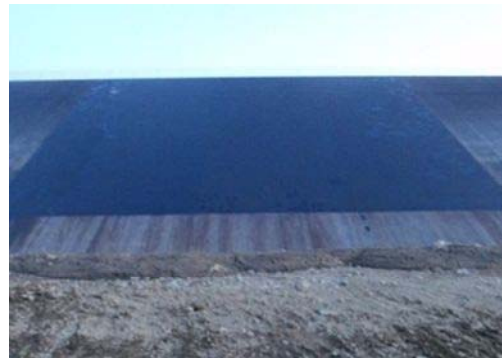
南川ダム河川災害復旧外工事完了

震災により被災した南川鞍部ダムの復旧工事が完了。

・工事費：19,620,300円



▲ 南川鞍部ダム 復旧前
表面遮水層に亀裂が発生



▲ 南川鞍部ダム 復旧完了
遮水性密粒度AS及び表面保護層を設置

1月	末日	<u>ダムの見学者数について</u> 昨年度 1,261 名（27 団体）まで落ち込んだ見学者数については，本年度（平成 25 年 1 月末現在）で 2,960 名（50 団体）と震災前の水準まで復活した。なお，見学者のほとんどを小学生（4 学年）が占めている。また，平成 24 年度の出前講座は，のべ 10 団体 610 人を対象に実施した。
----	----	---

28.大崎地方ダム総合事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	7日	<p><u>化女沼ダムに「鎮魂の桜」を植樹</u></p> <p>東日本大震災で犠牲になられた方々の鎮魂と被災地の復興を祈念し、スマイルサポーターの「化女沼 2000本桜の会」が、桜の苗木を植樹した。地元の小学生に加え、大崎市長や県会議員の方々にも出席頂き、約 50 人の参加者にて実施された。</p>
	11日	<p><u>漆沢ダム洪水対応演習の実施</u></p> <p>融雪や大雨による洪水に備え、ダム放流時の危害防止の措置（関係機関への通知・放流警報等での周知）やダムの洪水調節操作を的確に行う事を目的に、演習を実施した。</p>
	16日	<p><u>転入者及び応援配備要員に対する訓練の実施</u></p> <p>転入者、北部地振からの応援配備要員及び管理補助業務委託者を対象に、非常配備訓練を実施した。</p>
29日	<p><u>化女沼ダム清掃活動の実施</u></p> <p>スマイルサポーター 3 団体、大崎市及び当事務所の協働による清掃活動を実施し、ダム周辺の環境整備に努めている。</p>	



▲集合写真



▲演習の様子



▲清掃活動

スマイルサポーター		
化女沼 2000 本桜の会	長者を想う会	宮城県建設業協会大崎支部
平成 24 年 4 月 29 日	平成 24 年 4 月 29 日	平成 24 年 7 月 28 日
平成 24 年 5 月 16 日	平成 24 年 5 月 27 日	平成 24 年 10 月 13 日
平成 24 年 6 月 20 日	平成 24 年 6 月 24 日	スマイルサポーター以外
平成 24 年 7 月 22 日	平成 24 年 7 月 29 日	大和ハウス工業(株)
平成 24 年 8 月 15 日	平成 24 年 8 月 26 日	平成 24 年 5 月 1 日
平成 24 年 9 月 19 日	平成 24 年 9 月 30 日	大崎市立宮沢小学校
平成 24 年 10 月 17 日	平成 24 年 10 月 28 日	平成 24 年 6 月 15 日
平成 24 年 11 月 21 日	平成 24 年 11 月 25 日	平成 24 年 9 月 14 日

<p>5月</p>	<p>15日</p>	<p><u>洪水対応演習の実施</u></p> <p>管理する5ダム(漆沢ダム・化女沼ダム・上大沢ダム・岩堂沢ダム・二ツ石ダム)において、関係機関への洪水警戒体制や放流開始に関する通知、連絡及び一般住民への放流警報等について、情報伝達の演習を行った。</p>	
	<p>30日</p>	<p><u>漆沢ダム見学会の実施</u></p> <p>美里町立青生小学校4年生の児童16名、引率の先生2名を迎え、ダム見学会を行った。</p> <p>見学会では、ダムの目的や仕組みなどについて説明し、ダム操作室の機器やダム堤体、監査廊の見学会を行った。</p> <p>また、事務所作成の「みやぎ湖沼めぐりカード」を、記念に持ち帰り頂いた。</p>	
<p>6月</p>	<p>12日</p>	<p><u>6.12 総合防災訓練の実施</u></p> <p>平成23年度東北地方太平洋沖地震と同レベルの地震及び津波を想定し、休日に発生した場合の発災時における初動対応を、シナリオブラインド型ロールプレイング方式により確認した。</p>	
<p>7月</p>	<p>11日</p>	<p><u>炭焼きの実施</u></p> <p>漆沢ダムの炭窯を用いて、流木を用い炭焼きを行い、廃棄物の有効利用・処分費の軽減・地元との協働(地域に伝わる炭焼きの技術の継承及び文化の伝承の幫助)を図った。(9/20, 10/3, 10/31を加えた計4回実施)</p> <p>炭は、漆沢ダムで行われる、水と森と風のくにまつりの参加者に、無料配布した。</p>	

▲演習の様子

▲見学会の様子

▲訓練の様子

▲炭焼きの様子

22日 第19回水と森と風のくにまつりの開催

漆沢ダムにおいて、漆沢地区青年部・婦人部，加美町，林野庁宮城北部森林管理署，国土交通省鳴瀬川総合開発調査事務所及び当所の主催，大崎水管理協議会協賛により，地域の豊かな自然を多くの人に味わってもらうことを目的に，漆沢ダム及び溪流センターにて開催した。あいにくの天気だったが，約350名の参加を得て，ダムの機能や有用性等について理解を深めて頂いた。



▲むすび丸も参加

8月

6日 環境美化活動（除草作業）実施

職員によるダム堤体の除草作業を行った。作業前には，刈り払い機の使用上の注意点や熱中症予防等について確認し，安全に作業を実施した。（各ダムにて適宜実施）



▲美化活動の状況

29日 漆沢ダム利水者情報連絡会議（第一回）開催

渇水傾向が見られることから，貯水状況について各利水者と情報共有を図るとともに，今後の取水管理について調整を行った。



▲会議の状況

9月

13日 ダム見学を実施

宮城県農業改良 0B 大崎会の皆さん14名が参加するなかダム見学を実施した。岩堂沢ダムの運用状況や，日常の管理について熱心に話を聞いていただき，また，施設内の一部（堤頂道路やリムトンネルなど）を歩きながら，ダムを体感して頂いたもの。



▲見学会の様子

10月	18日	<p><u>警報掲示板の清掃</u></p> <p>ダム下流の警報掲示板（漆沢ダム 50 基，化女沼ダム 8 基，上大沢ダム 3 基）の清掃及び周辺除草を直営で行い，視認性を改善した。</p>	 <p>▲掲示板清掃の状況</p>
11月	7日	<p><u>雨量観測局の閉局</u></p> <p>漆沢ダム上流の朝日雨量観測局にて，冬期養生のため閉局作業を行った。開局は，雪が融ける来年の5月以降の予定。（唐府局は11月30日閉局）</p>	 <p>▲雨量計取外し作業</p>
12月	3日	<p><u>炭粉の上流水源地への散布</u></p> <p>漆沢ダムにおいて炭焼きから発生した炭粉を，水質浄化を目的に，ダム上流域へ散布を行った。</p>	 <p>▲散布作業の様子</p>
	10日	<p><u>ダム総合情報システム修繕工事完成</u></p> <p>経年劣化のため障害が発生していた，総合事務所のダム総合情報システムの修繕工事を実施し，安定した運用が可能となった。</p>	 <p>▲ダム総合情報システム修繕工事完成</p>
	27日	<p><u>田沢川水位計修繕工事施工完了</u></p> <p>上大沢ダム上流の分流工の水位計が故障したため，本格的な降雪期前に緊急に施工を実施した。</p>	

1月

8日

監査廊点検を実施

ダム監査廊の天井側壁，付帯設備（照明，配管，ケーブルラック）及び手摺等について点検を実施して，崩落や脱落の危険性がないかを確認した。（各ダムにて実施）



▲打音検査の状況

21日

水力発電用水の柔軟な供給

冬期の電力需要に対応するため，東北電力と協議のうえ，漆沢発電所に対して柔軟な発電用水の供給を行った。



▲漆沢発電所

22日

事務所駐車場の除雪

総合事務所前の駐車場を，始業前に直営で除雪を実施した。（年間約10回程度）



▲駐車場除雪の様子

23日

漆沢ダム制水ゲート設備機側盤更新工事完成

設置以来30年が経過し，老朽化が進行していた当該設備の更新工事が完成。これにより平成22年度より順次行ってきた，取水設備に関する一連の機側盤更新工事が完了した。



▲機側盤の更新工事完成

2月

5日

除雪作業の実施

ダム点検の際に、除雪を直営で行い、施設の積雪による破損を防止した。(各ダムにて適宜実施)



▲人力による除雪作業



▲除雪機による作業状況

3月

11日

スマイルサポーター意見交換会

化女沼ダムスマイルサポーター3団体と大崎市を交え、意見交換会を実施した。今年度の活動報告と、今後の取組について、話し合われた。

平成24年度清掃活動実績は、以下のとおり。

- ・活動回数：18回，参加人数：のべ381人、
- ・ゴミの量：279袋，粗大ゴミ：洗濯機・掃除機・タイヤ



▲収集したゴミ

31日

見学者とみやぎ湖沼めぐりカード

管理している5ダムにおける、今年度の実績は以下のとおり。

- ・見学会回数：21回，見学者数：のべ531名
- ・みやぎ湖沼めぐりカード配布枚数：1,003枚



▲みやぎ湖沼めぐりカード

29. 栗原地方ダム総合事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	13日	<p><u>ダム情報伝達連絡会の開催</u></p> <p>異常気象時及び災害時に情報を正確かつ迅速に伝達し、住民の安全、安心を確保するため情報連絡会を開催し、各ダムから発信される情報内容について確認した。</p>
		 <p>▲連絡会の様子</p>
5月	3日 ～ 4日	<p><u>大雨による洪水調節</u></p> <p>低気圧の影響により、3日から4日にかけて大雨となり各ダムで洪水警戒体制を執った。特に花山ダムでは、貯水位が上昇し昭和33年の完成以来、初めてのただし書き操作による洪水調節の実施承認を得たが、幸いにその後流入量が減少し、ただし書き操作までは至らなかった。</p>
		 <p>▲ただし書き操作打ち合わせ</p>
5月	15日	<p><u>洪水対応演習</u></p> <p>梅雨、台風等による出水期を迎えるにあたり、洪水予報等の情報を迅速かつ適確に伝達するとともに操作規則等の理解を深め防災体制に万全を期するため実践的な演習を実施した。</p>
		 <p>▲演習の様子</p>
6月	25日 ～ 26日	<p><u>職場内研修</u></p> <p>洪水期を迎えるにあたり、的確な洪水調節を行うため、ダム下流河川の復旧工事状況等について現地調査を実施した。</p>

<p>7月</p>	<p>4日</p>	<p><u>ダム見学会の開催</u></p> <p>姫松小学校他2校4年生の社会科「水はどこから」の学習の一貫として花山ダムの見学会が催された。</p>	 <p>▲ダムの役割について説明</p>
<p>8月</p>	<p>13日</p>	<p>会津北部土地改良区では、関柴ダム、大平沼ダムを管理している。宮城岩手内陸地震での被災状況及び復旧状況について荒砥沢ダムの視察研修に訪れた。</p>	 <p>▲被災状況について説明</p>
<p>9月</p>	<p>15日</p>	<p><u>ダム見学会</u></p> <p>迫川上流土地改良区が主体となり、「伊豆野堰まつり」が開催され、その一貫として小田ダムの見学が行われました。地域の小学生・保護者約70名が参加しました。</p>	 <p>▲ダム堤頂での記念撮影</p>

<p>9月</p>	<p>30日 ～ 1日</p>	<p><u>台風17号による洪水調節</u></p> <p>9月30日～10月1日にかけて東北地方を北上した台風17号の影響により、花山ダムで144mm、荒砥沢ダムで169mmの降雨を観測した。最大流入量は花山ダム664m³/S、荒砥沢ダム110m³/Sを観測し洪水調節を行った。花山ダムには、上流河川の急激な水位上昇により大量の流木がダム湖へ漂着したため、流木災害(国災)として除去した。</p> <p>また、大量の土砂が流入したしたことにより、濁水状態が約2ヶ月間続いた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="293 374 783 739">  </div> <div data-bbox="979 374 1469 739">  </div> </div>
<p>10月</p>	<p>7日</p>	<p><u>花山湖秋まつり</u></p> <p>花山ダム湖畔において花山湖秋まつりが開催されました。今回で25回目の開催です。私たちも会場の一角にブースを設け、ダムに関するパネルの展示やダムカードを配布し、ダムのPRをしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end;"> <div data-bbox="954 831 1506 1216">  </div> </div>
<p>11月</p>	<p>9日</p>	<p><u>ダム定期検査</u></p> <p>ダムの維持、操作その他の管理状況について、3年に1回以上の周期で受検をしなければならないことがダム検査規程に定められており、今年度は小田ダムについて実施した。</p>
<p>1月</p>	<p>28日</p>	<p><u>荒砥沢ダム第二次安全確認</u></p> <p>荒砥沢ダムは、これまで岩手宮城内陸地震発生時の水位以下で貯水池の運用を図ってきた。</p> <p>1月28日地震後の未経験水位EL266mに達したため、ダム及び貯水池周辺地山等の安全確認を行うため第二次安全確認体制に移行しダム等の挙動の監視を開始した。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end;"> <div data-bbox="836 1574 1506 1960">  </div> </div>

2月

14日

～

26日

職場内研修

今後の融雪洪水への対応や人事異動に伴う不測の事態を避けるため、各ダムの管理演習を行った。



▲花山ダム管理演習状況

30. 仙台港背後地土地区画整理事務所

月	日	2年目の歩み（復旧・復興へ取り組み、主要事業等）
4月	3日	<u>保留地分譲情報の更新</u> 最新の保留地分譲情報をホームページに掲載
5月	30日	<u>H24年度事業概要をホームページに掲載</u>
6月	27日	<u>沼向・竹ノ内地区地権者説明会を開催</u> 災害復旧への取り組み等について説明
	28日	<u>中野新町地区地権者説明会を開催</u> 災害復旧への取り組み等について説明
	29日	<u>甲区地区地権者説明会を開催</u> 災害復旧への取り組み等について説明
	29日	<u>住宅地区の道路災害復旧工事が概成</u>
7月	27日	<u>保留地分譲情報の更新</u> 最新の保留地分譲情報をホームページに掲載
8月	9日	<u>保留地分譲情報の更新</u> 最新の保留地分譲情報をホームページに掲載
	20日	<u>「仙台港背後地復興だより」(第1号)を発行</u>
9月	14日	<u>地区内の4級基準点測量完了</u>
	19日	<u>保留地分譲情報の更新</u> 最新の保留地分譲情報をホームページに掲載



住宅地区の道路復旧後



仙台港背後地復興だより

10月	29日	新町界・町名アンケート調査の実施 関係地権者等を対象に新町界・町名に関するアンケート調査を実施	
	31日	地区内の街区出来形確認測量概成	
11月	22日	工業地区（産業道路南側）の下水道工事が完成	 <p>工業地区の下水道復旧後</p>
	29日	甲区町内会説明会を開催 新町界・町名案について説明	
	30日	沼向町内会説明会を開催 新町界・町名案について説明	
	30日	新聞広告（仙台港 I C 開通・保留地分譲）の掲載	
12月	2日	新聞広告（仙台港 I C 開通・保留地分譲）の掲載	
	3日	仙台港 I C の開通に合わせて 「復旧・復興の記録誌」を発行	 <p>復旧・復興の記録誌</p>
	19日	新町界・町名検討会（第3回）を開催	 <p>仙台港背後地復興だより</p>
	20日	「仙台港背後地復興だより」（第2号）を発行 保留地分譲情報の更新	
H25年 1月	17日	保留地分譲情報の更新	 <p>仙台港背後地土地区画整理審議会</p>
	18日	背後地ニュース（号外）を発行 新町界・町名案に関するお知らせ	
	29日	第80回 仙台港背後地土地区画整理審議会を開催 新町界・町名の施行者案決定 換地設計の変更等	
2月	6日	仙台国際貿易港首都圏セミナーに参加 保留地分譲情報についてPR	

<空 白>